



# 16/8/4チャンネル デジタルビデオレコーダー HRX-1621/TE, HRX-821/TE, HRX-421FN/TE





# **16/8/4チャンネル デジタルビデオレコーダー** ユーザーマニュアル

### 免責事項について

株式会社ティービーアイは取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するもので はありません。この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになりま す。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

☆ 設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

# 安全上のご注意

最初に必ずお読みください。

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使い いただくために、重要な内容を記載しています。本文をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

### 警告/注意

### 警告

- 必ず付属の電源ケーブルおよび電源アダプターを使用してください。
   規格外の電源アダプターを使用すると、火災、感電、製品の故障の原因になります。
- 2. 1つの電源アダプターを、複数のレコーダーに使用することは禁止です。許容能力を超えると 異常な発熱や火災の原因になります。
- 3. 電源及び信号線を接続時、外部接続端子を確認してください。アラーム端子にはアラーム信号 線を接続し、DC電源入力端子は極性を確認して電源アダプターを正しく接続してください。 誤って接続すると、火災、感電、故障の原因になります。
- 4. レコーダーを設置する際はしっかりと固定してください。不安定な状態は、製品の落下に起因 する人身事故などの原因になります。
- 5. 製品の上に伝導体(例:ドライバ、硬貨、金属など)や水の入った容器を置かないでください。 火災、感電、物体の落下に起因する人身事故などの原因になります。
- ・異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源 をオフにして、販売代理店にお問い合わせください。このような状態で使用し続けると、火災 や感電の原因となります。
- 7. 本製品が正常に動作しない場合は、お近くの販売代理店にお問い合わせください。本製品は絶対に分解または改造しないでください。(当社は無許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません)
- 8. 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。また、他の機器の電源 コードを本製品に使用しないでください。

### 注意

- 1. 製品に物を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。過度の振動や磁気妨害のある場所 に近づけないでください。
- 2. 高温(40℃以上)、低温(0℃以下)、高湿度の場所に設置しないでください。 火災や感電の原因になる ことがあります。
- 3. 一度取り付けた製品を移動する場合には、電源がオフになっていることを確認してから移動あるい は設置してください。
- 4. 落雷対策をしていない環境では落雷により故障する場合があります。(当社は落雷に起因する問題 に対しては責任を負いません)
- 5. 直射日光や放熱源に近づけないでください。火災の原因となります。
- 6. 通気性のいい場所に設置してください。
- 7. 本製品を湿気や埃、すすのある場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあり ます。
- 8. 本製品は、縦置きでの使用はできません。

# ご使用の前に

このマニュアルでは、製品を使用するために必要な操作情報を記載しており、各部品の詳細とその機能、および メニューとネットワークの設定について説明します。 以下の点に留意してください:

- •本取扱説明書の著作権は、Hanwha Techwin 社が保持しています。
- •本取扱説明書は、事前にHanwha Techwin 社の許可がない限り複製できません。
- 標準的ではない製品の使用や、本取扱説明書に記載されている指示への違反により発生した製品への損害については当社は一切責任を負いません。
- 問題を確認するためにレコーダーのケースを開けたい場合は、本製品を購入した販売店にお問合せください。
- ハードディスクドライブまたは外部ストレージ(USBメモリやUSB HDDなど)を追加する場合は、事前にそれが本製品に対応していることを確認してください。(最大2TB) 互換性のリストについては、販売店までお問い合わせください。

## 電池 ( <u> </u>警告)

本製品の内蔵電池を不適切なものに交換すると爆発の原因になりますので必ず本製品に使用されているものと同じ種類の電池を使用してください。 現在、使用している電池の仕様は以下の通りです。

- •正規電圧:3V
- 正規容量 : 210mAh
- •標準連続負荷:0.4mA
- •動作温度:-20°C~+60°C(-4°F~+140°F)

### 注意

- 電源コードをアース端子付きのコンセントに接続します。
- メインプラグは切断装置として使用され、いつでも利用可能になります。
- バッテリーは直射日光の当たる場所や、熱器具の近くには置かないでください。
- 指定されていないタイプの電池に交換すると、爆発の原因になる恐れがあります。使用済電池は自治体の指定に従って処理してください。

### システムのシャットダウン

動作中に電源を切ったり非正常動作をした場合はHDD及び製品に損傷を与えることがあります。 システム終了のポップアップウィンドウから<**OK**>を押し、電源ケーブルを取り外すことで、安全に電源 を切ることができます。 停電によるダメージを防ぐためにはUPSシステムを設置してください。(UPSに関する内容はUPS販売店に お問い合わせください。)

電源切断時に異常が生じた場合、ハードディスクドライブのデータをリストアして正常に動作させるため、再起動には時間がかかることがあります。

### 消耗部品

- FAN、HDDは寿命を有する消耗部品です。
   重要な録画データを失わないように、定期的な交換を推奨します。
- 交換時期につきましては、販売代理店にお問い合わせください。



### 動作温度

本製品の動作保証温度範囲は、0°C ~ 40°C です。 保証温度以下で長期間保管された場合は、使用時機器が動作しない可能性があります。 低温で長期間保管した後に使用する際は、本製品をしばらく室温に置いてから使用してください。

### イーサネット・ポート

本製品は屋内用であるため、通信配線はすべて建物内で行ってください。

### セキュリティに関する注意事項

初期の管理者IDは「admin」です。パスワードも初期値が設定されています。

個人情報を安全に保護し、情報漏洩の被害を防ぐため、3ヵ月に1回程度、パスワードを変更してください。

パスワードの管理ミスによるセキュリティ及びその他の問題は、ユーザー側の責任となりますことを御了 承ください。

### グラフィカルシンボルの使用

本基準により要求されるか否かに関わらず、機器に記されるグラフィカルシンボルは、可能な場合はIEC 60417またはISO 3864-2もしくはISO 7000に準拠するものとします。適切なシンボルがない場合、製造業者はグラフィカルシンボルを使用することがあります。

機器に記されるシンボルはユーザーマニュアルに説明されるものとします。

シンボル	出版	説明
$\sim$	IEC60417, No.5032	交流



# 各部の名称と機能(前面)

### HRX-1621/TE, HRX-821/TE



### HRX-421FN/TE



	部品名	機能
1	USB	USBデバイスを接続します。(USB2.0)
2	リモート受信部	リモコンから信号を受信します。
		<b>REC</b> : 録画可能状態時、点灯します。
		HDD:正常に接続されていることを表示します。 ハードディスクへのアクセス時にLEDが点滅します。
		ALARM: イベント発生時に点灯します。
3		NETWORK (LAN): ネットワーク接続とデータ転送のステータスを表示します。
		BACKUP:バックアップの実行中は点灯。
		POWER:電源ON/OFFステータスが表示されます。

# 各部の名称と機能(背面)



HRX-821/TE



HRX-421FN/TE



	部品名	機能
1	VIDEO IN	映像信号入力端子(BNCコネクタ)
2	SPOT	スポット出力のためのコネクタ(BNCコネクタ)
3	AUDIO OUT	音声信号出力コネクタ(RCAコネクタ)
4	AUDIO IN	音声信号入力コネクタ(RCAコネクタ)
5	電源	電源入力端子
6	ALARM	<ul> <li>ALARM IN:アラーム入力端子 HRX-1621/TE:1~16 CH HRX-821/TE:1~8 CH HRX-421FN/TE:1~4 CH</li> <li>ALARM OUT:アラーム出力端子 HRX-1621/TE, HRX-821/TE:1~4 CH HRX-421FN/TE:1~2 CH</li> </ul>
	RS485/422	RS-485及びRS-422通信用端子 (TX+, TX-, RX+, RX-)
7	AUDIO IN 5~16	オーディオ拡張ケーブル端子(別売り品)
8	VGA OUT	VGA映像出力コネクタ
9	HDMI	HDMI映像出力コネクタ
10	NETWORK	LANケーブル(ネットワーク)接続用コネクタ
11	USB	USBデバイス接続用コネクタ(USB3.0)

● 視頭



## 設置環境の確認

本製品は、大容量のHDDと高精度な部品で構成されて 温度単位:℃ います。 製品内部の温度が高くなりすぎると、製品が故障した

り、寿命が短くなる場合があります(右図参照)。 製品を設置する前に、次の内容をよく確認してください。



製品をラックに取り付ける場合は、以下の内容を守ってください。

- 1. ラック内部が密閉されていないことを確認してください。
- 2. 図のように、空気取入れ口と排気口を通して空気が循環していることを確認してください。
- 3. 図に示すように、ラック内に製品を重ねて設置する場合、上下に4~5cm程度の隙間を 開け、熱がこもらないようにしてください。(図2)。
- 4. 自然対流を作るには、空気取入れ口をラックの下部に、排気口を上部に配置してください。
- 5. 空気取入れ口と排気口にファンモーターを設置して空気を循環させることを強くお勧め します。(画面の空気取入れ口にフィルタを取り付けて、ゴミや異物が入らないように してください。)
- 6. ラック内部または周囲の温度を0°C~40°C(32°F~104°F)に保ってください。





# ラックの設置

図に示すようにブラケット-ラックを取り付け、両側のネジを締め て固定します。

振動で緩まないようにネジを固定します。



<例:HRX-821/TE>





# ライブ

# はじめに

## 起動

- 1. レコーダー後面の電源を接続してください。
- 初期化画面が表示されます。
   初期化プロセスは約2分間かかります。
   新しいHDDを取り付けた場合、初期化プロセスはさらに時間がかかることがあります。



- ライブ画面がアラートとともに表示されます。
   システムを起動するとき、下記のような現象が発生する場合があります。
- 製品が立ち上がる間にHDDアイコンが、 < 
   >に変わり、画面の下にHDD 番号が表示される場合、HDD
   が修復中のため、立ち上がりに時間がかかる場合があります。



■ <■ >状態で進行が停止している場合、該当番号のHDDに異常がある可能性があるので、販売代理 店にご相談ください。



# シャットダウン

- 1. ライブ画面メニューで<シャットダウン>を選択します。
- 2. "シャットダウン"確認ポップアップウィンドウが表示されます。
- 3. <OK>をクリックします。 システムがシャットダウンします。



## 再起動

- 1. ライブ画面メニューで<再起動>を選択します。
- 2. "再起動"確認ポップアップウィンドウが表示されます。
- 3. <OK>をクリックします。 システムが再起動します。



- ログイン済みのユーザーに「シャットダウン」権限が与えられている場合のみ、シャットダウンと再起動を実行することができます。
  - 権限管理設定は目次の「メニュー設定 > システム設定」の「ユーザー」ページをご参照ください。

## Login

レコーダーメニューを利用するには、該当メニューのアクセス権限を持つユーザーとしてログインした状 態のみ可能です。

- ライブモード画面上でマウス右ボタンをクリックします。
   ライブ画面メニューが表示されます。
- <ログイン>を選択します。
   ログイン画面が表示されます。



アクセスが制限された権限に対しては目次の「メニュー設定 > システム設定」の「ユーザー」ページをご参照ください。

# ライブ画面構成

# ライブ画面上のアイコン

ライブ画面のアイコンは現在の設定状態や機能を表示します。



名前			説明
1	現在日	付、時刻	現在の日付と時刻が表示されます。
		$\odot$	実行中のバックアップがあるときに表示されます。
		REC	録画中止アクセス制限が設定されている状況で手動録画するときに表 示されます。 録画中止の権限があるユーザーのみ録画を停止することができます。
2	<b>2</b> 御面 状態モード		シーケンスモード(設定された時間間隔で全チャンネルを切り替え る)のときに表示されます。
		200 200 200 200 200 200 200 200 200 200	画面がフリーズ状態の時、表示されます。
		•	拡大機能が動作しているときに表示されます。
3	3 ログイン情報		ログインすると、" <b>LOG ON</b> "アイコンが表示されます。
		R	ファンに問題があるときに表示されます。 <ul> <li>ファンを搭載する製品でのみ機能します。</li> </ul>
4	システム 状況表示		録画データが保存できない場合に表示されます。
		REC	チャンネル別のデータ量が設定された制限データ量を超える場合に表 示されます。

リイノ

# <u>ライブ</u>

名前			説明
			サーバーに更新するファームウェアがあるときに表示されます。
		<u> </u>	<ul> <li>ネットワーク過負荷のときに表示されます。</li> <li>最大受信容量を超過してCPUに過負荷が発生した場合に表示されます。</li> <li>そのとき、カメラ設定を修正したり、カメラを削除してパフォーマンス負荷を軽減すれば、表示は消えます。</li> </ul>
			システム過負荷が発生する場合、表示されます。 ■ ウェブビューアーまたはVMSでリモートモニタリングする同時接続ユ ーザー数を制限するか、リモートまたはレコーダーで再生するチャン ネル数を調整してください。
4	システム 状況表示	FUL	録画中、HDDがフルになって録画許容量が不足する場合に表示されます。
		-n0	HDDが設置されてないか、全てのHDDが認識出来ない場合に表示されます。
		iP	HDDの点検が必要な場合に表示されます。 設置されているHDDの一部が認識できないか、取り外されている場合に表示されま す。
			カメラファームウェアのアップグレードが完了すると表示されます。 クリックして結果を確認することができます。
			カメラとレコーダーの接続に問題があり、録画されてない場合に表示 されます。接続状態を確認してください。
		0	設定<カメラ><チャネル設定><映像>がオンに設定されている状態 で入力がない場合に表示されます。
	正 使 ひ 力		設定<カメラ><チャネル設定><映像>がオンに設定されている状態 でライブ画面で表示できる解像度を超えたとき、表示されます。
5	状態表示	TB EYE	ライブ映像を表示できないチャネルに表示されます。
			設定<カメラ><チャネル設定><映像>が<オフ>の場合、カメラを登録しなかった場合または <covert2>の場合には、ライブ画面に何も表示されません。<covert1>の場合には画面に映像は表示されないが、OSDだけ表示されます。</covert1></covert2>
6	カメラタイト	・ル/チャンネル	カメラタイトルとチャンネル番号を表示します。

名前		i	説明
		(PTZ)	PTZ機能カメラが接続されているチャンネルで表示されます。
		<b>1</b> 20	音声オン/オフ状態が表示されます。音声を無効にしている場合は表示されません。
		۵	センサーが<オン>に設定されている場合、外部入力信号が入力される と、設定したチャンネルに表示されます。
		μĒ	モーション感知機能を< <b>オン</b> >に設定し、ネットワークカメラのモーション、カメラのイベント発生時に当該チャンネルに表示されます。
7	カメラ	R/E/S	手動/イベント/ スケジュールの録画ステータスが表示されます。
	状態表示	i	デコーディング性能制限によってすべてのフレームをデコーディングで きなくIフレームのみデコーディングする場合に表示されます。
		AB	POS (テキスト) イベントが発生すると表示されます。
		Ĩ	赤色 - SDカードに異常があるとき、表示されます。 黄色 - SDカードに録画データが一杯になったとき、表示されます。
		<b>•</b> / •	デフォーカスイベントが発生すると、点滅します。アイコンをクリックする と、シンプルフォーカスコマンドがカメラに送信されます。 ■ 霧探知イベントが発生する場合も、表示されます。

## エラー情報

- ●内蔵HDDが切断された場合、"HDDがありません"アイコン(□)が左上隅に表示されます。この場合、録画・再生及びバックアップ機能が動作しませんので必ず販売代理店にお問い合わせください。
- HDDを購入した後、レコーダー対応タイプにフォーマットしないと、「NO HDD」アイコン(□)が左上に表示されます。「NO HDD」アイコンが表示されたら「メニュー > 記憶装置」でHDD接続状況を確認してからHDDをフォーマットしてください。
- ファンを搭載する製品は、ファンが正常動作しない不具合がある場合には<ファン情報ページ>が表示され、ファン異常アイコン(%)が左上に表示されます。この場合には、製品内部のファンを確認してください。ファンに異常がある場合、製品の寿命を短縮させるため必ずサービスセンターにお問い合わせください。
- 異常Fan (%) アイコンまたはNO HDD (日) アイコン、HDD FAIL (日) アイコンが表示された場合は、販売代理店にお問合せください。

## ライブ画面メニュー

ライブ画面モードでマウス右ボタンをクリックすると、ライブ画面メニューが開き、各メニューにアクセ スできます。

ライブ画面メニューはログイン/ログアウト状態、画面分割状態、レコーダー動作状態によって表示が異 なります。

ユーザーの権限によっては、ライブビュー、バックアップ、録画中止、検索、PTZ、リモートアラーム出力およびシャットダウンのメニュー項目へのアクセスが制限される場合があります。

## 単画面モードメニュー

単画面モードメニューは、単画面モードでのみ使用できます。



メニュー	説明
PTZ	PTZ制御メニューにアクセスします。シングルチャンネルを選択した後、ライブ 画面でPTZメニューが有効になります。 詳細は目次の「 <b>ライブ &gt; PTZ制御</b> 」ページをご参照ください。
ズーム	選択された画面を拡大することができます。 詳細は目次の「 <b>ライブ &gt; ズーム</b> 」ページをご参照ください。
キャプチャ	選択したチャンネルの画面をキャプチャーします。 詳細は目次の「 <b>ライブ &gt; キャプチャ</b> 」ページをご参照ください。

### 分割画面モードメニュー

ライブ分割画面モードで右クリックすると次のようなメニューが表示されます。

分割モードメニューはレコーダー製品別、ログインまたはログアウト状態によって表示が異なります。



メニュー	説明
レイアウト	ライブ画面に表示する分割モードを選択します。 目次の「 <b>ライブ &gt; ライブ画面モード</b> 」ページをご参照ください。
レイアウト設定	各チャンネルのレイアウトを設定します。 目次の「 <b>ライブ &gt; レイアウト</b> 」ページをご参照ください。
全体アスペクト比/ チャンネルアスペク ト比	チャンネルのスクリーン縦横比が変更されます。 目次の「 <b>ライブ &gt; 画面縦横比を維持するには</b> 」ページをご参照ください。
状態	それぞれのチャネルに接続されたカメラの接続情報、ならびにライブと録画ステ ータスを示します。 目次の「 <b>ライブ &gt; 状態</b> 」ページをご参照ください。
音声オン/オフ	選択したチャンネルの音声をオンまたはオフします。 目次の「 <b>ライブ &gt; 音声オン/オフ</b> 」ページをご参照ください。
フリーズ	現在画面を一時停止します。 目次の「 <b>ライブ &gt; フリーズ</b> 」ページをご参照ください。
アラーム出力中止	アラーム出力を停止し、イベントアイコン及び 自動シーケンスを解除します。 目次の「 <b>ライブ</b> > <b>イベント監視</b> 」ページをご参照ください。
録画/録画中止	手動録画を開始したり停止することができます。
再生	
検索	目次の「 <b>検索 &amp; 再生 &gt; 検索</b> 」ページをご参照ください。
バックアップ	バックアップデバイスを検索してチャンネル別に指定の時刻のバックアップを実 行します。 目次の「 <b>ライブ &gt; バックアップ</b> 」ページをご参照ください。
メニュー	メインメニューに入ります。 目次の「 <b>メニュー設定</b> 」ページをご参照ください。
シャットダウン/ 再起動	システムシャットダウン/再起動確認メッセージが表示されます。
ログイン/ ログアウト	ログインまたはログアウトを行います。
ランチャー表示/ ランチャー非表示	ランチャーを表示または非表示にします。" <b>ランチャーメニューの表示</b> "を参照し てください。

# ライブ

# ランチャーメニューの表示

- ライブ画面の下部にランチャーメニューが表示されます。
- 1. ライブ画面メニューで<ランチャー表示>を選択します。
- 2. カーソルを下部に移動し、ランチャーメニューの該当する項目をクリックします。
- 10秒間操作がないと、メニューは消えます。

Layou	t 01 - 🌇 5x4 4x4	3x3 2x2 3v 2v 2h 1+5 1+7 1+12 🗸 « 🕥 🕄 🚾 🖿 🔆 🖝
[	1 2	3     4     5     6     7     8     9     10     11     12     13
	メニュー	説明
1	レイアウト	画面に表示されるレイアウトを選択します。
2	レイアウト設定	各チャンネルの新しいレイアウトを設定、変更、削除できます。
3	画面モード	使用できる分割モードのリストを表示します。 現在の画面モードはグレー表示されます。
4	スライドを閉じる/ スライドを開く	クリックすると、非表示メニューが右側に表示されます。
5	手動バックアップ	バックアップデバイスを検索してチャンネル別に任意の時刻のデータをバ ックアップします。
6	拡大	選択した領域が拡大されます。これは、単画面でのみ使用可能です。
7	PTZモード	選択されたチャンネルに接続されたカメラでPTZ操作がサポートされてい る場合、PTZ制御ランチャーが起動されます。
8	アラーム停止	アラーム出力発生時、アラームを停止します。
9	フリーズ	ライブ画面を一時停止します。
10	キャプチャ	選択したチャンネルの画面をキャプチャーします。
11	テキストを印刷す る	テキスト出力をON/OFFします。
12	再生	すでに再生中の検索ファイルがある場合はすぐ再生モードになり、再生中 の検索ファイルがない場合は、録画検索モードになります。
13	手動録画	手動録画を開始したり停止することができます。

# ライブ画面モード

カメラのライブ映像を様々な分割モードで表示することができます。

- ▶ アナログカメラを自動登録すると、カメラの解像度で画面に表示されます。
  - ネットワークカメラを自動登録すると、「Live4NVR」のプロファイルが自動追加となり、使用環境によって設定値を変更することができます。
    - Live4NVRプロファイルの基本設定:H.264(コーデック)、800 x 600もしくは800 x 448(解像度)、30fps(フレームレート)
  - カメラ仕様によってプロファイルが追加できなかったり、PLUGINFREEのプロファイルがある場合、Live4NVRのプロファイルは追加されません。
  - システムの過負荷で性能が落ちる場合、ネットワークカメラはキーフレーム(ワレーム)のみ表示されることがあります。
  - プロファイル設定は「メニュー設定 > カメラ」の「プロファイル」」ページをご参照ください。

## 画面モードの表示方法

分割モードを変更する場合、ランチャーメニューに表示している画面モードを選択するか、マウスを右クリックし、画面モードメニューの分割モードを選択します。

● 製品別に対応する画面分割モードが異なります。



## 分割モードの切替

カメラのライブ映像を単画面、4分割、9分割、16分割画面に分割して順番に表示することができます。

▶ 製品別に対応する分割モードが異なります。

リモートコントロールのMOEDボタンを押すと、分割モードを切り替えることができます。

ランチャー内のボタンを押すか、マウス右ボタンメニューを使い、自動的に画面を切り替えます。 マウス右ボタンメニュー → レイアウト → オートシーケンス



## オートシーケンス

ユーザーが設定した分割モードを指定した時間間隔で次々とシーケンスしてモニタリングすることができ ます。

- ⑦ 分割モード切替の場合、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「モニター」ページで<シーケンス切替時間>を設定すると、設定された時間間隔で自動的に切替わります。
  - チャンネルが切替わるときネットワーク環境によって映像表示が遅れる場合があります。

### 例) HRX-1621/TE







4分割モード



10-18

9分割モード

# 状態

ライブ画面でそれぞれのチャンネルに接続されたカメラの接続情報を確認できます。

## チャンネル情報

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**状態**>メニューで<**CH情報**>を選択するとモニタリン グ中のライブ映像の上に現在表示されている映像の情報が出力されます。

- ARBはARB状況が発生した場合のみ表示されます。
  - 製品名の横に表記されたアルファベットは、カメラ登録時に使用されたプロトコルを表示します。
  - S、VはWisenetプロトコル、OはONVIFを表示します。
  - RTSPプロトコルに接続された場合には製品名なしにRTSPだけ表示します。
  - アナログカメラの場合は「Analog CAM(ポート番号)」に表記されます。



# <u>ライブ</u>

## 接続

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**状態**>メニューで<接続>を選択すると各チャンネル に接続されたカメラの接続状況を確認することができます。



- 使用なし: カメラが接続されていません。
- 接続: カメラは接続されていますが、録画されていません。
- •録画:カメラが接続され、録画されています。
- 接続エラー: カメラは接続されていますが、障害が発生しています。

# ライブステータス

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**状態**>メニューで<**ライブ**>を選択すると、各チャンネルに接続されたネットワークカメラの転送情報を確認することができます。

			状態			
ライブ	録西 ネット	ワーク				
сн	モデル	状態	場所	コーデック	解像度	
	Analog CAM	接紙				
	QND-6070R	18 M.	192.168.219.148	H.264	800X448	30Fps
	Analog CAM	接続				
	Analog CAM	接続				
	Analog CAM	接続				
	XND-8081VZ	接続	192.168.219.160	H.264	800X448	30Fps
	XNV-6081Z	1840	192.168.219.115	H.264	800X448	30Fps
	XNF-8010R	18 M.	192.168.219.113	H.264	768X768	25Fps
	XNP-6320	接続	192.168.219.196	H.264	800X448	30Fps
			皮る			

- •モデル:接続されたカメラの種別を表示し、ネットワークカメラの場合はモデル名も表示します。
- •状態:チャンネル別に接続されたカメラの接続状態を表示します。
- •場所:チャンネル別に接続されたカメラの接続コネクタ番号やIPアドレスを情報を表示します。
- コーデック: 接続されたネットワークカメラのライブプロファイルコーデック情報を表示します。
- 解像度: 接続されたネットワークカメラのライブプロファイル解像度を表示します。
- フレームレート: 接続されたネットワークカメラのライブプロファイルフレームレートを表示します。

## 録画ステータス

ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**状態**>メニューで<録画>を選択するとチャンネル別 にプロファイル、録画タイプ、入力/録画フレーム数、制限/入力/録画データ量を確認することができま す。

		0-0 - EE.0	o tit mopo	74-41	∠— t (fca)			ビットレート	(bos)
		<b>辞</b> 面:	タイプ	入力	10 H	\$1/R		韓王	受信/制限
	Main Stream	通常	714	30.0	30.0	3.5M	3.4M	3.4M	97.1%
	H.264	通常				3.5M	1.0M	1.0M	28.6%
	Main Stream	通常		30.0	30.0	3.5M	3.4M	3.4M	
	Main Stream	通常		30.0	30.0	3.5M	3.4M	3.4M	
	Main Stream	通常				3.5M	3.3M	3.3M	94.3%
	H.264	通常			30.0	3.5M	1.1M	1.1M	31.4%
	H.264	通常			30.0	3.5M	2.5M	2.5M	71.4%
	FisheyeView	通常				3.5M	1.8M	1.8M	51.4%
						>			
<b>\$</b> 40	パータ起送		<b>0</b> 70				•	ICO容量超過	

- 合計ビットレート(録画/最大):録画は実際に録画されている録画データ量のことで、最大値はレコーダーで許可する録画データ量です。
- プロファイル: 各チャンネルに設定されているビデオプロファイルを示します。
- •録画タイプ:録画時のモード(ノーマル(通常)/イベント)を表示します。
- フレームレート (fps): 各チャンネルの1秒当たりの入力/録画フレームを示します。
- ・ビットレート (bps)
- 制限/入力/録画: 各チャンネルの制限/入力/録画データの量を示します。
- 受信/制限:カメラから転送された実際のデータと、ユーザーが定義した可能な最大値の比率を示します。
- •現在:現在転送されているデータの録画ステータス情報を示します。
- •最大:設定された通常録画およびイベント録画のうち、最大の録画データの録画情報を示します。
- 💣 : 録画情報をリロードします。
- •録画設定:メニュー画面が録画設定画面に切り替わります。
- ・録画中にエラーが発生すると、該当チャンネルのプロファイルのカラムが黄色で表示されます。
   プロファイルエラーはカメラから録画プロファイルの映像を受信できない場合に交換プロファイルのカメラ
   映像を録画することを意味します。録画プロファイルが再度受信されると、カメラ映像は設定された録画
   プロファイルで録画することができます。
  - レコーダーが録画できるビットレートを超過すると、キーフレームのみ録画します。ビットレートを超過すると、制限録画ポップアップと制限録画アイコンが表示されます。このとき、録画ポップアップは一回のみ発生します。もしカメラ設定と録画設定を変更すると、状況確認のために制限録画ポップアップが再度表示されることがあります。

制限録画ポップアップを表示させないためには、ポップアップで表示しないを選択してください。 録画許可データ量は目次の「**メニュー設定** > **録画の設定**」の「録画設定」ページをご参照ください。

■ デュアル録画の場合、ビットレートはMain StreamとSub Streamの合計で表示します。

## ネットワークステータス

現在受信/送信されるデータ量の状態を表示します。



# チャンネルの設定

分割画面の表示させたい位置に、カメラ映像を表示することができます。

- 1. 各チャンネルのカメラ名にカーソルを合わせると、画面の右側に<▼>キーが表示されます。
- 2. カメラ名をクリックしてチャンネルリストを表示し、他のチャンネルを選択することができます。
- 該当するチャンネルを選択し、クリックします。
   現在のチャンネルが選択したチャンネルに切り替わります。
- マウスを使用してチャンネルを移動する場合、移動したいチャンネルをマウス左クリックで選択し、移動先のチャネルにドロップします。

### 例) CH 1をCH 7に切り替える場合

CH1	CH2	СНЗ	CH4	CH7	CH2	СНЗ
CH5	CH6	CH7	CH8	CH5	CH6	CH1
СН9	CH10	CH11	CH12	CH9	CH10	CH11
CH13	CH14	CH15	CH16	CH13	CH14	CH15

## 単画面モードへの切替

分割モードの場合、該当するチャンネルを選択してダブルクリックすると、単画面に切り替わります。

● リモートコントロールでチャンネルの数字ボタンを押すと単画面に変更されます。
 付録の「リモートコントロール使用 > 数字ボタン使用」をご参照ください。

### 例) CH3をダブルクリックした場合。



# ズーム

単画面表示にした後、拡大機能を使用した場合、選択した領域は、最大9倍に拡大されます。

 ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<ズーム>を選択してください。 リモートコントロールの[ZOOM]ボタンを押すかランチャーメニューの< ④、>をクリックしても動作します。 画面の右下にズームアイコンが表示されます。

- < < > アイコンをクリックすると、選択エリアを拡大して表示します。 画面の下にあるボックスを調整してズームされた画面の位置を調整することができます。
- 3. < -> アイコンをクリックすると、選択エリアが縮小されます。
- 4. 右上の< ≥>をクリックすると、ズーム機能が解除されます。



リモートコントロールに対応する製品は、下記のようにリモートコントロールで映像を拡大することができます。

- 1. リモートコントロールの[ZOOM]ボタンを押してください。
- 2. リモートコントロールの上下左右(▲▼◀▶)ボタンで拡大するエリアを指定してください。
- **3.** 指定したエリアでリモートコントロールの[ENTER]ボタンを押してください。選択エリアが最大9倍まで拡大 されます。
- 4. 拡大された映像を解除するには、リモートコントロールの[ZOOM]ボタンを押してください。

# レイアウト

ライブ画面では、各チャンネルのレイアウトを設定できます。

# ライブレイアウトの設定

ユーザーの使用目的に合わせて必要なチャンネルを一つのレイアウトに纏めて必要時にすぐ確認すること が可能です。

例) レイアウト "ロビー" - ロビーカメラ 1、ロビーカメラ 2、フロントエントランスカメラ 2 レイアウト "VIP" - 役員会議室 1、役員会議室 2、役員ラウンジ 1、7階廊下カメラ



新規レイアウトを作成するには、以下の手順に従ってください:

- 1 チャンネルレイアウト設定メニューを開きます。
- **2** <新規>をクリックします。
- 3 選択したチャンネルのレイアウト名を入力します(例. VIP)。
- ④ レイアウトに追加したいチャンネルを選択します(例.1、2、3、4)。
- 5 適用する分割モードを選択します(例.4分割)。
- **6** <**OK**>をクリックします。
- ⑦ 表示させたいレイアウトを選択することで画面が変わります。(例. VIP へ変更します)。
- 1. < 🚾 > を選択します。
  - レイアウト設定画面が表示されます。
- 新規:新規レイアウトを設定することができます。
- •名前の変更:設定されているレイアウトの名前を変更することができます。
- 削除: 選択したレイアウトを削除することができます。
- チャンネルテーブル: レイアウトに登録するチャンネルをテーブルから選択及び解除することができます。
- チャンネルリスト:レイアウトに登録するチャンネルをリストから選択及び解除することができます。
- 2. <新規>ボタンを押し、追加するレイアウト名を入力します。
- 3. チャンネルテーブルまたはチャンネルリストでレイアウト画面に表示するチャンネルをクリックして 選択してください。
- 4. <OK>をクリックし、選択したレイアウトを保存します。
- ▶ レイアウトは各ユーザー毎に別途保存されます。
- 設定したレイアウトは時間検索時にも使用でき、ユーザーが選択したチャンネルの組合せで検索を容易に 行うことができます。
   目次の「検索&再生>検索」の「時刻検索」ページをご参照ください。

# 音声オン/オフ

ライブ画面で各チャンネルに接続されている音声をオン/オフすることができます。

## 単画面モードの音声オン/オフ

画面上のオーディオアイコン(□)をクリックし、オン又はオフにします。

- ・音声出力設定が正しいにも関わらず音声が出力されない場合、接続されたネットワークカメラが音声信号 をサポートしているか、および音声が適切に設定されているかどうかを確認してください。また、レコーダー 後面の音声入力コネクタに入力される音声信号が適切なレベルであるかを確認してください。音声アイコン は、音声信号がノイズにより出力できない場合でも表示されます。
  - <カメラ><チャンネル設定><音声>が<オン>に設定されているチャンネルでのみ、ライブモードで音声のオン/オフに使用できる音声アイコン(⊂))が表示されます。

# フリーズ

- ライブモードでのみ使用することができ、ライブ画像を一時的に停止します。

- 『
   リモートコントロールに対応する製品は、リモートコントロールの[FREEZE]ボタンを押して映像を一時停止することができます。

# イベント監視

特定のイベント(センサー/モーション)が発生すると、同期するチャンネルが表示されます。 「イベント表示時間」を使うには、「メニュー設定 > デバイスの設定 > モニター」の画面でイベント表示時間 の値を設定すること。

- 複数のイベントが同時に発生する場合、画面は分割モードに切り替わります。
- 2~4イベント:4分割モード
- 5~9イベント:9分割モード
- 10~16イベント:16分割モード
- 17~18 イベント: 20分割モード
- •2番目のイベントが<イベント表示時間>の設定時間内に発生した場合、最初のイベントは2番目のイベントが 終了するまで続きます。

### 例1)

<イベント表示時間>を5秒に設定しており、CH1でイベントが1つのみ発生した場合。



### 例2)

 <イベント表示時間>を5秒に設定しており、1番目のイベントがCH1で発生した後、設定した時間内に2番目の イベントがCH2で発生した場合。



- ▶ < アラーム停止>を選択し、アラーム出力の状態を初期化し、イベント機能を解除します。
  - リモートコントロールに対応する製品は、リモートコントロールの[ALARM]ボタンを押してアラーム出力状態を初期化することができます。
  - アラームがイベント録画設定とともにプリイベント時間とポストイベント時間が指定された状態で出力される場合、イベント録画は指定された録画タイプ (プリイベントまたはポストイベント) に従って実行されます。
  - モーション検知などの連続イベントの場合、イベントのアラームを止めても、連結イベントが続く場合は別の分割モード表示への切り替えはすぐには行われません。
  - ネットワーク状態により映像表示が遅れる場合があります。
  - ネットワークカメラからのアラームイベントの転送に時間がかかるため、イベント出力が遅れる場合があります。

# キャプチャ

ライブ画面で選択した画面を取り込むことができます。 単画面モード、またはチャンネルを選択したときに動作する機能。

	・情報を表示する		
	<i><b>カメ</b>ラ</i> 名	日付/時間	- 說明
		X TICK	
RIST	ZN +	/20190822/	

- 1. ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**キャプチャ**>を選択してください。 ランチャーメニューでは< </br>
- 2. 取り込んだ画面に表示する出力情報を選択します。
   <説明>にチェックすると、説明入力ページが有効になって最大50文字まで入力することができます。
- 3. 取り込んだファイルを保存するデバイス、ファイルパス、およびファイル名を選択します。
- 4. 設定を終了し<OK>をクリックすると、画面から取り込んだ画像が、選択したデバイスに保存されます。

■ 2メガピクセル以上のカメラはFull HDサイズでキャプチャーされます。

# ライブ

# 画面縦横比

ライブ画面での画面映像の縦横比は変更できます。

## すべてのチャンネルの画面縦横比を変更するには

- ライブ分割画面状態で全チャンネルの映像画面比率を変更することができます。
- 1. ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<全体アスペクト比>を選択してください。 すべてのチャンネルの画面縦横比が変更されます。
- 2. 前の画面縦横比へ戻る場合、もう一度<全体アスペクト比>項目を選択します。





# チャンネル毎に画面縦横比を変更するには

- ライブ単画面または分割画面からチャンネルを選択すると、その映像画面縦横比を変更できます。
- 1. ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<チャンネルアスペクト比>を選択してください。 指定したチャンネルの画面縦横比が変更されます。
- 2. 前の画面縦横比へ戻る場合、もう一度<チャンネルアスペクト比>を選択します。





# テキスト出力

POSから受信された売り上げ記録に関するテキストをリアルタイムでモニタリングすることができます。

# テキスト出力調整

このレコーダーはテキストデバイスが設定されている時にライブ画面でテキストを表示することができま す。

# テキスト出力選択

テキストデバイスが接続されているときのみ実行できます。

- テキスト出力をOFFにするには:テキストリストから"オフ"を選択します。
- 設定されたデバイス以外の他のデバイスでの出力:テキストリストから出力したいデバイス名を選択します。



## PTZ制御

このレコーダーは固定監視カメラの他にも、カメラ設置現場の環境に応じてPTZ機能搭載カメラを使用することができます。

# PTZデバイス

PTZカメラは、チャンネルが選択された場合のみ、次の方法で実行することができます。

## PTZ操作の概要

PTZカメラの操作方法は次の通りです。

- ランチャーメニューの使用: ライブ画面のランチャーメニューで< 🔤 >をクリックします。
- ライブ画面メニューの使用: ライブ画面のメニューで<PTZ>を選択します。
- ▶ PTZカメラが接続されており、< 1000 >アイコンが画面に表示されている場合のみ使用できます。
  - 接続されたネットワークカメラがPTZ機能カメラではなくてもPTZドライバーを接続して設定可能な場合は PTZ機能を実行することができます。
  - ハンファテックウィンのPTZ機能ネットワークカメラ、ONVIF登録ネットワークカメラ、RS-485/422(Samsung-T、Pelco-D、Pelco-P)、同軸方式のアナログカメラのみ対応します。

## PTZカメラの使用方法

1台のカメラでパンニング、チルト、ズーム機能を実行させ複数の場所を監視することができます。また、ユーザーが必要なモードでプリセットを設定して自由に活用することができます。



- <PTZ制御>メニューを開きます。 画面左下の<(四)>アイコンが黄色に変わり、システムが"PTZ制御"モードにアクセスしていることを 示します。"PTZ制御"ランチャーメニューが表示されます。
- PTZが正常動作しなくても、PTZマークは有効になる場合がありますのでPTZが正常動作するように設定 を完了してから操作してください。
- 2. ランチャーメニュー内のPTZホイールを使用し、カメラで撮影する場所を調整します。
- •感度:パンチルトコントロールの感度を調整します。
- PTZホイール:中央付近をクリックすると該当方向にゆっくり移動します。クリックする位置が中央から遠いほど、より速く移動します。
- マウスで左側の領域をクリックしたままにするとレンズは反時計回りに回転し、右側の領域をクリックしたままにするとレンズは時計回りに回転します。
- ズーム: PTZカメラのズーム操作を有効にします。
- 絞り:カメラに入る光の量を調整します。
- 焦点: 焦点を手動で調整できます。
- スイング: 2つのプリセットポイント間を移動することができます。
- グループ:ユーザーが設定した複数のプリセットをグループ化して連続に呼び出します。
- •トレース:ユーザーの手動操作動きを保存して、その保存された動きを再現する機能です。
- ・ ツアー:ユーザーが作成したすべてのグループを順番に監視します。
- スイング、グループ、ツアー、トレースに関しては、メニュータイトル及び操作が異なるカメラがある 場合があります。
- ネットワークカメラ自体がサポートする機能でもPTZ制御ランチャーでボタンが有効になった場合のみ利用することができます。
  - アナログカメラの場合、AUXに対応します。
  - リモートコントロールに対応する製品は、リモートコントロールの上下左右(▲▼◀▶)ボタンでPTZを制御することができます。

## デジタルPTZ(D-PTZ)機能の使用

- 1. D-PTZプロファイルをサポートするカメラを登録します。
  - D-PTZプロファイルをサポートするカメラのみD-PTZ機能を使用できます。
- 2. 一般PTZ機能を搭載するカメラだけではなくD-PTZ機能を搭載するカメラも一部、<PTZ制御>機能メニューを使用し、ライブ画像をコントロールできます。
  - サポート対象機能についての詳細情報は、カメラのマニュアルを参照してください。

### プリセット

プリセットとは、見たい位置のPTZ情報を保存することで、一つのカメラに最大300個まで保存できます。



### プリセットを追加するには

- 1. プリセットチェックボックスを選択します。
- 2. < >を選択します。 仮想キーボードが画面に表示されます。これを使用してプリセット名を指定します。
  - 付録の「仮想キーボードの使用」をご参照ください
- 🔜 : 目的に応じてプリセット設定を変更することができます。
- 👔: 選択されたプリセットを削除します。
- 🔝: 既存のすべてのプリセット設定を削除します。
- プリセット設定が保存されているカメラを別のカメラと交換する場合、再度プリセット設定を行う必要があります。
  - プリセット登録最大300個は、カメラによって異なる場合があります。
- 3. <OK>をクリックします。 プリセット設定が指定した名前で保存されます。

### 登録したプリセットを変更または削除するには



1. プリセットチェックボックスを選択し、変更または削除するプリセットを選択します。

- 2. 必要に応じて< 🔜 >または< 👔 >を押します。
- 🔝:既存のすべてのプリセット設定を削除します。
- プリセットをすべて削除する場合、ネットワークカメラ自体に設定されたプリセットまで削除されることがあります。

3. 新しい名前を指定し、<OK>を押します。

# バックアップ

バックアップデバイスを検索して、レイアウトまたはチャンネル別に指定した時刻の録画映像をバックアップ することができます。



			名約				In laws	
	<b>V</b>		CAM 01		野丁	 2019-08-20	10%	25:30
	¥.		CAM 02					
	¥.		CAM 03					
	<b>v</b>		CAM 04	・時間重複データ				
			CAM 05					
•			CAM 06					
			CAM 07					
			CAM 08				- 420-	
			CAM 09		SEC			
			CAM 10				7キス	トデータを含む
				· バス \20190820\				
	0	107					×,07,	
							使用中	: 224.39M
							2882	
				禁地 閉じる				

- 1. ライブ画面でマウス右側ボタンをクリックした後、<**バックアップ**>を選択してください。 ランチャーメニューでは< **○** >をクリックしてください。
- リモートコントロールに対応する製品は、リモートコントロールの[BACKUP]ボタンでバックアップメニュー に移動することができます。
- 2. バックアップ設定画面が開きます。
- レイアウトを選択してください。:レイアウトリストでお望みの項目を選択してください。
- チャンネル:バックアップするチャンネルを設定します。
- 複数のチャンネルを選択できます。
   <すべて>項目をチェックすると、全チャンネルが選択されます。

- •バックアップ範囲:バックアップの<開始>時刻と<終了>時刻を設定します。
- 開始時刻:バックアップ開始時刻を任意の時刻に設定することができます。 バックアップ開始時刻をバックアップを開始する時刻に設定します。[開始]をクリックすると、日時設 定の表示/非表示を切替えることができます。時刻を設定した後は、[開始]ボタンをクリックし、設定 を確定(非表示)にしてください。
- 終了時刻:バックアップ終了時刻を任意の時刻に設定することができます。 バックアップ終了時刻をバックアップを終了する時刻に設定します。[終了]をクリックすると、日時設 定の表示/非表示を切替えることができます。時刻を設定した後は、[終了]ボタンをクリックし、設定 を確定(非表示)にしてください。
- ・時間重複データ:同じ時間帯に重複するデータの数によりリストが表示されます。
   選択された時刻に、時刻や時間帯変更などの理由で一つのチャンネルにデータが重複される場合表示されます。
- 目次の「メニュー設定 > システム設定」の「日付/時刻/言語の設定」ページをご参照ください。
- デバイス:認識されたデバイスから、バックアップデバイスを選択します。
- タイプ:バックアップデータの形式を設定します。
- SEC:SECは、ファイルフォーマットでビューアを含めてバックアップされ、PCからすぐ再生できる ファイルです。
- Recorder : レコーダーでのみ再生できるファイルです。
- SECフォーマットを選択すると、「パスワード」および「テキストデータを含む」を選択することができます。
- •パス:バックアップファイルが保存されるフォルダの場所を表示します。
- 容量のチェック:選択したバックアップデータのサイズ、選択したバックアップデバイスの使用済容量 と使用可能容量が表示されます。
- 3. バックアップ設定終了後、<開始>を押します。
  - バックアップするデバイスがない場合<開始>ボタンが無効になります。
- 記憶スペースが不十分なUSBメモリを挿入すると、容量計算機能は無効になる場合があります。
   メモリーを初期化するか、メモリのデータを削除し、適切な記憶スペースを確保します。
  - バックアップ中、製品の動作速度が遅くなる場合があります。
  - バックアップ中、メニュー画面への切り替えは可能ですが、データーの再生は不可能です。
  - バックアップ中、Webviewerでデータの再生は可能ですが音声は再生されません。
  - バックアップが失敗した場合は、"デバイス > 記憶装置"のメニューでHDDの容量と状態をチェックし、また HDDが正しく接続されているかどうかをチェックしてください。

# メニュー設定

カメラ、録画、イベント、デバイス、ネットワーク、システムを設定することができます。

# システム設定

日付/時刻/言語、ユーザー、システムプロパティ、ログを設定できます。

## 日付/時刻/言語

## 日付/時刻/言語の設定

現在の日付/時刻及び時刻に関連したプロパティ、並びに使用する言語を確認・設定できます。

### メニュー > システム > 日付/時間/言語



- •日付:画面に表示される日付とその表示方式を設定します。
- •時間:画面に表示される時刻とその表示方式を設定します。
- ・時間帯:グリニッジ標準時(GMT)に基づき、お住まいの地域の標準時間帯を設定します。
   ※GMT(グリニッジ標準時)は世界標準時で、世界各国の標準時間帯の基準となっています。
- ・時刻同期:時間サーバーとの同期を設定します。
   <設定>ボタンをクリックし、同期設定画面を表示させます。
   <時間サーバー>の使用を選択した場合、<時間サーバー>に定義されているサーバーと、現在時刻が定期的に同期されます。
- この場合、時刻を手動で設定することはできません。
- 同期:時間サーバーとの同期の利用可否を設定します。
- 時間サーバー:時間サーバーのIPアドレス又はURLを入力します。
- 前回同期時刻:時間サーバーと前回同期した時刻を表示します
- サーバーとして有効化:<**使用**>を選択すると、このレコーダーが他のレコーダーまたはネットワーク カメラの時間サーバーになります。
- DST: サマータイムの期間を設定します。設定した期間中、各時間帯の標準時よりも時刻を1時間早めます。
- 言語:使用する言語を設定します。
- 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語、ロシア語、韓国語、ポーランド語、 日本語、オランダ語、ポルトガル語、トルコ語、チェコ語、デンマーク語、スウェーデン語、タイ語、 ルーマニア語、セルビア語、クロアチア語、ハンガリー語、ギリシャ語、フィンランド語、ノルウェー 語がサポートされています。

祝日:特定の日付を祝日として選択できます。
 祝日は、<録画スケジュール>又は<アラームスケジュール>の各設定にも適用されます。



例) 8月1日を選択して<8月1日>だけをチェック表示すると、毎年の8月1日が休日に、<8月1日>と
 <8月第1週木>をすべてチェック表示すると、毎年の8月1日と8月第1週の木曜日がすべて休日に設定されます。

### カレンダーを使用するには



1. 年月を選択します。 年月の両端にある< < >>キーを選択し前/次の年、若しくは前/次の3カ月へ移動します。

2. 日付を選択し、<OK>ボタンを選択します。

メニュー設定

## ユーザー

レコーダーの特定機能と設定権限を各ユーザー別に差をつけて与えることができます。

### 管理者の設定

管理者IDとパスワードを設定・変更できます。 管理者はメニュー項目と機能をすべて使用・設定できます。

メニュー > システム > ユーザー > 管理者



- ID:管理者IDを変更します。
- •現在のパスワード:現在のパスワードを確認します。
- •新規パスワード:新しいパスワードを入力します。
- •パスワードを確認:新しいパスワードを承認します。.
- <パスワードの表示>を選択すると、入力中のパスワードがスクリーン上に表示されるようになります。
- ▲ 最初の管理者IDは"admin"に設定されます。
  - 個人情報を安全に保護し、情報の漏洩を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。
     パスワードの管理の不備で発生したセキュリティ及びその他の問題は、ユーザーの責任となりますことを御 注意ください。
  - < 0 >をクリックすると、パスワード設定の基本ガイドが表示されます。

## ユーザー設定

グループを作成し、各グループに対する権限を設定することができます。 ユーザーを追加し、登録したユーザー情報を編集できます。

#### メニュー > システム > ユーザー > ユーザー



### グループを追加する場合

- 1. [<u>▲</u>]ボタンをクリックし、グループ追加ポップアップウィンドウを開きます。 グループを追加する場合、<**OK**>をクリックします。
- グループ名の項目を押すとグループ名を入力する仮想キーボードが表示されます。
   登録するグループ名を入力します。
   最大10グループを登録可能です。

### グループ権限を設定する場合

各グループでアクセス可能な権限を設定します。 各グループのユーザーは、チェックマークがついた項目にのみアクセスできます。

- 1. グループ権限を設定するメニューを選択します。 グループに属するユーザーがログインした場合、アクセス許可のあるメニューが表示されます。
- ライブビュー:チャンネルごとに、ライブ画面にアクセスするための権限を設定することができます。
- 検索:チャンネルごとに、検索画面にアクセスするための権限を設定することができます。
- バックアップ:チャンネルごとに、バックアップメニューにアクセスするための権限を設定することができます。
- メニュー:アクセス可能な設定メニューを選択・設定できます。グループに属するユーザーは、選択されているメニューのみアクセスできます。メニューを選択すると、メニュー権限設定画面が表示されます。
- •録画、録画中止、PTZ、リモートアラーム出力、シャットダウン:これらの機能を選択し、グループの 権限に追加できます。
- <適用>をクリックします。 選択した項目にアクセスする許可を与えるグループユーザーを確認します。

### ユーザーを登録する場合



- 1. [ \_\_\_\_] ボタンをクリックし、ユーザー追加ポップアップウィンドウを開きます。 ユーザーを追加する場合、<**OK**>をクリックします。
- グループを選択します。 ユーザーを登録するとき、選択したグループに自動的に登録されます。
- グループは、必要な情報をすべて入力した後に変更することができます。
- 3. 名前、ID、パスワード(パスワード確認)を入力し、ビューアオプションを有効または無効にします。 <ビューア>を有効にすると、ウェブビューアーとネットワークビューアーを使用する権限を得ること になります。
  - <パスワードの表示>を選択すると、暗号化されて見えるバスワードが実際入力された文字で表示されます。
- <OK>をクリックします。 登録されたユーザー情報が保存されます。
- グループ及びユーザー情報を削除するとき
- 1. 削除するグループやユーザーを選択して、[ 📷 ]ボタンをクリックしてください。
- 2. 削除確認ポップアップが表示されたら、<OK>をクリックしてください。

## 権限の設定

ー般ユーザー全員に対して、アクセス制限を設定できます。 制限つきの項目は、利用のためにはログインが必要です。

#### メニュー > システム > ユーザー > 権限設定



- メニュー設定
- アクセス制限:使用可能なメニューに対してすべてのユーザーにアクセス制限を設定できます。
- チェック有り(図):制限されている
- チェックなし(■):アクセス可能
- <アクセス制限>内の(■)>にチェックがなかった場合、<権限設定>設定に関係なく、誰でもその項目に アクセスできます。
- <アクセス制限>内の(図)>でチェックがあった場合、ユーザーが<権限設定>設定で権限を得た場合にのみ、その項目にアクセスできます。
- ネットワーク・アクセス制限:
   アクセス制限>で設定されたネットワークでのリモートアクセスを制限します。
- 全ネットワーク:ネットワークビューアーとウェブビューアー経由のアクセスをすべて制限します。
- Web Viewer:ウェブビューアー経由のアクセスを制限します。
- 自動ログアウト:ユーザーがログインした後、設定された時間の間にレコーダーを操作しないと自動に ログアウトされます。
- IDの手動入力:ログインウィンドウで、IDを入力するかどうか選択します。

メニュー設定

## ユーザーにアクセス制限がかかっている場合

新しいグループに、全メニューへのアクセス制限がかかっている場合、そのグループに属するユーザー は、基本メニューにしかアクセスできず、個々のパスワードのみ変更が可能です。 権限がすべて制限されていた場合、ライブ画面メニューもアクセス可能な一部のメニュー項目のみが見え ます。



## ユーザーパスワードを変更するには

グループのアクセス制限のかかったユーザーアカウントでログインした場合、個人パスワードのみ変更可 能です。

### メニュー > システム > ユーザー > ユーザー



- **1.** ログインします。
- **2. <システム**>で**<ユーザー**>を選択してください。
- 3. <ユーザー>を選択します。
- 4. 新しいパスワードを入力します。
- 5. <適用>を選択します。古いパスワードが新しいパスワードに変更されます。

## システム管理

現在のシステムバージョンを確認し、新規バージョンでのアップグレード及び設定データのバックアップ、設定初期化などを実行できます。

## システム情報の確認

アップグレードを進める前に、現在のソフトウェアのバージョン及びMACアドレスを確認できます。

メニュー > システム > システム管理 > システム情報



- システム情報:現在のシステム情報を表示します。
- モデル名:製品のモデル名を示します。
- S/Wバージョン:使用している製品のソフトウェアバージョンが表示されます。ソフトウェアバージョンを確認してからアップグレードすることができます。
- MACアドレス1:製品のMACアドレスを表示します。
- S/Wアップグレード:検索されたレコーダーのソフトウェアを最新バージョンにアップグレードします。
- < >ボタンを押すと、USBやネットワークにあるソフトウェアを検索することができます。
- デバイス名:製品のデバイス名を入力することができます。VMS、Device Managerへ接続されたときに 表示されます。他のレコーダーと区別するために異なるデバイス名を入力することをお勧めします。

### 現在のS/Wバージョンをアップグレードするには



- 1. 最新バージョンのソフトウェアが保存されているデバイスを接続します。
  - デバイスを認識するまで約10秒程かかります。
  - アップグレード可能なデバイスには、USBメモリ及びネットワークがあります。
  - ネットワークでアップグレードするためには、製品が外部ネットワークに接続される必要があります。 プロキシサーバー経由のアップグレードは、アクセス制限が原因でできない場合があります。
- 2. <システム>ウィンドウから<システム管理>を選択します。
- 3. <システム情報>を選択します。
- 4. 認識されたデバイスが表示されたら、<アップグレード>を選択します。
  - アップグレードメニューウィンドウでデバイスを接続した場合< >ボタンを押して利用可能なソフトウェアを検索できます。
  - ネットワーク上にアップグレードデータがあった場合、ポップアップウィンドウが表示されます。
  - <アップグレード>ボタンは、ソフトウェアバージョンが製品のソフトウェアバージョン以上の場合の み有効になります。
- 5. "システム情報"ウィンドウで<OK>を押します。
  - 更新中、進捗が表示されます。
- 6. 更新が完了すると、自動的に再起動します。 再起動を完了するまでは電源を切らないでください
- 「アップグレードに失敗しました。」が表示された場合、ステップ4から再試行してください。繰り返し失敗してしまうときは、販売代理店に問い合わせください。

### 設定管理

レコーダーに設定された情報をストレージメディアで他のレコーダーに同じく適用することができます。

メニュー > システム > システム管理 > 設定管理



- 記憶装置:接続したストレージメディアを表示します。
- < 🖸 > ボタンを押し、ストレージメディアのリストを表示します。
- レコーダー → USB: レコーダーに設定された情報をストレージメディアに保存します。
- USB → レコーダー:ストレージメディアに保存された設定情報をレコーダーに適用します。
- 除外項目を選択すると、該当項目を除いた情報をインポートすることができます。
- 設定値<エクスポート>、<インポート>は同じソフトウェアバージョンでしか使用できません。
- 初期化設定:製品を工場出荷時の設定に初期化できます。但し、ログは初期化されません。除外項目を 選択すると、当該項目を除いた残りの設定のみ初期化されます。<初期化>ボタンを選択すると、確認ポ ップアップが表示されます。<OK>ボタンを選択すると、選択した項目が初期化されます。
- 電源OFF:電源がOFFになると、1番アラームから出力します。チェックボックスにチェックを入れてから、<適用>ボタンを押した場合、1番のアラーム出力に設定したすべてのイベントアラームが解除され、1番のアラームはその他のアラーム出力では選択できなくなります。
- アラーム出力に対応する製品でのみ動作します。
- この機能を設定すると、アラーム設定画面の1番のアラーム出力チェックボックスがすべてが無効化され、OFFとなります。
- 🛛 🔹 設定情報をエクスポートすると、記憶装置のrecorderフォルダに設定情報がファイルで保存されます。
- 設定情報をインポートするには、設定情報ファイルが記憶装置のrecorderフォルダにある必要があります。

メニュー設定

## ログ情報

システム及びイベントのログを確認できます。

## システムログの確認

システムログには、各システムのスタートアップ、システムシャットダウン及びシステム設定の変更に関するログとタイムスタンプ(日付/時刻)が表示されます。

		ログ情報	
	\$28409 (K)109 11,97,709		
	- MATH IN 201909/15 - 188		
		4/79) (BIBS) :58-)	
		8135960/01001 1 0F-133.558.229 1257v580	
		BUDH 778/081 - P-153 148 229 125/W10	
		H#42 0000 :VE-8	
1440/11		0070> (####) : 5%->	
		PRODUCT	
PART		+848895	
		05/12 (MER) 198-3	
-ka		0270) (B00) :51-)	
		0///> (WER) : VS->	
		81000019941 (P-152.559.219.1259/00)	
		8000 779 00 41 1 P-103 104 229 129 VIII)	
		EXEMPTION 1 (P-152, 155 229 1257 V10)	
		813097799981 : #~03030822912259490	
		BUDDer#1641 - P-153,1662291259430	
		813097789981 (#~150.559.229.1259458)	
		B12006/9/0411 ( P=033.066.229.029/V00)	
		BURN 778/041 : P-CKL 564 226 125(VER)	
		#15961#1041   IP-152.558.229.1257400	
		#1839 779/041 1 P=183 548 229 125(VER)	
	8001-0 8001-0		1916-1

- 検索日付:カレンダーアイコンをクリックし、カレンダーウィンドウを表示させるか、方向ボタンを使用してシステムログの検索期間を指定します。
- 目次の「メニュー設定 > システム設定」の「カレンダーを使用するには」ページをご参照ください。
- 検索:日付を指定してからこのボタンを押すとログ一覧に該当日付の検索結果が表示されます。
- タイプ:ログが多すぎるときは、タイプを選択することで、必要な内容のログのみを表示させることができます。
- エクスポート: レコーダーに記録されたすべてのシステムログ情報をストレージメディアに保存します。

## イベントログの確認

アラーム、カメライベント、ビデオロスなど、記録されたイベントを検索することができます。 イベントログ等の内容と実行された日付及び時刻を表示します。

### メニュー > システム > ログ情報 > イベントログ

		ログ情報		
	519409 (K)109 K1971709			
	- HETH TO 20194945			
			01 1274234 147 28	
	le,	OFV3.F	011/108	
		NECOCOUNCES ON A	2019-08-20 18:28:21	
		6923068 Ct 9		
		warmout or 7	2018-08-25 18/35/07	
		Replaced on 2		
		WENROUG CLD		
0440/818		HIS DISCHER CK 5		
		6843068 Ct 4		
(PARM				
		6:0 + 2 < 600 Ct 5		
		HIS DOLDER ON L		
	##0%-2 ##0%-2			2928-3

- 検索日付:カレンダーアイコンをクリックし、カレンダーウィンドウを表示させるか、方向ボタンを使用してシステムログの検索期間を指定します。
- 目次の「メニュー設定 > システム設定」の「カレンダーを使用するには」ページをご参照ください。
- 検索:日付を指定してからこのボタンを押すとログ一覧に該当日付の検索結果が表示されます。
- タイプ:ログが多すぎるときは、タイプを選択することで、必要な内容のログのみを表示させることができます。
- エクスポート: レコーダーに記録されたすべてのイベントログ情報をストレージメディアに保存します。

## バックアップログの確認

バックアップしたユーザーと時刻情報を検索できます。

メニュー > システム > ログ情報 > バックアップログ



- 検索日付:カレンダーアイコンをクリックし、カレンダーウィンドウを表示させるか、方向ボタンを使用してシステムログの検索期間を指定します。
- 目次の「メニュー設定 > システム設定」の「カレンダーを使用するには」ページをご参照ください。
- •検索:日付を指定してからこのボタンを押すとログ一覧に該当日付の検索結果が表示されます。

## カメラ設定

カメラ、チャンネル、プロファイル、カメラのパスワードに関する内容を設定することができます。

## チャンネル設定

ネットワークカメラを各チャンネルに登録して接続することができます。

#### メニュー > カメラ > チャンネル設定



- CH:< - > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- < < > >: クリックすると選択されたチャンネルの現在の映像を表示します。
- ONVIFで検索したカメラはプレビューができません。
- カメラ名:カメラ名を入力します。スペース含みで15文字まで入力できます。
- モデル:カメラのモデル名が表示されます。
- プロトコル:登録したネットワークカメラのプロトコル情報が表示されます。
- IP/ポート: ネットワークカメラのIPまたはポート位置を表示します。
- 映像
- <**オン/オフ**>:選択したチャンネルのカメラ映像をON/OFFすることができます。カメラ映像をオフに する場合、カメラ映像は表示されず録画もされません。
- <**Covert1**>:選択したチャンネルの映像以外の情報が表示されます。 プライバシー保護のため、録画はしますが映像は表示されません。
- <**Covert2**>:映像及びすべての情報が表示されないが、録画はされます。
- チャンネルを<Covert1>又は<Covert2>モードに設定した場合、チャンネルの音声は聞こえません。
   ただし、オーディオ設定が<オン>に設定されている場合、ライブでの音声は出力されないが、録音はされます。

#### • 音声

- <オン>に設定した場合、ライブ画面上でチャンネルの音声のON/OFFを切り替えることができます。
- <オフ>に設定した場合、ライブ画面上でチャンネルの音声はOFFになり、録音されません。
- 状態: 接続ステータスが表示されます。
- ONVIF: ONVIFプロトコルカメラに対する追加設定を行うことができます。
- アップグレード:カメラのバージョン、アップグレードバージョン、状態を確認し、アップグレードすることができます。
- エラーコードガイド:発生されたエラーコードに対する詳細を確認することができます。
- システムを初期化した後、カメラが登録できない場合にはネットワーク設定を確認してください。システムを 初期化してネットワーク設定が初期化されると、カメラと製品のネットワークセグメントが異なるためカメラ を登録することができません。

メニュー

遗语

メニュー設定

# アナログカメラ設定



1. <チャンネル設定>項目欄の<アナログ>ボタンをクリックしてください。

- 2. 接続済みのアナログカメラのリストが表示されます。
- 3. 項目を選択した後、設定を変更してください。
- 他のポートに適用:
   他のポートに適用>を選択すると、「他のポートに適用」確認ポップアップが表示 されます。
   該当設定値を適用するポートを選択して、
   OK>をクリックすると、設定された内容が選択したポート
- 該当設定値を適用するホートを選択して、<**UK**>をクリックすると、設定された内容が選択したホート に適用されます。
- 映像信号: AHD、TVI、CVI、CVBSの中で入力された映像信号が表示されます。
- 解像度:入力されたカメラの解像度が表示されます。
- 通信:カメラポート制御方式をCoaxialケーブル、シリアルの中から選択することができます。
- プロトコル:通信方式をシリアルに選択した場合、Samsung-T、Pelco-D、Pelco-Pの中から選択することができます。)
- ID:通信方式をシリアルに選択した場合、デバイスIDを入力することができます。
- 状態 : カメラの接続状態を表示します。( 🔵 接続, 🌑 切断)

## ネットワークカメラ登録



- 1. <チャンネル設定>項目欄の<自動検索>ボタンをクリックしてください。
- 2. <検索されたカメラ>リストで登録するカメラを選択した後、画面中央の<登録>ボタンをクリックして ください。選択されたカメラは<登録されたカメラ>リストで確認することができます。
  - 既に登録したカメラは、一覧内で青色に表示されます。
  - 再度検索をするかカメラIPが未だDHCPサーバーによってIP割り当てが行われず同一のIPが継続して維持される場合(例-192.168.1.100)、<更新>ボタンを押して割り当てられたかを確認します。
  - <状態>では登録のための認証状態を表示します。
  - リスト上のヘッダー部分をクリックすると検索リストを再度並び替えます。
  - <チャンネル設定>タブでは登録スタンバイ中のカメラのチャンネル順番をドラッグ&ドロップして変更 することができます。
- 3. カメラのIPアドレスを変更するには<登録されたカメラ>リストでお望みのカメラを選択した後、<IP変 更>ボタンをクリックしてください。
- 4. 画面の右下の<登録>ボタンをクリックすると、選択されたカメラが登録されます。
- カメラを登録する時、管理者権限ではなくユーザー権限で登録すると、カメラの機能に制限がかかることがあります。
  - カメラウェブビューアでカメラのID/パスワードを変更時、該当カメラがレコーダーにすでに登録済みのカメ ラの場合はレコーダーに登録済みのカメラのID/パスワード情報も同じく変更してください。
  - ネットワークカメラ2台の最大受信帯域幅は下記の通りです。ネットワークカメラの受信帯域で、アナログカメラの帯域に影響があります。
  - HRX-1621/TE (24Mbps)
  - HRX-821/TE (20Mbps)
  - HRX-421FN/TE (13Mbps)

## ネットワークカメラの手動登録



- 1. <チャンネル設定>項目欄の<手動>ボタンをクリックしてください。
- 2. 手動で追加ページが表示されます。
- ライブ画面で登録されていないチャンネルをダブルクリックすることでも、カメラ手動追加ポップアップが発生してカメラを手動で登録することができます。
- 3. カメラを接続するために使用するチャンネルとプロトコルを選択します。 入力項目は、選択したプロトコルによって異なる場合があります。
- Wisenet:Wisenetカメラのプロトコルを使用することができます。
- ONVIF:カメラがONVIFプロトコルをサポートしていることを意味します。リスト上に名前が無いカメ ラを接続するときは、
   ONVIF>を選択します。
- ONVIFでカメラを登録する場合、カメラとレコーダーのシステム時間差が2分以上の場合にはカメラを登録 することができません。 カメラとレコーダーの時刻を同期してください。
- RTSP:リアルタイムストリーミング伝送は"Real Time Streaming Protocol(RTSP)"プロトコルのRFC2326 文書に準拠しています。
- 4. <Wisenet>プロトコルを選択した場合、表示される各項目を選択します。
- モデル:カメラのモデルを選択します。
- Wisenet Camera:ハンファテックウィンのカメラ、エンコーダーを登録することができます。
- Wisenet Multi-Channel: ハンファテックウィンのマルチディレクショナル・カメラまたはマルチイメー ジャ・カメラを登録することができます。Multi-Channel Cameraは一つの本体に複数のカメラモジュー ルで構築されたマルチチャンネル・カメラを意味します。レコーダーにカメラを自動登録すると、複 数のチャンネルを一度に登録することができます。但し、カメラを手動登録するためにはチャンネル 別に登録する必要があります。

- •アドレスタイプ:カメラのアドレスタイプを選択します。
- 接続された製品によって対応するアドレスタイプが異なります。
- 静的(IPv4)/静的(IPv6):カメラのIPアドレスを手動で入力するために使用します。
- Wisenet DDNS: カメラがWisenet DDNS(ddns.hanwha-security.com)サーバーに登録されている場合の み使用可能です。DDNS ID用の登録ドメインを入力します。
- 例) http://ddns.hanwha-security.com/snb5000; Wisenet DDNSに"snb5000"を入力します。
- URL:URLアドレス入力に使用します。
- カメラで対応するDDNS仕様は、各カメラの製品取扱説明書で確認することができます。
- IPアドレス:カメラのIPアドレスを入力します。
- デバイスポート:カメラのデバイスポートを入力します。
- カメラ製品によってデバイスポートに対応できないことがあります。
- HTTPポート:カメラのHTTPポートを入力します。
- ID:登録するカメラのIDを入力します。
- •パスワード:登録するカメラのパスワードを入力します。
- 5. プロトコルを<ONVIF>又は<RTSP>を選択し、表示された各欄に情報を入力します。
- ONVIF : IPタイプを選択した後、IPアドレス、ONVIFポート、ID、パスワード、詳細情報を設定してください。
- ONVIFポート:アドレスタイプがIPv4またはIPv6の場合、ポート値を入力してください。
- ID:カメラのIDを入力してください。
- パスワード:カメラのパスワードを入力してください。
- 詳細:権限、ストリーミングモードを設定することができます。
- RTSP: URL、ID、パスワード、詳細情報を設定してください。
- URL: RTSP接続アドレスを入力してください。詳細はカメラの製品取扱説明書をご参照ください。
- ID:カメラのIDを入力してください。
- パスワード:カメラのパスワードを入力してください。
- 詳細:ストリーミングモードを設定することができます。
- ONVIF、RTSPプロトコル選択時、詳細でストリーミングモードを設定することができます。
  - TCP:ネットワークカメラとの接続がRTP over TCPに動作します。
  - UDP:ネットワークカメラとの接続がRTP over UDPに動作します。
  - HTTP:ネットワークカメラとの接続がRTP over TCP(HTTP)に動作します。
  - HTTPS:ネットワークカメラとの接続がRTP over TCP(HTTPS)に動作します。

メニュー設定

カメラ登録のエラー詳細を確認する場合

カメラ登録に失敗した場合、失敗の理由が表示されます。

- **不明なエラーにより、接続に失敗しました。**:不明なステータスが原因でカメラの登録が失敗した場合、このメッセージが表示されます。
- カメラアカウントのロックが原因で、アクセスに失敗しました。
   カメラアカウントのログインで間違ったID/パスワードを5回入力してロックされた場合、このメッセージが表示されます。
   30秒後にもう一度ログインしてみて同じメッセージが表示された場合、外部から誰がお使いのカメラアカウントにアクセスしようとしたかを確認する必要があります。
- 接続に成功しました。: カメラの接続に成功した場合、このメッセージが表示されます。
- モデル情報が間違っています。正しいモデル情報を入力してください。: カメラを登録するために入力 したモデル情報が間違っている場合、このメッセージが表示されます。
- 認証に失敗しました:カメラを登録するために入力したID又はパスワードが間違っている場合、このメッセージが表示されます。
- 同時ユーザー数の超過が原因で、接続に失敗しました。: 同時ユーザー数が上限を超えた場合、このメッセージが表示されます。
- HTTPポート情報が正しくないため、接続に失敗しました。: カメラのHTTPポート番号が違う場合、このメッセージが表示されます。
- 接続に失敗しました。不明な接続ステータスです。: 不明なエラーが原因でカメラの接続が失敗した場合、このメッセージが表示されます。
- ユーザーモデル変更:新規カメラを登録するとき、ユーザーがそのモデルを<Wisenet Camera>に設定 した場合、デバイスの初期設定に応じて名前がつきます。自動登録に失敗した場合、ユーザーは登録す るカメラの名前を変更できます。

### カメラプロファイルを編集するには

Profileを変更するには、目次の「メニュー設定」の「ネットワークカメラの録画プロファイル設定」または「ライブ設定」ページをご参照ください。

- カメラに、ライブ、録画プロファイル、リモートプロファイルをそれぞれ設定すると、一つのカメラから3つの ストリームが生成されます。特に、ライブプロファイルは使用されている画面分割モードに応じて異なります。
  - カメラの場合、一つのプロファイルを送信する時はフレームが保証されますが、複数プロファイルで出る場合は伝送するフレームを保証できません。たとえば2つのプロファイルを30fpsで伝送するとき、設定は30fpsになっていても20fpsで伝送される場合があります。

## ネットワークカメラのファームウェアアップグレード



1. <チャンネル設定>項目欄の<アップグレード>ボタンをクリックしてください。

- モデル:カメラモデル情報を表示します。
- •現在のバージョン:現在カメラファームウェアバージョンを表示します。
- アップグレードバージョン:アップグレードするファームウェアバージョンを表示します。< Q >ボタンをクリックして、USB内のファームウェアを手動で選択することができます。< D >はリモートサーバーでのアップグレード表示です。
- •状態:現在、進行中のアップグレード状態(アップグレード中、成功、失敗)を表示します。
- 2. 接続されたカメラの中でアップグレードできるチャンネルリストが表示されます。
  - リモートサーバーで最新のファームウェアが存在する場合、アップグレードバージョンが表示され、チェックボックスが自動選択されます。(ただし、リモートサーバーを使用してのアップグレードは推奨されません。)
  - アップグレードバージョンが表示されない場合は
     >ボタンをクリックしてサーバーからアップグレードバージョン情報を読み込むことができます。
  - カメラファームウェアが入ったUSBをデバイスに接続し、< Q >ボタンをクリックしてUSB内のファ ームウェアファイルを検索して選択することができます。
  - チャンネルを選択して<他のチャンネルに適用>ボタンをクリックすると、同じモデルが接続された他のチャンネルにもファームウェアを一括適用することができます。
- 3. アップグレードするチャンネルのチェックボックスを選択してください。
- **4.** <**アップグレード**>ボタンをクリックしてください。カメラファームウェアアップグレードが開始されます。
  - アップグレード中に他のメニューに移動することができます。
  - アップグレード中に<中止>ボタンをクリックすると、アップグレードを中止することができます。
  - アップグレードが完了されると、ライブの左上に< → >が表示され、アイコンをクリックして結果を確認することができます。
- Wisenetプロトコル&カメラの管理者権限で接続されたチャンネルのみファームウェアアップグレードが可能です。
  - カメラファームウェアが旧バージョンであるにもかかわらず、アップグレードバージョンが表示されない場合は、ネットワーク設定を確認してください。
  - USBの最上位フォルダ内のファームウェアファイルが50個を超過する場合、検索できないことがあります。
  - USBでのアップグレード中にUSBをデバイスから切断する場合、システムが再起動することがあります。
  - アップグレード中のカメラに接続されたチャンネルの映像データは録画されないことがあります。
  - アップグレードが完了するまでHDDフォーマットを行わないでください。アップグレードに失敗することがあります。

## ONVIF設定

カメラ追加画面の最下部で、<**ONVIF**>ボタンをクリックし、ONVIFプロトコルのカメラに追加設定ができます。

 ユーザーアカウント(カメラ登録のために使用するカメラアカウント)でユーザー情報を読み取り接続 が管理者権限で行われている場合のみ、情報を変更できます。

プロファイル ユーザー	ネットワーク リレー			
プロファイルを追加する 削	除 プロファイル情報			
MUPEG	・プロファイル名			
H.264	・映像ソース	video source confi	iguration 0	
H.265	・ビデオエンコー	encoder0		
Live4NVR	・映像コーデック	MUPEG		
PLUGINFREE	・解像度	1920 × 1080		
Rec4NVR		・ 単大ピットレート		
MOBILE	・音声ソース	audio source configuration		
		audio encoder		
	・音声コーデック	G.711		
		64		
	→ PTZ			
	・ メタデータ	None		

### チャンネル

ONVIFプロトコルで登録済みのカメラのチャンネルリストを確認することができます。

### プロファイル

- プロファイルを追加する:カメラのプロファイルを追加します。 プロファイルを追加した後、<OK>ボタンをクリックすると一覧に追加されます。
- 削除:削除するプロファイルを選択した後、<削除>ボタンをクリックし、選択したプロファイルを削除します。
- プロファイル情報:選択したプロファイルの詳細を設定できます。各項目の設定が終わった後、<適用> ボタンを押し、変更内容を保存します。

### ユーザー

- ユーザー追加:カメラユーザーを追加します。
   ユーザーを追加した後、
   OK>ボタンをクリックすると一覧に追加されます。
- 削除:削除するユーザーを選択した後、<**削除**>ボタンをクリックし、選択したプロファイルを削除します。
- ユーザー情報:選択したユーザーの詳細を設定できます。

### ネットワーク

ネットワークの詳細を設定できます。

- IPタイプ: IPv4/IPv6どちらかのIPタイプから選択します。
- DHCP:DHCPを使用するかを選択します。
- DNS/NTPサーバー:DHCP設定が<ON>の場合のみ、DHCPのチェックボックスが有効になります。
   DHCPが選択された場合、IPアドレスを手動で入力することはできません。

### リレー

リレーの詳細を設定できます。

- デジタル出力:デジタル出力チャンネルを選択できます。
- リレーモード:両安定又は単安定モードを選択します。
- リレースタンバイ:リレースタンバイモード状態を「開」・「閉」どちらかを選択します。
- •待ち時間(秒):リレー操作待機時間を選択します。

### イベト

イベントの詳細を設定できます。

- 入力されるイベント(カメラから):ONVIFプロトコルを使用し、カメラがサポートしているすべての イベントのリストが表示されます。
- •レコーダーが対応するイベント:カメラで対応するイベントリストをレコーダーで認識されるイベント にマッピングすることができます。初期値はありません。カメラが送信した値のみが表示されます。

### カメラ設定

選択されたカメラのライブ映像を見ながらカメラ設定をすることができます。

メニュー > カメラ > カメラ設定



- | ▼ ネットワークカメラでは、下記の場合にこの機能を使用することができます。
  - J 1. Wisenetプロトコルで接続したカメラ
     2. 管理者権限つきで接続したカメラ
  - カメラ設定に関する詳細については、カメラユーザーマニュアルをご参照ください。
     設定及び操作仕様は、各カメラによって異なります。
  - 一部モデルの場合、当該機能をサポートしておりません。

### アナログカメラの設定

- 画面:画面調整(コントラスト、明るさ、彩度、カラー、鮮明度)、ノイズ削減、水平位置、垂直位置、水平倍率、垂直倍率を設定することができます。
- プライバシー:プライバシー保護のため、カメラの画像範囲で非表示にする領域を最大4個設定できます。

#### ネットワークカメラの設定

- SSDR:暗い領域と明るい領域の間に大きな差がある場合、暗い領域の明るさを強め、領域全体の明る さレベルを維持します。モード、レベル、D-レンジを設定できます。
- バックライト:明るい領域と暗い領域の両方を閲覧できます。モード、WDRレベル、WDR、黒/白レベルを設定できます。

# メニュー設定

- 露出補正:カメラの露出を調整することができます。BRIGHTNESS、SHUTTER、SSNR、Sens-up、ア イリス/レンズ、AGCを設定することができます。
- Day/Night:モードを変更し、カラー及び白黒を調整できます。モード、切替時間、ネガティブカラー、継続時間、アラーム入力、明るさ変更、D/N切替後のシンプルフォーカス、有効化時間(カラー)を設定することができます。
- •特別設定: DIS(デジタル手ブレ補正)、曇り除去機能の使用及びレベルの設定ができます。
- ・ 焦点: カメラ映像のフォーカスを調整することができます。フォーカス、ズーム、シンプルフォーカス、フォーカス初期化を設定することができます。
- Flip: FLIPモード、ミラーモード、玄関ビューを設定することができます。
- プライバシー:プライバシー保護のため、カメラの画像範囲で非表示にする領域を設定することができます。設定できる領域数は、使用するカメラによって異なります。
- PTZカメラでは設定ができず、できる場合であっても設定領域が不正になる場合があります。

## プロファイル設定

### 録画プロファイル設定

カメラに録画を行うための映像プロファイルを設定できます。

### メニュー > カメラ > プロファイル > 録画



- ℤ カメラがサポートしているプロファイルに対して設定が可能です。
  - 録画プロファイル設定とリモートプロファイル設定が異なる場合、カメラに設定されたフレームとおり録画できない場合があります。
  - アナログカメラの場合、通常録画やイベント録画のプロファイルを別途に設定することができます。
- CH: < - > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- プロファイル:選択したチャンネルの録画プロファイルを選択することができます。
- コーデック:選択したチャンネルのコーデックを確認することができます。
- 解像度:選択したチャンネルの解像度を選択することができます。
- フレームレート:選択された録画プロファイルのフレームレートを設定することができます。
- •編集:カメラのプロファイルを変更、修正、削除することができます。

## ライブプロファイル設定

ネットワークカメラのライブ転送設定を変更できます。

### メニュー > カメラ > プロファイル > ライブ



- CH: < - > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- ライブ置き換え:ライブプロファイル設定モードを選択します。
   <マニュアル>を選択すると、プロファイル設定項目が有効になり、設定を手動で変更できます。
- 自動:ライブ監視のためのプロファイルはカメラ登録時、自動に作成された「Live4NVR」プロファイルと共に解像度別の分割モードに合わせて最適化されたプロファイルが表示されます。
- Live4NVRプロファイルの初期値:H.264 800 x 600, 800 x 448 30fps
- 手動:ライブモニタリングを、登録したカメラプロファイルからユーザーが選択したプロファイルを 使って実行されます。
- 録画:ライブモニタリングを録画用のプロファイルを使って実行されます。
- プロファイル:カメラのプロファイルを設定することができます。
- コーデック: 選択されたプロファイルのコーデックを表示します。
- 解像度:選択したプロファイルの解像度を表示します。
- •フレームレート:選択したプロファイルのフレームレートを表示します。
- •編集:カメラのプロファイルを変更、修正、削除することができます。

## リモートプロファイル設定

ネットワークに伝送される映像プロファイルを設定できます。

### メニュー > カメラ > プロファイル > リモート

+>3482 4382 107744 1496-120-7	88 947 98-9 OF	202+48			
14388 1627 (A 1436(120-7		202+4A			
1877 FA			F83	72-25-2	
496-129-1		Sub Street	640-298		
		Liveling	805+948		
			640-368		
, ax					
			640x368		
- 9741 X					
1 1 1 1 1					

- CH: < > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- プロファイル:接続したカメラのリモートプロファイルを選択します。
- コーデック:選択したリモートプロファイルのコーデック情報が表示されます。
- 解像度:選択したリモートプロファイルの解像度が表示されます。
- フレームレート:選択されたリモートプロファイルのフレームレートを表示します。
- •編集:カメラのプロファイルを変更、修正、削除することができます。
- 録画プロファイル設定とリモートプロファイル設定が異なる場合、カメラに設定されたフレームとおり伝送 できない場合があります。

## プロファイル詳細設定

各チャンネル別に登録されたカメラの映像設定を変更できます。

### メニュー > カメラ> プロファイル> 編集

			P - 1	K- kk= kay ka=ik				
		新像度		タイプ	2712-1	ビットレート範囲	使用中	
MJPEG	MUPEG	1920x1080			6144	1024 ~ 6144		
H.264	H.264	1920x1080		VBR	2560	1536 ~ 12288	辞画	
H.265	H.265	1920x1080		VBR	2048	1024 ~ 12288		
Live4NVR	H.264	800x448		VBR	1024	512 ~ 12288		
PLUGINFREE	H,264	1920x1080		VBR	2048	1536 ~ 12288		
Rec4NVR	H.264	1920x1080		VBR	2048	1536 ~ 12288		
MOBILE	MUPEG	320x240			2048	256 ~ 15360		

- チャンネル選択:映像転送関連の設定を変更するカメラチャンネルを選択します。
- 追加:カメラのプロファイルを追加できます。追加ボタンをクリックし、追加ウィンドウを開きます。 情報を入力し、<**OK**>ボタンをクリックすると一覧に追加されます。
- 削除: 選択したプロファイルをリストから削除できます。
- 他のチャンネルに適用する:<他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。
- 設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- プロファイル:接続されたカメラ設定の映像プロファイルを確認することができます。
- コーデック:選択したチャンネルのプロファイルでコーデック情報を確認することができます。
- 解像度:選択したチャンネルの解像度を確認・設定することができます。
- フレームレート:選択したチャンネルのフレームレートを確認・変更することができます。
- ビットレートコントロール:選択したチャンネルのタイプ、ビットレートを確認・変更することができます。
- カメラによっては特定プロファイルの設定値を変更する場合、フレームレートの設定範囲が変更されることがあります。
   例)1番目のプロファイルのフレームレートを30fpsに設定した場合、2番目のプロファイルの設定範囲が

10)1番目のノロノアイルのノレームレートを30tpsに設定した場合、2番目のノロノアイルの設定範囲か 15fpsに変更されることがあります。

- コーデック、解像度、フレームレート、ビットレート以外の設定は、カメラWeb Viewerの設定メニューで変更 することができます。カメラウェブビューアは、目次の「設定ビューアー > デバイス」の「カメラ設定」ページをご参照ください。<カメラウェブサイト>ボタンをクリックすると接続できます。
- 現在のプロファイル設定を変更した場合、一定時間、録画又はライブ画面が中断される場合があります。
- カメラ設定ページで変更された事項はすぐ適用されるが、外部のカメラウェブサイトから設定を変更する場合は、3分ぐらいかかります。

メニュー設定

### 歪み補正設定

<プロファイル詳細設定>画面の下の<歪み補正>ボタンをクリックすると、チャンネル別の歪み補正設定 ポップアップが表示されます。



- プロファイル/ビュータイプ:歪み補正設定ポップアップのプロファイルリストでビュータイプを選択することができます。
- SourceMJPEG、SourceH264、DewarpMJPEG、DewarpH264は固定プロファイルのため、設定を変更することができません。
- 据付けモード:魚眼インストールタイプを変更できます。設置場所に応じてビューモードを天井/床/壁から選択できます。
- ビューモードはカメラの対応有無によって選択できます。
- ビュー:分割セクションごとに、現在のスクリーンの魚眼ビューモードを変更できます。
- レコーダーに登録済みのカメラの中、魚眼ビューに対応するカメラがない場合、歪み補正を設定できません。

### ワイズストリーム設定

ビデオの複雑度を分析し、画質を維持しながら効率的にデータサイズを減らす機能です。詳細について は、カメラのヘルプまたはユーザーガイドを参照してください。

<プロファイル詳細設定>画面の下の<ワイズストリーム>ボタンをクリックすると、該当チャンネルのワイズストリーム設定ポップアップが表示されます。

			プロ	ファイル詞	細設分			
CH 0	2				追加	AIN	他のチャン	ネルに適用
						ピットレートコ	ントロール	
		4-992	###.IX				ピットレート範囲	3C/11-1-
	MJPEG	MJPEG				.44	1024 ~ 6144	
	H.264	H.264	ワイズ	ストリーム	設定	60	1536 ~ 12288	錄画
	H.265	H.265				<b>148</b>	1024 ~ 12288	
	Live4NVR	H.264	CH 2			124	512 ~ 12288	
	PLUGINFREE	H.264	<b>H</b> -F	*7		)48	1536 ~ 12288	
	Rec4NVR	H.264				)48	1536 ~ 12288	
	MOBILE	MJPEG		OK		)48	256 ~ 15360	
重み	MEI ワイズス	FU-2 X4	(ナミックGOV	&FPS	169			

- チャンネル:チャンネルを選択しワイズストリームを設定することができます。
- モード:ビデオ圧縮比を選択することができます。オフ、低、中、高のいずれかを選択することができます。
- レコーダーに登録済みのカメラでも、ワイズストリームに対応するカメラがない場合、ワイズストリームを設定できません。

### ダイナミックGOV/FPS設定

ダイナミックGOVは、映像の状況によってGOV長が自動に変更される機能です。詳細情報はカメラのヘル プまたはユーザーガイドをご参照ください。

<プロファイル詳細設定>画面の下の<ダイナミックGOV&FPS>ボタンをクリックすると、該当チャンネルのダイナミックGOV/FPS設定ポップアップが表示されます。

CH 02		動的 G(	OV/FPS 🛔	t定		•	ンネルに適用
							使用中
m Mi	707+45	ie mens		波動GOV		14	
		COMPANY OF			60 H		
	MJPEG					·	-
	H.264						11-1
	H.265			240	30 ~ 480	~	
Dee	Live4NVR			240	30 ~ 480		
- Net	PLUGINFREE					000	
and and	Rec4NVR			240	30 ~ 480	- ×	
		ОК	キャンセ	<b>L</b>			
重み補正 ワイ	ズストリーム ダイ:	⊨३ <sub>7</sub> ⊅GOV&FP	s				

- プロファイル:接続されたカメラ設定のビデオプロファイルを示します。
- 流動FPS:映像状況によって1秒当たりのフレーム数(frames per second)が自動に変更されるように設定します。
- 流動GOV
- モード:自動的に変更するGOV長を設定します。
- 長:ビデオにモーションがない場合に適用される最大GOV長値を入力します。最大GOV長値は、カメ ラのウェブページで設定できます。
- 範囲:<**長**>の入力値の範囲を表示します。
- ↓ ダイナミックGOV/FPS設定に対応しないプロファイルは「-」に表示されます。

## カメラのパスワード設定

登録したカメラすべてのパスワードを同時に変更できます。 カメラのIDやパスワードを、最大3つ登録することができます。

### メニュー > カメラ > カメラのパスワード



- •パスワード:パスワード設定規則に従い、新しいパスワードを入力します。
- •パスワードの確認:新しいパスワードを再度入力します。
- ID: IDやパスワードが設定されたカメラのIDを入力します。
- パスワード: IDやパスワードが設定されたカメラのパスワードを入力します。
- ▶ < >をクリックすると、パスワード設定の基本ガイドが表示されます。
  - , <パスワードの表示>をチェックすると、現在作成中のパスワードが実際入力された文字に表示されます。
  - ONVIFとRTSPに登録したカメラのパスワードは変更できません。

# デバイスの設定

記憶装置、リモートデバイス、モニター、テキスト、シリアルに関する内容を設定することができます。

### 記憶装置

記憶装置の情報を確認できます。

デバイス/フォーマット

記憶装置とその容量、使用形態及び状況を確認できます。 接続できる記憶装置は内蔵HDD、USB(メモリ、HDD)です。

メニュー > デバイス > 記憶装置 > デバイス/フォーマット



- ストレージ状態:記憶装置の作動状況が表示されます。
- 赤:録画損失が発生した状況を表示します。
- 緑:録画損失がない正常の状況を表示します。
- 状態
  - 合計bps:現在の録画量が表示されます。
  - 現在のロス:現在の録画損失率が表示されます。
  - 最大損失量:現在までの損失総量が表示されます。
  - 継続的にロスが発生する場合、以下を確認してください。
     追加内'容は付録の「トラブルシューティング」ご参照ください。
  - システムの性能異常でデータが損失される場合(カメラの映像データ転送量再設定)
  - HDD異常によりHDD録画性能に問題が発生した場合(HDDエラーを確認する、またはHDDを取り換える)
- No.: 内蔵HDDの指定の番号を確認できます。
- HDD番号に対応する位置を知りたい場合、<HDDマップ>をご参照ください。
- モデル:内蔵されたHDDのモデル名を表示します。
- 許容量:記憶装置の使用量及び全容量が表示されます。
- 使用形態:記憶装置の使用目的を指定します。
- 使用形態が「認識できない」の場合、HDDを使用する前にフォーマットしてください。

# メニュー設定

- 状態:記憶装置の現在の作動状況が表示されます。
   点検や交換状況によるHDDアラーム発生のためには、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の
   「HDDアラーム設定」ページをご参照ください。
- 温度: レコーダーに搭載されたHDDの温度を確認することができます。
- •時間:HDDの使用時間を表示します。
- フォーマット:デバイスを選択してボタンを押すとフォーマット確認ウィンドウが表示されます。
   **OK**>ボタンをクリックすると選択した記憶装置をフォーマットします。
- ■ フォーマットによって、保存した録画データがすべて削除されます。ご注意ください。
- フォーマット進行中、映像を録画することはできません。
- フォーマットが完了するまでデバイスを削除しないでください。
- HDD装着後、HDDの使用形態が「認識できない」の場合、HDDを使用する前にフォーマットしてください (フォーマット後も警告メッセージが現れる場合は、新しいHDDと取り換えてください)。
- ARB:カメラとの接続が切れて録画できなかった映像を、カメラとの接続が回復するとバックアップできます。ボタンを押すと、<</li>
- ARB記憶装置: ARBに設定する記憶装置を選択します。
- 許容量: ARBに設定する記憶装置の許容量を表示します。
- ARBチャンネル選択: ARBを実行するチャンネルを選択します。
- 複数のチャンネルを選択できます。
   <すべて>を選択すると、すべてのチャネルが選択されます。
- ARBバンド幅 : ARB機能の帯域幅を選択します。
- ARB機能はWisenetカメラをWisenetプロトコルに登録した後、SDカードに映像を保存した時のみ使用する ことができます。但し、SUNAPI 2.3.2以上バージョンのみに対応します。
  - カメラのSDカード録画用に使用するプロファイルのビットレート値を6144kbps以下に設定してください。詳しいSDカード録画用のプロファイル設定方法は、カメラマニュアルをご参照ください。
  - ARB機能を正しく使用するためには、カメラとレコーダーが時間サーバーで時刻同期が行われる必要があります。
  - 目次の「メニュー設定 > システム設定」ページをご参照ください。
  - ARB機能は、レコーダーを開始する時/設定されたチャンネルのカメラに再アクセスする時/レコーダー開始後、定期的にレコーダー録画漏れ区間がある時に実行されます。
  - ARB機能で復旧可能な録画欠落部分は、ARB機能が有効になった時点より遡って24時間分です。
  - どのチャンネルのARB機能が有効になっているかは、チャンネル選択時に表示されるチャンネルスクリーンのメッセージから確認できます。目次の「ライブ > 状態」の「チャンネル情報」ページをご参照ください。
  - "ARB検索"機能を用いて、ARBで自動的に復旧されたファイルを確認できます。
  - ARB保存容量は、1日以上をお勧めします。
     例) 1Mbps 64チャンネルを保存した場合、ARB容量を0.7TB以上に設定してください。
- HDDマップ:内部に取り付けられたHDDの割り当て番号に従い、位置を確認できます。
   修理及びHDDの追加装着時参照してください。
- ↓ レコーダー動作中にHDDを追加したり取り除かないでください。

### HDDアラーム設定

HDDの故障に備えて、点検アラーム出力ポート、交換アラーム出力ポート、アラーム時間などを設定する ことができます。

#### メニュー > デバイス > 記憶装置 > HDDアラーム



- ・アラーム
- <すべて>を選択した場合、ビープ音及びアラーム信号が出力されます。
- <ビープ>を選択した場合、ビープ音が鳴ります。
- アラーム出力ポート番号を選択すると、後面のアラーム出力ポートに信号が出力されます。製品ごと にアラーム出力ポートの個数が異なります。
- 点検アラーム出力端子: 点検状態の場合設定したアラーム出力端子から信号が出力されます。
- 交換アラーム出力端子: 交換状態の場合設定したアラーム出力端子から信号が出力されます。
- アラーム時間:アラーム信号及びビープ音のアラーム時間を設定します。
- - <交換>状態は、HDDに欠陥があり、すぐに交換の必要があるという意味です。 HDDが設置されてないか、設置されたHDDの全体が認識できない場合、ライブ画面で()。)が表示されます。
# リモートデバイス

リモートコントロールに対応する製品でのみ動作する機能です。

レコーダーと同期して使用するリモートコントロールのIDを調整することができます。

#### メニュー > デバイス > リモートデバイス



- リモートコントロール: リモコンを使用するか選択します。
- ID:リモコンのID番号を選択します。 リモコンIDが一致しない場合、正常に作動しません。
- リモートコントロールIDの変更は付録の「リモートコントロール使用 > リモートコントローラーIDの変更」
   をご参照ください。

#### モニター

モニターに表示する情報と出力方式を設定できます。

#### メニュー > デバイス > モニター

#### モニター設定

モニター出力と関連された画面表示内容と切替時間、映像出力などを設定することができます。



- イベント表示時間:イベントが発生したときのモニター上のイベントチャンネル表示の切替時間を設定します。
- <連続>を設定した場合、キャンセルするまで表示され続けます。
- 画面表示:モニター画面上にチェックされた項目のみが表示されます。
- シーケンス切替時間:ライブモードの分割画面の自動切換時間を設定します。
- ビデオ出力:映像出力のための解像度を設定します。
   拡張モニターに対応する製品は、映像出力のための<クローン>または<拡張>モードを選択した
   後、<HDMI>と<VGA>の解像度を設定することができます。
- クローンモード:プライマリモニタ(HDMI)とセカンダリモニタ(VGA)の映像出力解像度を同一に設定することができます。クローンモードに動作時1920 x 1080を超過する解像度を設定すると、セカンダリモニタに映像が出力されません。
- エキスパンドモード:プライマリモニタ(HDMI)とセカンダリモニタ(VGA)の映像出力解像度をそれぞれ 設定することができます。拡張モードの場合、メインモニター(HDMI)の映像出力が最大1920 x 1080に 制限されます。
- スポット出力:アナログ映像出力に関する内容を設定することができます。
- レイアウトモード:アナログ映像出力レイアウトとオートシーケンスのシーケンス切替時間を選択してください。
- チャンネルテーブル:アナログ映像を出力するチャンネルを選択してください。
- 9 リモートコントロールに対応する製品は、リモートコントロールの[STOP(■)] → [ZOOM] → [STOP(■)] →
  [ZOOM] → [MENU] ボタンを押すと、基本解像度ポップアップが表示され、お望みの解像度に変更することができます。
  - 変更した解像度がモニタに合わない場合、正常に出力されません。この場合、一定時間が過ぎるとまた、基本解像度に戻りますので他の解像度に変更してください。

メニュー設定

#### 拡張モニター設定

拡張モニターに対応する製品にのみ提供する機能です。



- 1. エキスパンドモードを選択すると、拡張モニターのレイアウトを変更する <設定>ボタンが有効になります。
- 2. レイアウトモードで分割モードを選択します。
- 3. レイアウトモードで選択したチャンネル数と同じチャンネル数をチャンネルテーブルで選択すると、 モニターに該当する画面を表示できます。
- ☑ 拡張モードを選択すると、プライマリモニター(HDMI)の映像出力の最大解像度が1920 x 1080に制限されます。
  - 変更した解像度がモニターに適合しない場合、正常に出力されません。この場合、一定時間が過ぎるとまた、基本解像度に戻りますので他の解像度に変更してください。
  - ネットワーク環境に応じて、ビデオ遅延等を考慮した上でイベント表示時間及び切り替え時間を設定してください。
  - 拡張モニターのライブ出力で使用するプロファイルはリモートプロファイルを使用します。ユーザーがリモートプロファイルを変更する場合、拡張モニターの映像出力に影響を与えることがあります。
  - モニターをクローンモードに設定すると、モニターにレコーダーに対応する最大分割モードまで指定することができます。モニターをエキスパンドモードに設定すると、セカンダリモニターに16分割まで指定することができます。プライマリーモニターの分割数は最大分割数が維持されます。
  - ビデオ出力のモードを変更すると、レコーダーは再起動します。

#### 表示位置設定

モニターの状態によって一部のモニターにはレコーダーの情報表示(カメラ名、アイコン、時刻情報)が見 えないことがあります。その場合、モニターに表示される情報の位置を調整できます。



1. モニター設定メニューから、<表示位置設定>を選択します。

2. < >ボタンを用いて見えない画面を調整してください。
 3. <OK>を押します。

● 本製品は、4K解像度で30Hzのみ対応します。

# テキスト

機器およびイベントをセットアップできます。

# デバイスをセットアップするには

レコーダーに接続されたデバイスの関連値を設定することができます。

#### メニュー > デバイス > テキスト > デバイス

	91112 1000					
		19143	**		x )	123-7,2000
-						
10 E						

- デバイス:ユーザーの任意の名前を入力します。
- 使用:使用するかどうか選択します。
- CH:チャンネル表からデバイスを追加するチャンネルを選択します。
- ポート:設定されたポート番号が表示されます。
- •エンコーディングの種類:リストから、使用するエンコードタイプを選択します。
- 最初と最後の文字列を選択できます。
  - 文字列はテキスト、十六進コード、正規表現を選択して入力することができます。
  - テキスト:検索したい文字列を入力します。
  - 十六進コード:検索したい文字列を16進数に入力します。 (入力時、16進数の表記は除外します。例) 1b40、1b69)
  - 正規表現:正規表現を入力して特定なルールを持つ文字列を検索します。
- Epson、Wincor Nixdorf、Axiohom、Radiant System、IBMのPOSデバイスとANPRプロトコルに対応します。
- レコーダーに接続されたデバイスはTCP/IP通信プロトコルを使用します。

# イベントの設定方法

イベントのキーワードをセットアップできます。

#### メニュー > デバイス > テキスト > イベント



メニュー設定

- 総数:アラームを受信するための総金額条件を設定します。
- キーワード:<<追加>ボタンをクリックすると、キーワード追加画面がポップアップ表示されます。削除 する追加済みキーワードをひとつ選択し、<削除>ボタンをクリックすると、選択したキーワードが削除 されます。

# シリアル設定

レコーダーのシリアルポート(RS-485/RS-422)を設定することができます。 同期するアナログPTZカメラまたはシステムキーボードと同じく設定してください。

#### メニュー > デバイス > シリアル



● 一部の機種はRS-485のみ対応します。

メニュー設定

# 録画の設定

録画スケジュール・イベント発生時の録画時間など録画関連の設定ができます。

## 録画スケジュール

曜日及び時刻にスケジュールを設定すると該当時刻に録画が実行されます。

メニュー > 録画 > 録画スケジュール



- すべて:全時刻範囲(月曜から日曜、祝日を含む、0時~24時で同じ録画スケジュールで予約します。
- •他のチャンネルに適用:<他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ポップ アップウィンドウが表示されます。
- 設定を適用するチャンネルを選択した後、<**OK**>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- 確実に録画を行うため、イベント録画およびスケジュール録画はイベント/スケジュールの3秒前に開始されます。

#### 色による録画設定

カラー	機能	説明
色なし	録画しない	スケジュール及びイベント録画をしません。
緑()	連続	スケジュール録画のみ
オレンジ(📕)	イベント	イベント録画のみ
白()	連続&イベント	連続&イベント両方の録画

選択したセルを押すたびに、<録画しない>-<連続>-<イベント>-<連続&イベント>の順に変わります

# 録画設定

チャンネル別にイベント発生時及び通常録画時の解像度・録画フレームを設定できます。 各チャンネルのフルフレーム及びキーフレーム録画のフレーム数及びデータ転送量を確認し、録画用デー タ量の制限値を設定できます。

メニュー > 録画 > 録画設定

			B 812 C + 5 + - 5 1000 M 83 : 633 J 642 Mpt									6.612.8.8
J         J	Image: second											
1         1.4 <th1.4< th=""> <th1.4< th=""> <th1.4< th=""></th1.4<></th1.4<></th1.4<>	No.         No. <th></th>											
1         1	Off         1         10         10         10         100	_										
1         1	1         10         10         10         100											
1         10.	1         10 </td <td></td>											
1         19         24         1940 </td <td>1         1         1         1         10         10         10         10         10         10         10         11</td> <td></td>	1         1         1         1         10         10         10         10         10         10         10         11											
A         TA         TA <thta< th="">         TA         <thta< th="">         TA         TA         TA<td>No.         No.         No.<td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td></thta<></thta<>	No.         No. <td></td>											
Operation         1	Operation         1         10         10         100         1000         100<											
4         39.         39.         JMM         NMM												

- 他のチャンネルに適用:
   他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。

設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。

- •標準、イベント:通常録画とイベント録画を設定します。.
- フル:カメラから伝送されるすべてのフレームを録画します。
- Iフレーム:カメラから伝送されるキーフレームだけを録画します。 実際の録画はカメラの設定により異なる場合があります。一般的に、1秒あたり1~2フレームが録画 されます。
- オフ:録画しない。
- ・フレーム
- フル:フルフレームのデータ総量が表示されます。
- |フレーム:キーフレームのデータ総量が表示されます。
- •制限:各チャンネルのカメラから受信可能なデータ量を設定します。
- イベント:イベントが発生したとき、どのポイントで録画を開始又は停止するかを設定できます。
- 前:イベントが発生したとき、設定した時間だけ、イベント発生時刻から遡って録画が開始されま す。5秒に設定した場合、録画はイベントが発生する5秒前から開始されます。
- 後:イベントが発生したとき、設定した時間だけ、イベント終了時刻の後まで録画が継続されます。 5秒に設定した場合、録画はイベントが終わった後さらに5秒間継続されます。
- オーディオ: 各チャンネルの音声を録音するかを選択します。
- チャンネルのデータ転送が設定上許可された制限を超過した場合、他のチャンネルに影響がでる場合があり、チャンネルが<フル>録画モードに設定されているときであっても、<Iフレーム>録画へ強制的に切り替わる場合があります。キーフレーム録画チャンネルの場合、制限つき録画のアイコンがライブ画面の上部に表示されます。
   ただし、各チャンネルの入力データの合計値が最大制限値よりも下の場合、各チャンネル用に設定した制限値を超えていても、フレーム全体を受信することができます。
   黄色く表示されるチャンネルは、カメラの録画データが入力されない場合に臨時録画のためカメラの他のプロファイルと交換して録画する場合を表しています。

黄色で表示されたチャンネルの情報を見ると現在適用中のプロファイルを確認できます。 オレンジ色で表示されるチャンネルは、カメラの入力データの量が制限データ量より多い場合です。この場 合、入力される全フレームを保存することができず、キーフレーム(1秒に1枚または2枚)のみ録画が可能とな ります。制限データ量は入力されるデータ量より大きく設定する必要があります。 目次の「ライブ > 状態」の「録画ステータス」ページのノートをご参照ください。

# 録画オプション

#### HDDの許容量がいっぱいのとき、録画を停止するか、上書きを開始するかを設定できます。

#### メニュー > 録画 > 録画オプション

G 210			
10 ···	· • FATABLE FATABLERTAL IS	- 1707. (460-81803127.	
887724-0	- KOTE-HER # 388 0.04		
1012			
- ###72+x	- 8 MARIN (2) 1-4001		
		5/24	
E (45)			
E21 Au1211			
-			
100 227A			
		A 4	

- デュアル録画使用: Sub Stream同時録画をする場合にチェックしてください。
- HDDリピート録画: HDD反復録画タイプを選択します。
- 上書き:HDDがいっぱいの場合、既存データは上書きされ、録画が継続されます。 - 停止:HDDがいっぱいの場合、録画は自動的に停止されます。
- HDD録画停止警告ビープ:HDDリピート録画方法を<停止>に選択すると、ボタンが有効となり、HDD録 画終了時の、警報音出力有無を選択できます。これをチェックした場合、ディスクがいっぱいになり録 画が停止した場合にビープ音が鳴ります。
- ・自動削除:このオプションをチェックした場合、期間リストボックスが有効になります。指定した日付よりも前の日付をすべて削除する削除期間を指定します。ただし、検索できるのは、現在の時刻から選択した日付までです。
- HDDリピート録画方法を<上書き>に選択すると、ボタンが有効となります。
- チャンネルを選択し、チャンネルごとに異なる録画時間を設定できます。
- 他のチャンネルに適用: <他のチャンネルに適用>を選択すると、確認ダイアログウィンドウが開きます。該当する設定を適用するチャンネルを選択し、<OK>を押します。選択したチャンネルに設定が適用されます。
- 認定を完了し、<OK>を押した場合、指定した日付よりも前の既存データはすべて自動的に削除されます。
   そのため、以前のデータを保存する必要がある場合は、過去のデータをバックアップすることをお勧めします。

# イベントの設定

センサー検知、カメライベント、ビデオロス検知のイベントが発生した場合の録画設定を行うことができま す。

# センサー検知

センサーの動作状況及び接続したカメラ、並びにアラーム出力及びその時間を設定できます。

#### メニュー > イベント > センサー検知



 他のセンサーに適用する:<他のセンサーに適用する>を選択した場合、"他のセンサーに適用する"確認 ウィンドウが表示されます。
 設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されま

設定を適用するテヤノネルを選択した後、<UN>をソリッソすると選択したテヤノネルに適用されます。

- センサー状態:センサーの動作モードを設定します。
- <N.O(通常開) >: センサーが開いています。センサーが閉じた場合、アラームが鳴ります。
- <**N.C(通常閉**)>:センサーが閉じています。センサーが開いた場合、アラームが鳴ります。 - <**オフ**> :センサー検知を行いません。
- カメラ:センサーに接続するチャンネルを選択します。
   カメラを選択すると、"カメラプリセットの設定"ウィンドウが表示されます。
   チャンネルを選択し、プリセットを設定します。
- プリセット設定はPTZモードで行うことができます。
- アラーム出力:アラーム出力方法を設定します。
- アラーム出力方法は、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「HDDアラーム設定」ページをご参照ください。
- アラーム時間:アラーム信号及びアラーム音の持続時間を設定します。
- <カメラ>タブを選択した場合、各チャンネルに接続されたネットワークカメラのセンサー動作設定を設定 できます。
  - アラームの入/出設定を設定した接続済みネットワークカメラでアラーム出力が発生した場合、レコーダーからアラームが出力されます。

# メニュー設定

# カメライベント

カメラから送られるイベント(モーション検出、映像分析、音声イベント)の有効化、アラーム出力、お よびアラーム持続時間を設定できます。

#### メニュー > イベント > カメライベント

					807+29.60
					29-A66668
1000					
03366					

・他のチャンネルに適用:<他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。

設定を適用するチャンネルを選択した後、<**OK**>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。

- CH:< > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- カメライベント:イベント検知を使用するかどうか選択します。
- MD:カメラのモーション検知イベントをレコーダーでイベントに受信するかを設定することができます。

カメラのモーション検知イベントを受信するには、カメラのモーション検知を設定する必要があります。

- スマートサーチ:スマートサーチオプションを有効または無効にできます。
- スマートサーチ機能を使用するには、スマートサーチオプションを<オン>にしなければなりません。
   目次の「検索&再生>検索」の「スマートサーチ」ページをご参照ください。
- カメラ:イベント検知チャンネルを選択します。

カメラの項目を選択した場合、 **"カメラプリセット"**画面が表示されます。接続するチャンネルを選択 し、プリセットを設定します。

- プリセットはPTZモードで設定できます。
- アラーム出力:アラーム出力方法を選択します。
- アラーム出力方法は、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「HDDアラーム設定」ページをご参照ください。
- アラーム持続時間:アラーム出力の持続時間を設定します。
- モーション検知/IVA:接続されたカメラのモーション検知に対する詳細設定をすることができます。
   モードでモーション検知または映像分析を設定することができます。
- タンパリング検知:接続されたカメラのタンパリング検知に対する詳細設定をすることができます。

# モーション検知設定(ネットワークカメラ)



- 領域:設定ボタンをクリックすると、モーション検知エリアを設定することができます。
- MDタイプ:検知エリア、検知除外エリアを設定することができます。
- 物体サイズ:設定ボタンをクリックすると、モーションを認識する物体のサイズを設定することができます。
- 検知結果オーバーレイ:映像上に検知エリアを表示することができます。
- 動作時間:モーション検知を認識する動作時間を設定することができます。
- 常時動作:時間に関係なくモーション検知を認識することができます。
- スケジュール:指定した日程のみモーション検知を認識することができます。
- モーション範囲:モーション検知エリアごとに検知レベル、感度、アラーム時間を設定することができます。
- 検知レベル:モーション検知の基準となるレベル値を設定することができます。[領域]で設定した検知 エリア別にレベル値を設定することができます。設定したレベル値よりモーションが大きい場合、モ ーション検知イベントを発生させることができます。
- 感度:エリア別にモーション検知感度を設定することができます。背景と対象物の区分が明確な環境では感度を低く設定し、暗くて背景と対象物の区分が明確ではない環境では感度を高く設定します。
- アラーム時間:エリア別にモーション検知後、イベントを発生させるための最小観察時間を設定する ことができます。

#### モーション検知設定(アナログカメラ)

アナログカメラのモーション検知に対する詳細設定をすることができます。



- •動作検出を有効にしてください:モーション検知設定をするにはチェックしてください。
- モーション検知領域:モーション検知領域を選択することができます。
- ・感度:モーション検知感度を設定することができます。背景と対象物の区分が明確な環境では感度を低く設定し、暗くて背景と対象物の区分が明確ではない環境では感度を高く設定します。
- •モード:モーション検知領域設定に対するモードを選択することができます。
- 反転: 選択したモーション検知領域が反転されます。
- 選択:選択した領域がモーション検知領域に選択されます。
- 選択解除:選択したモーション検知領域設定がキャンセルされます。
- その他のセンサーに適用する:<**その他のセンサーに適用する**>を選択した場合、"その他のセンサーに 適用する"確認ウィンドウが表示されます。
- 設定を適用するチャンネルを選択した後、<**OK**>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。

# 映像分析設定(ネットワークカメラ)



- 領域:設定ボタンをクリックすると、映像分析エリアを設定することができます。
- VAタイプ: 仮想エリア、検知除外エリアを設定することができます。
- 物体サイズ:設定ボタンをクリックすると、モーションを認識する物体のサイズを設定することができます。
- 感度:仮想線と仮想エリアに対するモーション検知の感度を設定することができます。
- 検知結果オーバーレイ:映像上に検知エリアを表示することができます。
- •動作時間:映像分析を認識する動作時間を設定することができます。
- 常時動作:時間に関係なく映像分析を認識することができます。
- スケジュール:指定した日程のみ映像分析を認識することができます。
- 仮想エリア:仮想エリアを目的によって詳細に設定することができます。
- 侵入:設定したエリア内に動く物体を検知すると、イベントを発生させることができます。
- 入る:動く物体がユーザーの指定したエリアの外側から内側に入る時にイベントを発生させることができます。
- 出る: ユーザーが指定したエリアの内側から外側に出る時にイベントを発生させることができます。
- 出現/消失:ユーザーが指定したエリア内に存在しなかった物体がエリアラインを通過せずにエリア内 に現れ一定時間とどまったり、エリア内に存在してた物体が消えるとイベントを発生させることがで きます。
- 徘徊:設定した仮想エリア内に徘徊するモーションを検知すると、イベントを発生させることができます。
- 最小観察時間:仮想エリアの項目別に物体を検知してイベントを発生させるための最小時間を設定することができます。
   設定した時間より長く物体を検知すると、イベントを発生させることができます。

#### 検知除外エリア/非検知エリア設定

仮想線と仮想エリアでモーション検知をしないエリアを設定することができます。

- ▶ エリア初期化:設定したエリアをすべて削除することができます。
  - , 追加:領域内のイベントエリアを作成できます。
  - モーション検知/IVA設定はカメラ設定に反映されます。
  - カメラ製品によって対応する機能は異なります。詳細はカメラマニュアルまたはヘルプをご参照ください。

メニュー設定

# タンパリング検知

画面が隠されたり、カメラの位置が変更されるなどカメラタンパリングが検知される場合、イベント信号 が発生するように設定することができます。



- タンパリング検知:タンパリング検知設定をするにはチェックしてください。
- 感度:タンパリング検知感度を設定することができます。
- ・他のチャンネルに適用:<他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。
- 設定を適用するチャンネルを選択した後、<**OK**>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- タンパリング検知機能はユーザーが設定した感度レベルをベースにして性能を最適化するように考案されたため、一般的な監視状況では感度レベルによるタンパリング検知性能の変化が目立たないことがあります。

# ビデオロス検知

カメラとの接続が切れた場合、またはネットワーク接続が不安定なために映像が失われた場合に、アラー ムをトリガーできるように設定することができます。

#### メニュー > イベント > ビデオロス検知



- 他のチャンネルに適用:
   他のチャンネルに適用>を選択した場合、"他のチャンネルに適用"確認ウィンドウが表示されます。
   設定を適用するチャンネルを選択した後、<OK>をクリックすると選択したチャンネルに適用されます。
- CH:< > をクリックしてチャンネル情報表を表示します。
- ビデオロス状態:ビデオロス検知を使用するかどうかを選択します。
- アラーム出力:アラーム出力方法を選択します。
- アラーム出力方法は、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「HDDアラーム設定」ページをご参照ください。
- アラーム持続時間:アラーム出力の持続時間を設定します。
- 感度:ビデオロスを検知してから設定されているアラーム時間内でビデオロス状況が改善されると、ア ラームが発生しないようアラーム遅延時間が設定可能です。(15秒(1)~60秒(10)、5秒毎))

# アラーム出力スケジュール

アラーム出力を発生させる条件と動作時間をスケジュール設定できます。

#### メニュー > イベント > アラーム出力スケジュール



- アラーム出力:アラーム出力方法を設定します。
- アラーム出力方法は、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「HDDアラーム設定」ページをご参照ください。
- <オン>:緑色でマーキングされ、スケジュール時刻に常にアラームを出力します。
- <オフ>:黒色でマーキングされ、イベントが発生した場合もアラームは出力されません。
- <イベント>:オレンジでマーキングされ、イベントが発生したときのみアラームを出力します。
- すべてのアラーム出力に適用:設定したスケジュールをすべてのアラームに適用します。
- アラームがスケジュール時刻になったとき、スケジュールをキャンセルすればアラームを止めることができます。

# ネットワーク設定

離れた場所からライブ画面のネットワーク監視を行い、イベントに関してメール転送機能をサポートします。 これらの機能を有効にするネットワーク環境を設定できます。

# インタフェース

ネットワーク接続ルート及びプロトコルを設定できます。

#### ネットワーク接続の設定

ネットワークのプロトコル及び環境を設定します。

メニュー > ネットワーク > インターフェース



- ネットワーク1 (すべて): カメラとウェブビューアーの接続のための共通ポートとして使用することができます。
- IPタイプ:ネットワーク接続タイプを選択することができます。
- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS
- 静的:IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを直接入力することができます。
- DHCP: IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ値がDHCPで自動的に設定されます。
- PPPoE:IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ値がPPPoEで自動的に設定されます。
- ユーザーID、パスワード:IPタイプをPPPoEに設定した場合、PPPoEに登録された「ユーザーID」と「パスワード」を入力してください。
- 転送帯域幅:転送できる最大データ量を入力することができます。

✓ ■ <DHCP>と<PPPoE>のDNS値は、<手動入力>に選択した場合のみ直接入力することができます。

メニュー設定

#### ネットワークの接続と設定

ネットワーク設定方法は接続方法によって異なるため、接続モードを設定する前にお使いの環境を確認し てください。

#### ルーターが使用されていないとき

#### •静的モード

- インターネット接続:固定IP&専用線で接続したり、LAN環境でレコーダーとリモートユーザーを接続することができます。
- ネットワーク設定:接続されたレコーダーの<**ネットワーク**>メニューの<**インターフェース**>を<**静的**> に設定してください。
- IPアドレス・ゲートウェイ及びサブネットマスクについてはネットワーク管理者の方にご相談ください。

#### DHCPモード

- インターネット接続:ケーブルモデムにレコーダーを直接に接続したり、DHCP方式のモデムにレコーダーを直接に接続または光LANにレコーダーを直接に接続することができます。
- ネットワーク設定:接続されたレコーダーの<**ネットワーク**>メニューの<**インターフェース**>を <**DHCP**>に設定してください。

#### PPPoE

- インターネット接続: PPPoEモデムがレコーダーと直接に接続され、PPPoE接続時、IDやパスワードが使用される場合です。
- ネットワーク設定:接続されたレコーダーの<**ネットワーク**>メニューの<**インターフェース**>を <**PPPoE**>に設定してください。
- PPPoE<ユーザーID>及び<パスワード>はPPPoEユーザー情報と同一である必要があります。
   ID及びパスワードがわからない場合、PPPoEサービスプロバイダにお問合せください。

#### ルーターが使用されているとき

■ レコーダーの固定IPとの衝突を避けるために下記のような事項を確認してください。

#### • レコーダー固定IPで設定

- インターネット接続: PPPoE/ケーブルモデムを接続したIPルーターにレコーダーを接続したり、ローカルネットワーク(LAN)環境でIPルーターにレコーダーを接続することができます。

#### レコーダーネットワーク設定

- 1. 接続されたレコーダーの<ネットワーク>メニューの<インターフェース>を<静的>に設定してください。
- 2. 設定したIPアドレスが、ブロードバンドルーターから提供された静的IP範囲内にあるかを確認します。 IPアドレス、ゲートウェイ及びサブネットマスク:ネットワーク管理者にご相談ください。
- DHCPサーバーが開始アドレス (192.168.0.100) と終了アドレス (192.168.0.200) で設定されていた場合、IP アドレスはそれ以外の (192.168.0.2~ 192.168.0.99及び192.168.0.201~192.168.0.254) に設定する必要 があります。
- **3.** ゲートウェイ及びサブネットマスクがブロードバンドルーターで設定されているのと等しいことを確認します。

#### • ブロードバンドルーターのDHCP IPアドレスの設定

- 1. ブロードバンドルーターの設定にアクセスするには、ブロードバンドルーターと接続されているロー カルパソコンのWebブラウザを開き、ルータアドレス(例:http://192.168.1.1)を入力します。
- 2. この段階で、ローカルパソコンのWindowsネットワーク設定を以下の例のようにします:
  - **例**) IP:192.168.1.2 サブネットマスク:255.255.255.0 ゲートウェイ:192.168.1.1
  - ブロードバンドルーターに接続すると、パスワードが要求されます。ユーザー名欄に何も入力しないまま、**"管理者(admin**)"をパスワード欄に入力し、<**OK**>を押し、ルーター設定にアクセスします。
  - ルーターのDHCP設定メニューにアクセスし、DHCPサーバーの有効化を設定し、開始アドレス及び 終了アドレスを入力します。

開始アドレス(192.168.0.100)及び終了アドレス(192.168.0.200)を設定します。

#### ポート設定

#### メニュー>ネットワーク>インターフェース>ポート



- プロトコルタイプ:TCP、UDP ユニキャスト及びUDP マルチキャストの中からプロトコルタイプを 選択します。
- RTSP:ネットワークで映像を転送するために使用されます。初期値は<558>です。
- UDPポート:初めは、<8000~8159>が設定されています。160ずつ増加/減少します。
- UDP:TCPと比べると、安定性が低く、高速です。ローカルエリアネットワーク(LAN)環境にお奨めです。
- マルチキャストIPアドレス:ユーザーが 直接入力できます。
- マルチキャストTTL:0~255の中から選択します。TTLの初期値は<5>に設定されています。
- HTTPポート:Webビューアー用のポート番号を入力します。初めは、<80>に設定されています。
- HTTPSポート:ウェブ通信プロトコルのHTTPセキュリティが強化されたバージョンです。初期ポートは<443>です。
- CAMプロキシポート:カメラのプロキシポートを設定します。デフォルトは<10001>です。

#### DDNS

リモートユーザーがネットワークにアクセスする場合、DDNSを使用するかどうかと、接続するサイトを 設定できます。

メニュー > ネットワーク > DDNS



- DDNSサイト:DDNSの使用可否と使用時登録したサイトを選択します。
- サーバー名:DDNSサイトに登録したサーバー名が表示されます。
- 製造ID:DDNSサイトに登録した製造IDを入力します。
- •ホスト名:DDNSサイトに登録したホスト名を入力します。
- ユーザー名:DDNSサイトに登録したユーザー名を入力します。
- •パスワード:DDNSサイトに登録したユーザーのパスワードを入力します。
- 付録の「仮想キーボードの使用」をご参照ください。
  - <未使用>を選択した場合、入力ボックスが無効になります。
  - <ddns.hanwha-security.com>を選択すると、ホスト名の入力ボックスが無効になります。
- クイック接続: <ddns.hanwha-security.com>が<DDNS Site>に選択された場合に表示されます。
   機能を使用するにはレコーダーをUPnPルーターに接続し、<使用>を選択してください。
- ▶ クイック接続設定中にキャンセルした場合、自動的に<未使用>に切り替わり、保存されます。
  - すでに使用中のポートを設定する場合、接続されないことがあります。ルーターのポート設定を確認してください。
  - サーバー名、製造ID、クイック接続は<DDNSサイト>を<ddns.hanwha-security.com>を選択した場合に 表示されます。

 DDNSはダイナミックドメインネームシステム(Dynamic Domain Naming System)の短縮形です。 DNS(ドメインネームシステム)は、ユーザーが利用しやすい文字列(例:www.google.com)を、番号から成るIP address(例:64.233.189.104)に接続してくれるサービスです。 DDNS(ダイナミックドメインネームシステム)は、ドメイン名及びフローティングIPアドレスをDDNSサーバーに登録し、IPがダイナミックIPシステム内で変更になったとしてもドメイン名を使ってIPアドレスへ送られるようにするサービスです。

#### クイック接続状態を確認するには

クイック接続時は、プログレスバー及びバーのメッセージが表示されます。

- クイック接続は正常に終了しました。: 接続に成功したメッセージです。
- 無効なネットワーク設定:ネットワーク設定が無効な場合に表示されるメッセージです。設定を確認してください。
- ルータのUPnP機能を有効にしてください。:ルーターのUPnP機能を有効にする必要がある場合、この メッセージが表示されます。
- ルーターを見つけられませんでした。: ルーターが見つからない場合にこのメッセージが表示されます。 ルーターの設定を確認してください。
- **ルータを再起動してください**。: ルーターを再起動する必要がある場合にこのメッセージが表示されます。

#### DDNS設定

#### レコーダーでDDNS設定

接続されたレコーダーの<**インターフェース>メニューの<プロトコルタイプ**>を設定してください。 - プロトコルタイプはTCPのみに設定する必要があります。

- ルーターのDDNS設定
- ルーターの説明書を参照してネットワーク伝送プロトコルを設定してください。
- ルーターのUPnPの設定

ルーターの説明書を参照してUPnP機能を有効にしてください。

メニュー設定

# IPフィルタリング

#### IPアドレスのリストを用意し、特定のIPアドレスへのアクセスを許可又はブロックできます。

#### メニュー > ネットワーク > IPフィルタリング



- •フィルタリングタイプ:
- 却下する:却下を選択した場合、登録したIPアドレスからのアクセスが制限されます。
   許可する:許可を選択した場合、登録したIPアドレスのみアクセスが可能になります。
- 使用:IPフィルタリングを使用するIPアドレスのチェックボックスを選択します。
- IPアドレス:フィルタリングするIPアドレスを入力します。
- プレフィックス:フィルタリングするプレフィックスを入力します。
- •フィルタリング範囲:IPアドレス又はプレフィックスを入力した場合、ブロック又は許可されているIP アドレスの範囲が表示されます。
- カメラのIPアドレスが許可リストに含まれていない場合、又は却下リストに含まれている場合、アクセスは却下されます。
  - IPv4の場合、PoEポートでのカメラIPフィルタリングはすぐ適用されません。(既存の接続は維持され以後接続を試す時にフィルタリング適用)

#### SSL

セキュリティ接続システムを選択したり、公開証明書をインストールすることができます。

#### メニュー > ネットワーク > SSL



- セキュリティー接続システム:安全性が確立されたシステムのタイプを選択します。
- HTTP(セキュリティー接続を使用しません)
- HTTPS(固有の証明書を使用した、セキュリティー接続)
- HTTPS(公開証明書を使用した、セキュリティー接続)



- 公開証明書をインストールする:インストールする公開証明書をスキャンして登録できます。
   公開証明書を使用する場合、暗号化ファイルと一緒に証明書をインストールする必要があります。
- <HTTPS(公開証明書を使用した、セキュリティー接続>メニューを選択できるのは、登録された公開証 明書がある場合のみです。

#### 802.1x

ネットワークに接続するとき、802.1xプロトコルの使用可否を選択して証明書をインストールすることができます。

802.1 xはサーバーとクライアント間の認証システムです。送・受信ネットワークデータへのハッキング、 ウイルス又は情報漏えいに対して保障する機能です。

このシステムを使用すれば、証明書のないクライアントのアクセスをブロックし、証明書のあるユーザー との通信のみを許可することができ、安全性のレベルを高めることができます。

#### メニュー > ネットワーク > 802.1x



- EAPOLのバージョン:プロトコルとして使用するEAPOLのバージョンを選択します。
- スイッチハブの中には、バージョン<2>に設定した場合に作動しないものもあります。基本的にバージョン<1>を選択してください。
- ID: RADIUSサーバーの管理者から提供されたIDを入力します。
- 入力したIDがクライアントの証明書のIDと一致していない場合、正常に処理されません。
- パスワード: RADIUSサーバーの管理者から提供されたパスワードを入力します。
   入力したパスワードがクライアントのプライベートキーと一致しない場合、正常に処理されません。
- 人力したハスワードがクライアフドのクライハードキーと一致しない場合、正常に処理されませ
- 証明書:デバイスを検索します。 
  をクリックするとデバイスを再度検索します。
- •認証局証明書:お使いの公開証明書にパブリックキーが含まれている場合のみ選択します。
- クライアント証明書:公開証明書にクライアント認証キーが含まれている場合に選択します。
- クライアントのプライベートキー:公開証明書にクライアントのプライベートキーが含まれている場合 に選択します。
- 802.1xの動作環境をうまく実行させるために、管理者はRADIUSサーバーを使用する必要があります。
   また、サーバーに接続されているスイッチハブは802.1xをサポートしているデバイスである必要があります。
  - RADIUSサーバー、スイッチングハブ、レコーダーデバイスの時刻が一致しない場合、通信ができないことがあります。
  - パスワードがクライアントのプライベートキーに割り当てられている場合、サーバー管理者にID及びパスワードを確認する必要があります。
     ID及びパスワードはそれぞれ最大30文字まで認められます。(ただし、英文、数字、特殊文字("-"、"\_"、"."の3種類)のみに限られます。)
     パスワードで保護されていないファイルへのアクセスは、パスワードを入れなくても可能です。
  - レコーダーデバイスの802.1x対応プロトコルはEAP-TLSです。
  - 802.1xを使用するためには、証明書3点をすべてインストールする必要があります。

# Eメール

レコーダーに登録されたユーザーに一定時間間隔またはイベントが発生した場合にメールを送ることができます。

# SMTP設定

SMTPメールサーバーを設定します。

メニュー > ネットワーク > Eメール > SMTP



- サーバーアドレス:接続するSMTPサーバーアドレスを入力します。
- ポート:通信ポートを設定します。
- 認証の使用:SMTPサーバーがユーザー認証を使用している場合選択します。 アカウント入力ボックスが有効になります。
- ID:SMTPサーバーに接続するとき、認証するためのIDを入力します。
- パスワード:SMTPサーバーユーザーのパスワードを入力します。
- セキュリティ転送: <なし>及び<TLS(利用可能な場合) >から1つを選択します。
- •送信者:仮想キーボードを使用し、送信者のEメールアドレスを入力します。
- 付録の「仮想キーボードの使用」をご参照ください。
- e-mailテスト:サーバー設定でテストを行います。

メニュー設定

# イベント設定

ユーザーに送信されるイベント伝送間隔及びタイプを設定できます。

#### メニュー>ネットワーク>Eメール>イベント



- イベント転送間隔:イベント転送間隔を設定します。
- イベントが連続で発生してもメールを連続で送信しないで設定された時間で送信されます。
- イベント転送使用:イベントが発生した場合、送信するイベントタイプを選択します。
   選択したイベントが発生した場合、Eメールが受信者権限のあるグループへ送信されます。

# 受信者設定

グループを作成し、ユーザーを追加、又は、ユーザーを削除してグループを変更できます。

#### メニュー > ネットワーク > Eメール > 受信者



- < < >>をクリックし、グループを追加します。 グループ名と権限を選択します。
- Eメールを受信する受信者グループを選択します。
   グループが追加された場合、グループリストに表示されます。
- < ► >をクリックし、受信者を追加します。 受信者を選択し、名前とEメールアドレスを入力します。 グループを作成することで、受信者を追加できます。
- ユーザー名とEメール入力は付録の「仮想キーボードの使用」をご参照ください。

#### SNMP

SNMPプロトコルを使用し、システム又はネットワークの管理者は遠隔でネットワークデバイスをモニタリングし環境設定などの運用ができます。

#### メニュー > ネットワーク > SNMP



- SNMP v1を可能にする: SNMP v1が使用されます。
- SNMP v2cを可能にする: SNMP v2cが使用されます。
- コミュニティを読み込む:SNMP情報にアクセスする読み取り専用のコミュニティーの名前を入力します。初期設定は<public>に設定されています。
- コミュニティを書き込む:SNMP情報にアクセスする書き込み専用のコミュニティーの名前を入力します。初期設定は<private>に設定されています。
- SNMP v3を有効にする: SNMP v3が使用されます。
- パスワード:SNMPバージョン3用の初期ユーザーパスワードを設定します。
- SNMPトラップを有効にする: SNMPトラップは管理者システムに重要なイベントや条件を送信するために使用されます。
- トラップマネージャー:メッセージの送信先となるIPアドレスを入力します。
- SNMP v3を設定できるのは、セキュリティ接続方法がHTTPSモードに設定されている場合のみです。
   目次の「メニュー設定 > ネットワーク設定」の「SSL」ページをご参照ください。

# DHCPサーバー

内部DHCPサーバーを設定し、IPアドレスをネットワークカメラに割り振ることができます。

#### ネットワーク設定

メニュー > ネットワーク > DHCPサーバー > ネットワーク

	DHCPサーバー
B. 118	PH2
	FAD 88 #2
- 194X	
a	
153-74-2	- ers
82484454	- Menter 7 4 - Juges Here 113, 100 2712 - 113, 100 2212 54
55. 803.5a	
	ING • NEEP FEX
9679-vi-	
► >376	All and a set of the set of
	04 +> th
	a b

• ネットワーク:<設定>を選択してサーバーで動作するIP範囲と時間を設定できます。

#### DHCPサーバーを設定する

- 1. DHCPサーバー設定ウィンドウ上で、<設定>をクリックします。
- 2. <状態>の<実行>を選択します。
- 3. <動的IPアドレス範囲>開始IPと終了IPを入力します。
- **4.** <**IPリース時間**>時間を設定します。
- <OK>をクリックします。 入力したIP範囲はネットワークのDHCPサーバーアドレスとして設定されます。
- DHCPサーバー機能は、初期値が停止になっています。

#### IP確認

現在のDHCPサーバーに割り当てられたIPアドレス、MAC、接続されたネットワークポート情報を確認することができます。

#### メニュー > ネットワーク > DHCPサーバー > IP確認



#### P2P

P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。 P2Pサービスを使用すると、モバイルビューアに接続してレコーダーを使用できます。

#### メニュー > ネットワーク > P2P



- P2P有効: P2Pサービスを使用する場合は、チェックボックスを選択します。
- QR コード: モバイルデバイスを使用してQRコードをスキャンします。

#### P2Pサービスを起動するには

- 1. <P2P有効>をチェックすると、現在該当レコーダーでリモート接続できるか接続テストを行います。
- 2. 接続に成功したら、スマートフォンからWisenet Mobileを検索して、インストールおよび起動します。
   デバイス追加 > QRコードを選択すると、レコーダーのQRコードをスキャンすることができます。
- QRコードをスキャンすると、レコーダーに表示されるデバイスIDがモバイルビューアーIDに自動反映 され、レコーダーのID/パスワードを入力すると、すぐにモバイルビューアーを使用することができま す。
- 4. 登録後、スマートフォンに保存したWisenetモバイルアプリを実行すると、レコーダーに自動接続され、スマートフォンで簡単にモニタリングすることができます。
- ▶ P2Pサービスの有効期間は製品製造後3年間です。
  - ご使用に際しては、お客様の環境での動作確認をお願いします。また、ご使用されるネットワークの環境・ 条件によって発生する諸問題について、当社ではご対応致しかねます。
  - モーション、ビデオロスイベントのみイベントプッシュで伝達されます。

検索&再牛

#### 検索

録画したデータの検索を、時刻又は、イベント等の検索条件を使い行うことができます。 ライブモードから直接<**検索**>メニューにアクセスできます。



- ライブモードで、マウス右ボタンをクリックします。 ライブメニューが表示されます。
- 2. <検索>を選択します。
- 3. 検索メニューが表示されます。
- 時間重複データ:レコーダーの時刻を変更して同じ時刻に重複したデータがある場合のみ表示され、<しist0>から、新しい順に表示されます。
   <バックアップ検索>には表示されません。
  - 検索時刻はレコーダーに設定された時刻に基づきます。
- 4. 検索は、自動削除機能により制限される場合があります。
   目次の「メニュー設定 > 録画の設定」の「録画オプション」ページをご参照ください。

# 時刻検索

希望する時刻の録画データを検索できます。

表示される時刻は、タイムゾーンとサマータイムシステム(DST)が適用された地域標準時に従うため同じ時刻に録画されたデータのタイムゾーンとサマータイムシステム(DST)適用の可否によって異なる表示となる場合があります。



- 1. <検索>メニューの<時間検索>を選択します。
- 2. 日付選択ウィンドウで、▲▼ボタンをクリックし、検索日付を選択します。
- 目次の「メニュー設定 > システム設定」の「カレンダーを使用するには」ページをご参照ください。

- 3. 該当日付の録画データがリストアップされます。
- 表示バーはデータタイプにより異なります。そのため、左のペイン内にある色のデータタイプを確認 します。
- DST (サマータイム)を設定した場合、複数の録画の重複が、特定の時刻で発生する場合があります。このような時刻セクションは、DSTセクションをマークする赤色で強調されます。
- 最初へ移動:最初の録画日付へ移動します。
- 最後へ移動:最後の録画日付へ移動します。
- 全チャンネル:リストを選択すると、ユーザーが指定したレイアウトの録画映像を検索することができます。初期値は全チャンネルが選択されています。
- ●時刻:検索を行う時刻を入力するか、上/下ボタン<◆>を使い選択します。
- ・ 拡大:マップが詳しく拡大されます。
   24時間 12時間 6時間 2時間 1時間の順に切り替わります。
- 縮小:マップが上記の詳細モードとは逆の順に切り替わります。
   1時間 2時間 6時間 12時間 24時間の順に切り替わります。
- プレビュー画面:<チャンネル>を選択した後、タイムラインで確認したい時刻をマウスでクリックしたり、ドラッグすると該当時点の静止画像を確認することができます。
- 選択したチャンネルに録画データが含まれていない場合、黒色でマークされます。
- 4. データ項目を選択し、<再生>をクリックします。選択したチャンネルの録画映像が再生されます。
- 再生画面のタイムラインが時間検索のタイムラインと同様に録画データのタイプ別にカラーが表示されます。

#### 現在の録画状態によるカラー表示

各録画データのタイプによって表示される色が異なります。

# イベント検索

チャンネル別に発生したイベントを検索し、再生できます。



- 1. <検索>メニューの<イベント検索>を選択してください。
- 2. 検索するチャンネルと検索日付を設定してください。
- 3. イベントタイプを選択してください。<設定>ボタンを選択すると、イベントタイプのポップアップが 表示されます。
  - イベントタイプのオプション:すべて、モーション、映像分析、自動追跡、デフォーカス、フォグ検知、音声認識、サウンド分類、センサー、スケジュール、通常録画
- **4.** 検索リストで再生する項目を選択してください。プレビューに静止画を表示します。再生をクリック すると、選択した検索結果が再生されます。

#### スマートサーチ

バーチャルラインを用いて、関心領域または除外領域として画像の特定領域を選択し、特定時刻に生じた イベントをサーチできます。

スマート検索機能を使うには、「メニュー > イベント > カメライベント > スマートサーチ」の値を
 <ON>にセットします。また、「モーション検知」または「映像分析」の領域を「全域」に設定すること。但し、Wisenet Xシリーズ以降、カメラをスマートサーチするためには、カメラの「設定 > IVA」で「IVAを有効にする」を選択します。目次「メニュー設定 > イベント設定」の「カメライベント」ページをご参照ください。



- 1. <検索>メニューで、<スマートサーチ>を選択します。
- 2. チャネル、検索日時の設定を行います
- 最初へ移動:最も古いスマートサーチ結果に移動します。
- 最後へ移動:最も新しいスマートサーチ結果に移動します。
- •イベント:生成されたイベントの種類を表示します。
- 注目画像領域:全体画面を非検知領域に使用して特定領域をモーション検知領域に設定します。画像上 でクリック&ドラッグするか、4つの頂点を選択し、検知領域を指定します。
- ・排他領域:全体画面を検知領域に使用して特定領域をモーション非検知領域に設定します。画像上でクリック&ドラッグするか、4つの頂点を選択し、非検知領域を指定します。
- 仮想線:バーチャルラインを基準にして方向表示側に向かうモーションを検知します。画面の設定したい位置にて、ラインの開始ポイントと終了ポイントをクリックまたはドラッグします。
- 最大3つの関心領域、除外領域、およびバーチャルラインをそれぞれ設定できます。
- 3. <検索>ボタンをクリックします
  - 表示されるサーチ結果には、リスト、タイムライン、およびサムネイルが含まれます。
  - サーチ結果として表示されるリストまたはサムネイルをダブルクリックすると、該当するデータを再生できます。
  - <次へ>または<戻る>ボタンをクリックして、検索結果内で直接日付を変更します。
- 4. 再生するデータを選択し、<再生>をクリックします。
  - サーチしたデータの再生画面に移動します。

## テキストを検索

レコーダーに接続済みのPOSデバイスに入力されたデータを検索することができます。

2019-08-06 20:42:53	2019-08-0	7 === 20	341:53	イベントキーワート
検索キーワード入力		大文字、小文字が一致	■ すべての単語が一致	教家
			時間重複デー	
2000 100 V			時間	
010 220			2019-08-07 20:41:17	
			2019-08-07 20:41:06	
01012			2019-08-07 20:40:50	
24072 1.16			2019-08-07 20:40:39	
2x0.00 110 WILLIAM			2019-08-07 20:40:23	
1016			2019-08-07 20:40:12	
ANANA			2019-08-07 20:39:56	
			2019-08-07 20:39:45	
2019-08-07 20:41:53			2019-08-07 20:39:29	
			2019-08-07 20:39:17	
			2019-08-07 20:39:01	
			2019-08-07 20:38:50	

- 1. <検索>メニューから<テキストを検索>を選択します。
- 2. 検索基準を指定し、<検索>ボタンをクリックしてください。
   より深く、より詳細な検索は、指定の文字を使用すれば可能です。
- 検索キーワード入力:事前に設定したイベントキーワードででテキストの検索ができます。
   キーワードは「メニュー設定 > デバイスの設定 > テキスト > イベントの設定方法」の画面で指定して下さい。
- •検索条件:入力画面に検索する単語を入力し、<検索>ボタンを押します。
- <**大文字・小文字が一致**>:チェックを入れた場合、検索項目は大文字・小文字を区別する必要があります。
- <**すべての単語が一致**>:チェックを入れた場合、入力した単語と完全に一致する結果だけが表示され ます。
- 時間重複:あらかじめ設定しておいた時刻中に重複したデータがあった場合に表示されます。
- プレビュー画面:データをリストから選択した場合、プレビュー画像が表示されます。 すべての情報が下のテキストディスプレーに表示されます。
- エクスポート:レコーダーに記録されたすべてのテキスト検索情報をストレージメディアに保存します。
- 3. 再生するデータを選択し、<再生>をクリックします。 検索したテキストデータ用の再生画面へ移動します。

検索 & 再生

# バックアップ検索

接続したバックアップデバイス内のバックアップデータを検索します。 ファイルタイプがレコーダーであるデータのみ検索されます。

	バックアップ核	索				
		х тюк				
No.	フォルダ名	ファイル名				
1	20190820	1515_000				
	20190820	1549_000				
	20190820	1627_000				
	20190820	1645_000				
· ファイル名	1515_000					
• 经浙河内	2019-08-20 15:15:29 ~ 2019-08-20 16:45:00					
· 再生開始時刻						
	- 再生 - <b>は</b>	õ				

- 1. <検索>メニューの<バックアップ検索>を選択します。
- 2. データがある記憶装置が接続されている場合、デバイスに保存された録画リストが表示されます。
- •ファイル名:録画されたファイル名を表示します。
- チャンネル:録画したチャンネルが表示されます。
- •録画期間:録画期間が表示されます。
- 再生開始時刻:再生を開始する時刻を選択します。
- 3. 再生するデータを選択し<再生>をクリックします。 画面がバックアップデータ再生画面に切り替わります。

#### ARB検索

ARBデータを検索してお望みの記憶装置にファイルをエクスポートしたり、再生することができます。 ■ この機能はネットワークカメラ接続時のみ対応します。

WDC WD40PUR9	<b>C-64</b> 0 7 157.993	
No.	フォルダ名	ファイル名
チョンネル		
錄而期間		
再生開始時刻		
・ ARBエクスポー	トデバイス	
Y TICK	d 1770 (80048)	
X IICK	○ 1.7/G (鉄9容量)	

- **1.** <検索> メニューから <ARB検索>を選択します
  - ARB検索機能を使うには、ARB記憶装置を選択して下さい。「メニュー設定 > デバイスの設定 > 記憶 装置 > デバイス/フォーマット」の画面で<ARB>という値を確定すること。
- 2. ARB記憶装置の種類およびモデル名が表示されます。
- データがあるストレージメディアが接続されると、保存された 録画リスト及びARBデータ容量が表示 されます。
- •ファイル名:録画されたファイル名を表示します。
- チャンネル:録画されたチャンネルを表示します。
- •録画期間:録画時間を表示します。
- 再生開始時刻:映像を再生する時刻を選択します。
- ARBエクスポートデバイス: ARBファイルを選択し、ファイルをエクスポートします。
- < > ボタンを押すと、記憶装置の残りの空きスペースを確認できます。
- 3. 再生するデータを選択し<再生>をクリックします。 ARBバックアップデータの再生画面に切り替わります。

# 再生

HDDに保存されているデータを再生し、データ内の希望箇所をバックアップできます。



- ライブ画面メニューで、<再生>メニューを選択するか、ランチャーメニューの< ▶ >をクリックします。
- 2. 検索メニューを選択します。
  - 今回が初再生の場合、データ検索ウィンドウから開始します。
     データの検索方法は、目次の「検索&再生>検索」ページをご参照ください。
- 3. データを選択し、検索メニュー下部の<再生>をクリックします。
   選択したデータが再生され、再生ランチャーが画面上に表示されます。
   既存再生中のデータがある場合、<再生>は検索を実行せずにすぐに開始されます。
- 再生情報:最上部に、現在のデータの日付と時刻が表示されます。
- ・バックアップ:< >をクリックし、現在の時刻をバックアップ開始時刻に設定します。マウス(黄色い三角形)を使用して、バックアップ領域を指定できます。
   < >をもう一度クリックし、現在の時刻をバックアップの終了時刻に設定します。"バックアップ範囲"ウィンドウが表示されます。
- タイプ: Recorder、SECタイプに対応します。
- SEC形式を選択すると、"テキストデータを含む"を選択または選択解除できます。
- デバイス:バックアップデバイスを選択します。
- 容量のチェック:選択した記憶装置の許容量が確認できるようにします。
- 4. 再生中にライブ画面へ戻る場合は、ランチャーメニューの< 💶 >をクリックします。

#### 映像再生中にメニューを確認

- 1. 再生画面を右クリックします。 再生画面に画面メニューが表示されます。
- 実行するメニューを選択します。
   各メニューの詳細は「ライブ > ライブ画面メニュー」の「分割モードメニュー」ページをご参照ください。

```
🌈 🔹 ビデオ回転モードは単画面モードでのみ表示されます。 90度ずつ、再生画面を回転できます。
```

#### 再生ボタンの使用



	名前	説明
1	時刻設定ライン	現在の再生ポイントを示し、動かすと再生ポイントを移動できます。
2	スキップ逆送り	設定された時間だけ、後方に移動します。
3	ファスト逆再生	映像を巻き戻すときに使用します。(x2、x4、x8、x16、x32、x64、 x128、x256倍速をサポートします。) ■ 分割モード別にファスト再生に制限がある場合があります。
4	スロー逆再生	低速度で映像を巻き戻すときに使用します。 (x1/2、x1/4、x1/8倍速をサポートします。) ■ 分割モード別にスロー再生に制限がある場合があります。
5	ステップ逆送り	1度に1フレーム分戻します。
6	一時停止	現在の映像の再生を一時的に停止します。
7	停止	再生を停止し、ライブ画面へ移動します。
8	ステップ送り	1度に1フレーム分進めます。
9	スロー再生	低速度で映像を再生するときに使用します。 (x1/2、x1/4、x1/8倍速をサポートします。)
10	ファスト再生	映像送りを行うときに使用します。(x2、x4、x8、x16、x32、x64、 x128、x256倍速をサポートします。)
11	スキップ送り	設定された時間だけ、前方に移動します。
12	再生設定	倍速・低速、およびスキップの詳細を設定できます。 ■ チャネル数に応じて、設定が異なって適用される場合があります。
13	戻る	録画映像を再生する前に検索メニューへ移動します。
14	音声	音声をオン/オフに設定します。
15	録画	手動録画を開始したり停止することができます。
16	ズーム	シングルモードの場合に有効です。選択したチャンネルの映像を拡大しま す。 ズームをキャンセルするには、拡大された画像をダブルクリックするか、 ライブ画面メニュー内の< <b>ズームの終了</b> >を選択します。
17	バックアップ	再生するチャンネルの映像をバックアップすることができます。
18	モード切替	希望の再生モードをクリックし、画面分割モードを変更します。

# <u>ウェブビューアーの開始</u>

# ウェブビューアーとは

ウェブビューアーはレコーダーにリモートアクセスしてリアルタイムモニタリング、PTZ(構成されている場合) 制御、検索などを制御できるソフトウェアです。



# 主な機能

- ブラウザを使用したリモート接続
- PTZカメラ制御
- 分割画面モード対応
- 2垂直分割、2水平分割、3分割、4分割、6分割、1+5分割、1+7分割、9分割
- 😰 🔹 製品に対応するチャンネル数によって画面分割モードが異なります。
- 印刷及び保存用のJPEG/BMP/PNG画像フォーマット保存機能
- 汎用のメディアプレーヤーと互換性のあるaviフォーマット録画機能。(統合コーデックが必要)
- Windows Media Playerで再生するには、www.windows7codecs.comからコーデックをダウンロードして インストールしなければなりません。(バージョン 4.0.3 以上)

# システム要件

下記は、ウェブビューアーが動作するのに必要な最低限推奨されるハードウェアとOSの要件です。

- 推奨ブラウザ: Chrome
- 対応ブラウザ:Chrome、Edge、Safari
- 対応OS:Platform独立的なウェブの特性上Windows、Linux、OS X環境ですべて動作できます。
- 検証環境: Windows® 10のGoogle Chrome™バージョン76、NVIDIA® GeForce® GTX™ 1050が含まれた Intel® Core™ i7-7700プロセッサー3.60GhzまたはIntel™ HD Graphics 630でテスト及び検証されました。
- ・性能制約事項:ウェブビューアーの映像再生性能は、ユーザーのCPU/GPU性能に影響されることがあります。

# ウェブビューアーの接続

- 1. ウェブブラウザを開いてアドレスバーにレコーダーのIPアドレスまたはURLを入力してください。
- 2. 管理者権限を持つユーザーは管理者ID及びパスワードを入力する必要があります。登録済みのユーザーはユ ーザーID及びパスワードを入力する必要があります。



3. ログインすると、ライブビューアーのメイン画面が表示されます。

- すべての設定はレコーダーの設定によって適用されます。
  - 異なるIDでログインするには、インターネットブラウザを終了し、再度ログインします。
  - Webビューアー用の初期IDは"admin"です。パスワードは default パスワードを入力してください。
  - Webviewerに接続する際にウェブポートを変更すると、適用されるポートがブロックされるためアクセスに失敗する場合があります。この場合、ポートを別のポートに変更してください。
  - 個人情報を安全に保護し、情報の漏洩を防ぐため、パスワードは3か月ごとに変更してください。
     パスワードの管理の不備で発生したセキュリティ及びその他の問題は、ユーザーの責任となりますことを御注意ください。
- ▶ 管理者及び一般ユーザーを含めて最大10ユーザーの同時アクセスが可能です。
  - 管理者や一般ユーザーのパスワードはレコーダーの<ユーザー>メニューで変更することができます。
  - 一般ユーザーは、<ネットワーク・アクセス制限>の<Webviewer>を「使用」に設定してから接続できます。
     目次の「メニュー設定 > ユーザー」の「権限の設定」ページをご参照ください。
  - すべての設定はレコーダーの設定によって適用されます。

# <u>ライブビューアー</u>

# ライブビューアー

リモートPCから接続したレコーダーに登録されたカメラの映像確認、カメラの調整、ネットワーク転送状態を確認す ることができます。

ライブビューアー画面構築



	メニュー	説明
1	メニュー選択	各メニューをクリックすると、該当メニュー画面に切り替えします。
2	詳細メニュータブ	各メニューで提供する詳細メニューを表示します。
3	リストメニュー項 目	レコーダーに登録済みのカメラリストを確認し、カメラのレイアウトを設定します。
U	イベントメニュー 項目	デバイスで発生したイベントリストを表示します。
4	PTZ制御	接続済みのPTZカメラを制御します。
5	⊡.	レコーダーの手動録画機能を有効にします。
6	C	選択したチャンネルのリアルタイムライブ映像をAVIフォーマットでPCの指定 されたフォルダに保存します。
7	÷Ċ;	アラーム発生時、アラームを選択解除します。
8	=	ウェブビューアーの映像ウィンドウでOSD画面の情報を表示します。

	メニュー	説明
9	C <sub>0</sub>	選択したチャンネルの情報を表示します。 ■ ユーザーのPCのモニターが特定の高解像度で60Hzに対応しないか、HDMIケー ブルがHDMI 2.0に対応しない場合、チャンネル情報で60fps以上出力されませ ん。
10	ſ	全体カメラの状態を表示します。
11		映像ウィンドウの分割モードを設定します。
12		アスペクト比を4:3または16:9比に変更します。
13	г ¬ ∟ Ј	現在の分割モード状態で全画面に変更します。 全画面から出るにはキーボードの [ESC] キーを押してください。 Mac Safariは全画面に対応しません。
14	映像ウィンドウ	レコーダーに接続されたカメラの映像を表示します。
	0	アクセスしたユーザーのIDを表示します。
15	?	ハンファテックウィンのウェブサイト(www.hanwha-security.com)へ移動します。
	W	ウェブビューアーのカラーテーマを変更します。
16	システム状況表示	システム、ハードディスク、ネットワークの状況を表示します。
	Ô	選択したチャンネルの現在映像を指定したパスに保存します。
	REC	レコーダー録画を実行し、停止します。
	٨	1分前の映像を再生します。
47	Ą	PCのマイクをオンにしたりオフにします。
11	÷	選択済みのチャンネルのPTZ設定を制御します。
	口ミ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
	(90 <b>)</b>	選択したチャンネルの画面が時計回りに90度ずつ回転します。
	<b>_</b> _	選択したチャンネルのアスペクト比を変更します。

# システム状態確認

画面の上に表示されるアイコンはシステム状況を表示します。

名前	説明
·	ファン、録画状態に問題が発生する場合に表示されます。 チャンネル別の入力データ量が設定された許可データ量を超える場合に表示されます。
$\bigcirc$	ハードディスクがないか、交換する必要がある場合に表示されます。 録画中、ハードディスクがフルになって録画許容量が不足する場合に表示されます。 録画状態に問題がある場合に表示されます。
Ţ	<ul> <li>システム、ネットワーク過負荷が発生する場合、表示されます。</li> <li>受信性能を超過してCPUに過度な負荷を与える場合に発生します。カメラを削除するかカメラの設定を修正してデータ量を減らし再び負荷を下げると、消えます。</li> <li>ウェブビューアーまたはVMSでリモートモニタリングする同時接続ユーザー数を制限するか、リモートまたはレコーダーで再生するチャンネル数を調整してください。</li> </ul>
Ţ,	サーバーにアップデートするファームウェアがある場合に表示されます。

# ユーザーID確認

ウェブビューアーにアクセスしたユーザーのIDと使用権限を表示します。



# カメラレイアウト設定

# カメラリスト確認

レコーダーに登録済みのカメラのタイプ、状態、名前を表示します。

モニタリング > リスト

名前		説明
チャンネル情報		チャンネル情報を表示します。(チャンネル番号、映像ウィンドウの振当て 有無カラー表示)
		一般カメラを表示します。
カメラタイプ	PTZ	PTZカメラを表示します。
	) A	アナログカメラを表示します。
ナヘリンで	Ľ.	カメラロック状態を表示します。
<b>カ</b> アノ 小態		カメラエラー状態を表示します。
カメラ名		カメラに設定した名前を表示します。

● カメラに接続エラーが発生すると、リストで無効になります。

# レイアウト設定

使用目的と便利さに合わせてチャンネルをレイアウトにまとめて必要な時、すぐに確認できます。

#### モニタリング > リスト

#### レイアウトを追加するには、

<+>ボタンをクリックしてください。 



#### レイアウト名を変更するには、

1. 名前を変更したいレイアウトを選択した後、< ク>ボタンをクリックしてください。

2. お望みの名前に変更した後、<5)>ボタンをクリックしてください。

#### レイアウトを削除するには、

削除するレイアウトを選択した後、< 💼 >をクリックしてください。

- レイアウトは各ユーザー別に別途保存されます。
  - ウェブビューアーからマルチチャンネルで同時にモニタリングできる解像度は合計18 mega pixel、ビットレ ート合計は20Mbpsを超えることはできません。(リモートプロファイルの設定解像度とビットレート基準) 上記の仕様を超えた映像が割り当てられた場合、警告ポップアップと<介>アイコンが表示されます。"
  - この警告が発生する場合、レイアウトに配置されるチャンネルのリモートプロファイルの解像度とビットレー トを低く設定してください。
  - Chromeブラウザの場合、H.265コーデックに対するハードウェア加速に対応していません。Chromeブラウ ザでH.265コーデック映像の解像度は合計4 mega pixel、ビットレートの合計は4Mbps、最大4CHまでモニ タリングできます。

# イベントリスト確認

# イベントリスト確認

設定 > デバイス > テキスト > イベントで設定されたイベントリストを確認します。

#### モニタリング > イベント

イベントリストでお望みのイベントをクリックすると、該当チャンネルの映像を確認することができます。



#### イベントリストをフィルタリングするには、

<マ>ボタンをクリックした後、イベント項目をクリックしてください。 イベントリストで選択したイベント項目のみ表示されます。





Safariブラウザはこの機能に対応しません。



# 映像エクスポート

チャンネル&日付、時刻などを手動で入力し、録画済みの映像をバックアップすることができます。 **1.** <「<sup>7</sup>>ボタンをクリックしてください。

エクスポート		
Parking lot	*	
	СН	名前
	1	CAM 01
	2	CAM 02
	3	CAM 03
	4	CAM 04
	5	CAM 05
	6	CAM 06
開始時刻	2019-08-29 00:00:00	終了時刻 2019-08-29 23:59:59
ファイル名		
総容量:0%	1	
CH 1:0%		
	ОК	キャンセル

- 2. エクスポートするレイアウトを選択した後、チャンネルを選択してください。
- 3. 開始日付/時刻と終了日付時刻を設定してください。
- 4. 保存するファイル名を入力した後、<OK>ボタンをクリックしてください。
- 5. エクスポートが完了されると確認ウィンドウが表示されます。<閉じる>ボタンをクリックして終了してください。エクスポートされた映像は.aviファイルでダウンロードフォルダに保存されます。

# 全体カメラの状態確認

接続済みの全体カメラの状態を確認することができます。

#### ライブ映像の状態確認

< 11 >ボタンをクリックしてください。各チャンネルに接続済みのカメラ状態と転送情報を確認することができます。

プロファイル設定を変更するには、<カメラ設定>ボタンをクリックしてください。プロファイルの設定方法は 目次の「設定ビューアー > カメラ設定」ページをご参照ください。

	47 88	i Avi			847 v	77->1880434:11PM €
н	274	17.85	85	$2-\theta' > \theta$	#9X	7 5-45-1
1	Analog CAM	委員	Port 1			
z	QND-60708	an	192.168.219.148	H.264	800X448	30 fps
3	Analog CAM	938	Port 3			
4	Analog CAM	sit	Port 4			
5	Analog CAM	93	Port 5			
6	XND-8081VZ	sit	192.168.219.199	H.264	800x448	30 fp.s
7	XXV-60812	918	192.168.219.165	H.264	800X448	30 tps
8	XNF-8010R	51R	192.168.219.171	H.264	7689/768	25 fp.s
9	XNP-6320	918	192.168.219.175	H.264	8003448	30 fps
10						
						カメク設定

## 録画映像の状態確認

< 11/2>ボタンをクリックした後、<録画>タブをクリックしてください。

チャンネル別にプロファイル、録画タイプ、入力/録画転送率、設定/入力/録画データ量を確認することができます。

- <葉在 また>を利用して現在録画状態と最大録画設定値を確認することができます。
- プロファイル設定を変更するには、<録画設定>ボタンをクリックしてください。プロファイルの設定方法は目次の「設定ビューアー>録画設定」ページをご参照ください。

2		蜂業	8987					■387ップダ	- FIRM 04:34:11 PM <	
±±c>≻	レート(10日/泉大):	21.2/64.7 Mope							Nt OID 4	
	419	10		2 1/ = 4 1/	- > (fps)					
он	707768	917	$\tau  \nu - \mu$	5.0	ez	10	5.8	19 <b>X</b>	2210	
1	Main Stream	$\mathcal{F}= \oplus \ \mathcal{U}$	7.0	30.0 fps	30.0 fps	3.5 M	3.3 M	3.3 M	94 %	
2	H.264	$\mathcal{I}=\forall\;\mathcal{U}$	2.6	30.0 fps	30.0 fps	3.5 M	1.0 M	1.0 M	28 m	
3	Main Stream	$\mathcal{F}=\mathcal{D},\mathcal{D}$	7.9	30.0 fps	90.0 fps	3.5 M	3.3 M	3.3 M	94 N	
4	Main Stream	$\mathcal{I}=\pi~h$	2.6	20.0 fps	30.0 fps	3.5 N	2.3 M	3.3 M	94 W	
5	Main Stream	r=2.5r	7.9	30.0 fps	30.0 fps	3.5 M	3.3 M	3.3 M	94 m	
6	H.264	$\mathcal{I}=\pih$	2.0	30.0 fps	30.0 tps	1.5 M	1.1 M	1.1 M	31 %	
▲ ■=	197-183	■ 707 + ( b Z )		HOOSERIA					特莱顿市	
-008.	77-12-301	1787 / 3990 08								
時高(使用可能容量/10容量)		7月4時間/16月	13 15 開						205:	

# ネットワーク状態確認

< III)>ボタンをクリックした後、<**ネットワーク**>タブをクリックしてください。 現在、受信/送信されるネットワークのBandwidth状態を確認することができます。

217	帰居 ネットワーク	義務 アップザート時間 063611 P
	思想 (hps)	Mill (type)
8712-21	8.0 M	0.2 M

# 分割モード変更

<=>ボタンをクリックした後、分割モードを選択してください。 選択した分割モードが映像ウィンドウに適用されます。



# キャプチャー

映像をキャプチャーしたいチャンネルを選択した後、<
○ >ボタンをクリックしてください。 キャプチャー済みの映像は.pngファイルでダウンロードフォルダに保存されます。

# PC録画

- モニタリング中に映像をPCに録画することができます。
- 1. チャンネルを選択した後、< 
  ・ メータンをクリックしてPC録画を開始してください。
- 2. PC録画を終了するには、< (1)>ボタンをクリックしてください。 録画が終了され、録画済みの映像は.aviファイルでダウンロードフォルダに保存されます。

# インスタント再生使用

モニタリング中に映像を1分前へ移動して再生することができます。 チャンネルを選択した後、<
<)>ボタンをクリックしてください。 インスタント再生画面が表示されます。 ■ ▷/X:映像が再牛/停止されます。

- Q:検索メニューに移動されます。



✓ ■ インスタント再生はH.264コーデック映像のみ対応します。

# PTZ使用

選択済みのチャンネルのPTZ制御を実行することができます。 チャンネルを選択した後、<∲→>ボタンをクリックしてください。 PTZ制御画面が表示されます。



- +:<+>にマウスを位置すると8方向キーが表示され、マウスが方向キーのエリアから外れると方向キーが消えます。8方向キーを一回ずつクリックしてカメラの方向を細かく調整することができます。 方向キー続けてクリックしてお望みの方向に移動し、止めるにはマウスを離してください。
- 位置調整:映像エリアをクリックした後、お望みの方向にドラッグすると、カメラの方向を調整することができます。
- ○:現在状態の映像をキャプチャーします。
- ⑥:インスタント再生画面に移動します。
- 「①:デジタルズームアイコンをクリックした後、マウスホイールを用いて映像をズームインするか、ズームアウトすることができます。
- **≤**:PTZモードが終了します。

# デジタルズーム実行

マウスホイールを用いて映像をズームインするか、ズームアウトすることができます。 マウスホイールをアップすると、選択した映像画面が10%ズームインされ、サムネイルウィンドウが表示されます。

- マウスホイールをアップ/ダウンすると、映像画面が10%ずつズームイン/ズームアウトされます。
- 映像画面が元のサイズにズームアウトされると、デジタルズームが終了します。
- PTZモードでは<[@>ボタンをクリックすると、デジタルズームが実行されます。





# 接続中のネットワークカメラ制御

# PTZ制御

接続したネットワークカメラがPTZカメラの場合、カメラリストに<
Cml>アイコンを表示し、該当カメラチャンネルを選択すると、PTZ制御をすることができます。



	名	3前	説明
1	ズー/ アウ	ムイン/ズーム ト	カメラのズームを調整して画像をズームインするか、ズームアウトします。
2	フォー	ーカス	カメラ画像のフォーカスを調整します。
	R	プリセット	カメラが移動するプリセット位置を設定して、お望みのプリセットを選択する と、設定された位置に移動します。
	ora	スイング	カメラが設定された開始点と終了点の間を往復します。
3	🖒 グループ		プリセットを組み合わせて選択したパスに動きます。
	🏫 ツアー		複数のグループを組み合わせて設定したパスに動きます。
	ĴĴ	トレース	カメラが設定されたパスに沿って動きます。
4	設定す	する	設定したプリセットを保存し、リストに表示します。
5	削除		選択したプリセットリストを削除します。
6	プリイ	セットリスト	保存されたプリセットリストを表示します。

# デジタルPTZ(D-PTZ)機能を利用するには、

- 1. D-PTZ プロファイルに対応するカメラを登録してください。
  - D-PTZ プロファイルに対応するカメラに限ってD-PTZ機能を活用することができます。
- 2. 一般PTZに対応するカメラだけでなく、D-PTZに対応するカメラも一部<PTZ制御>機能メニューを使用して ライブ映像を制御することができます。
  - 詳細情報はカメラの説明書をご参照ください。

#### 歪み補正設定された画面でデジタルPTZ機能を使用するには、

- 1. 歪み補正された画面でアイコンをクリックしてください。
- 2. 画面の上にマウスを上げ、ドラッグしてコントロールします。

## プリセットを設定するには、

プリセット設定				$\times$
蕃号	1:		v	
名前				
保存		キャン	セル	

- < ≯ >タブをクリックしてください。
- 2. < 設定する >ボタンをクリックすると、「プリセット設定」ウィンドウが表示されます。
- 3. < 1: \_\_\_\_\_\_ >をクリックして設定するプリセット順番を選択してください。
- 4. プリセット名を入力します。
- 5. 方向キーを用いてカメラが向く地点へ方向を調整してください。
- 6. <保存>ボタンをクリックしてください。

# プリセットを実行するには、

- **1.** < <sup>▶</sup> >タブをクリックしてください。
- 2. リストで実行するプリセットをクリックしてください。 設定された位置にカメラレンズが移動します。

# スイング(オートパン)、グループ(スキャン)、ツアー、トレース(パターン)を実行するには、

各機能の実行方法は、プリセット実行方法と同じです。詳細情報は該当カメラの取扱説明書をご参照ください。

▶ カメラの性能によって一部機能のみ使用可能です。



# 検索ビューアー

レコーダーをリモートで接続し、レコーダーに保存済みの録画映像を検索し、再生することができます。

# 検索ビューアーの画面レイアウト

# 時間検索画面



	名前	説明
1	メニュー選択	各メニューをクリックすると、該当メニュー画面に切り替えします。
2	詳細メニュータブ	各メニューで提供する詳細メニューを表示します。
3	チャンネル選択	検索チャンネルを表示します。
	<u>آ</u>	選択したチャンネルの現在映像を指定したパスに保存します。
	口"))	各チャンネルと接続された音声をオン/オフ設定します。
4	(90)	選択したチャンネルの画面が時計回りに90度ずつ回転します。
		選択したチャンネルのアスペクト比を変更します。

名前	説明
5	区間設定をオン/オフします。
6	選択したチャンネルの映像をAVIフォーマットで指定されたパスに保存します。
7 カレンダー	映像が録画されている日付はオレンジ色に表示し、現在の日付はオレンジ色の円に表示します。 オレンジ色に表示された日付をクリックすると、録画済みの映像情報がタイム ラインに表示されます。"
8 再生調整	検索結果を選択すると、該当データの再生画面が表示されます。
9 []	全画面に変更します。 全画面から出るにはキーボードの[ <b>ESC</b> ]キーを押してください。
10	全体カメラの状態を表示します。
11 =	ウェブビューアーの映像ウィンドウでOSD画面の情報を表示します。
<b>12</b> イベントリスト	イベントリストを表示します。
13	イベントリストをファイルでエクスポートします。



#### テキスト検索画面



	名前	説明
1	ターゲットデバイス	レコーダーに接続済みのPOSデバイスを表示します。
2	テキストを検索	レコーダーに接続済みのPOSデバイスに入力されたデータを検索します。
3	テキスト詳細	チャンネルリストが表示されます。
4	データ	テキストリストの詳細を表示します。
5	テキストリスト	検索されたテキストリストを表示します。
6	C	テキストリストをファイルでエクスポートします。

# 時間検索

録画済みのデータを、日付/時刻を指定して検索することができます。

#### 日付で検索するには、

カレンダーを用いて検索日付を選択することができます。

- 1. <<,>>をクリックして検索する年と月を選択してください。 データがある日付はオレンジ色に表示し、現在の日付はオレンジ色の円に表示します。
- カレンダーで検索する日付をクリックしてください。 該当日の検索されたデータの一番目の映像を映像ウィンドウに表示し、タイムラインにデータを表示 します。
- 3. 本日の日付を検索するには、<本日>をクリックしてください。 本日の日付がすぐに選択されます。

# 現在の録画状態によるカラー情報

各録画データのタイプによって表示されるカラーを表示します。

- 緑:標準映像
- 赤:イベント映像

#### タイムラインを調整するには、

再生位置を移動し、タイムラインをズームイン、ズームアウトすることができます。

												= (	۵ ۲											
▼											24	⊕∈	t											
00:00	01:00	02-00	02:00	04:00	05:00	06-00	07:00	02:00	00:00	10:00	11:00	12:00	12:00	14:00	15-00	16:00	17:00	18:00	10:00	20:00	21:00	22:00	22:00	

# タイムラインで再生位置をクリックしてください。 再生開始の位置が移動されます。

 < ⊕ >< ⊝ >をクリックして時刻表示の倍率をズームインするかズームアウトしてください。タイムラインが ズームインされると、下にスクロールバーが表示されます。

C D						> >         >	×1 🛊				Ē	50
♡ 重複0 ▼					< 201	9-08-27 > 15:00:0	0		-		9h 50min	ର୍ ର୍
06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:

- ズームイン状態で前、後のタイムラインを見るにはタイムラインをクリックした後、左、右にドラッグして移動してください。
- 重複:DST重複区間を設定してタイムラインを確認することができます。

# ● 検索ビューアー

#### 検索結果エクスポート

検索された結果をファイルでエクスポートすることができます。

- 1. [[]]ボタンをクリックしてください。
- 2. エクスポートするレイアウトを選択した後、チャンネルを選択してください。
- 3. 開始日付/時刻と終了日付/時刻を設定してください。
- 4. 保存するファイル名を入力した後、<OK>ボタンをクリックしてください。
- 5. エクスポートが完了されると確認ウィンドウが表示されます。<閉じる>ボタンをクリックして終了してください。
  - エクスポート進行中、<中止>ボタンをクリックすると、エクスポートが中止されます。

## 区間を設定してエクスポート

映像再生中のタイムラインまたは検索リストで区間を選択してファイルでエクスポートすることができます。 1. [□] ボタンをクリックしてください。

Ľ									$ \langle$	2 14	$\triangleright$	>  🖾	x1	ŧ								= d	0 []
Υ	重複0▼										2019-08	-27 > 15:	00:00									24h	ଭ୍ର୍
00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

- 2. エクスポートするレイアウトを選択した後、チャンネルを選択してください。
- 3. 開始日付/時刻と終了日付/時刻を設定してください。
- 4. 保存するファイル名を入力した後、<OK>ボタンをクリックしてください。
- 5. エクスポートが完了されると確認ウィンドウが表示されます。<閉じる>ボタンをクリックして終了してください。
  - エクスポート進行中、<中止>ボタンをクリックすると、エクスポートが中止されます。

# テキスト検索

レコーダーに接続済みのPOSデバイスに入力されたデータを検索することができます。

#### テキストで検索するには、

- 1. 検索するPOSデバイスを選択してください。
- 2. 検索する日付と時刻を選択してください。
- 3. イベントキーワード&検索条件を設定してください。
  - イベントキーワード:すでに設定したイベントキーワードでテキストを検索することができます。イベントキーワードは目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「テキスト > イベント設定」ページを参照して設定することができます。
  - 検索キーワード入力:検索する文字を入力してください。
  - 大文字・小文字が一致:チェック時、入力された文字の大/小文字を区別して検索します。
  - すべての単語が一致:チェック時、入力された文字と正しく一致するデータのみ検索します。
- 4. <適用>ボタンをクリックしてください。
  - 詳細のテキスト検索方法は目次の「検索&再生 > 検索」の「テキスト検索」ページをご参照ください。

③ 時間	テキスト
ターゲットデバイス	~
∨ ☑ すべて	
TEXT 01	I
🗹 📕 TEXT 02	I
🗹 📕 TEXT 03	I
🗹 📕 TEXT 04	I
🗹 📕 TEXT 05	I
🗹 📕 TEXT 06	I
🗹 📕 TEXT 07	I
🗹 📕 TEXT 08	I
🗹 📕 TEXT 09	
🗹 📕 TEXT 10	I
🗹 📕 TEXT 11	I
🗹 📕 TEXT 12	I
🗹 📕 TEXT 13	
🗹 📕 TEXT 14	
🗹 📕 TEXT 15	
- + - 1 + +o.±	
ナキストと使業	$\sim$
テキストで使業 開始時刻	~
テャスト を使棄 開始時刻 2019-08-22 00:00:00	~
アキスト を使楽 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻	-
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59	-
<ul> <li>デキスト ど使業</li> <li>開始時刻</li> <li>2019-08-22 00:00:00</li> <li>終了時刻</li> <li>2019-08-29 23:59:59</li> <li>イベントキーワード</li> </ul>	-
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00 00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード 」すべて	
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード □ すべて	=
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-22 25:59:59 イベントキーワード □ すべて	
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード □ すべて	
アキストと使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード ↓ すべて	
アキストと使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード 」すべて 歳素キーワード入力	
アキストと使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード 」すべて 提集キーワード入力 すべて	-
アキストで使業 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード 」 すべて 検索キーワード入力 すべて	-
アキスト ど便案 開始時刻 2019-08-22 00:00:00 終了時刻 2019-08-29 23:59:59 イベントキーワード 」 すべて 検索キーワード入力 すべて 大文字・小文字が一致	-
<ul> <li>アキスト ど便案</li> <li>開始時刻 2019-08-22 00:00:00</li> <li>終了時刻 2019-08-29 23:59:59</li> <li>イベントキーワード         <ul> <li>すべて</li> <li>すべて</li> </ul> </li> <li>快速キーワード入力 すべて</li> <li>大文字・小文字が一致</li> <li>すべての単語が一致</li> </ul>	
<ul> <li>アキスト ど便葉</li> <li>開始時刻</li> <li>2019-08-22 00:00:00</li> <li>終了時刻</li> <li>2019-08-29 23:59:59</li> <li>イベントキーワード</li> <li>」 すべて</li> <li>(ペントキーワード入力</li> <li>すべて</li> <li>大文字・小文字が一致</li> <li>」 すべての単語が一致</li> </ul>	
<ul> <li>アネムト ど使気</li> <li>開始時刻</li> <li>2019-08-22 00:00:00</li> <li>終了時刻</li> <li>2019-08-29 23:59:59</li> <li>イベントキーワード</li> <li>」 すべて</li> <li>(株式キーワード入力 すべて</li> <li>(株式キーワード入力 すべて</li> <li>(大文子・小文子が一致 」 すべての単語が一致</li> <li>(適用)</li> </ul>	



# テキスト検索を再生するには、

テキスト検索リストでお望みのリストを選択すると、録画済みの映像と詳細を確認することができます。



# タイムラインを調整するには、

再生位置を移動し、タイムラインをズームイン、ズームアウトすることができます。

26	-)								<	1 IA	$\triangleright$		>  x1	÷								=	d) [	 
	重復 0	•									< 2019-0	8-29 > 00	:00:00									24	h ⊕	Q
00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	

- < \_ >:検索するチャンネルを選択することができます。
- タイムラインで再生位置をクリックしてください。
   再生開始の位置が移動されます。

C D						· DI 🖾	x1 \$				Ēd	) []
· 重	≘0 ▼				< 201	9-07-29 > 00:00:0	0		-		12h 17min	ତ୍ର୍
06:00	07:00	08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15.0	16:00	17:00	18

- ズームイン状態で前、後のタイムラインを見るにはタイムラインをクリックした後、左、右にドラッグして移動してください。
- 重複:DST重複区間を設定してタイムラインを確認することができます。

#### 再生ボタン名称&機能

#### 一時停止状態



#### 再生状態



	名前	説明
1	前のイベント	イベント単位で後ろへ進みます。
2	戻す	ステップ巻戻しを行います。(逆方向コマ送り)
3	再生	映像を再生します。
4	送る	ステップ送りを行います。(正方向コマ送り)
5	次のイベント	イベント単位で前へ進みます。
6	速度	再生速度を選択します。 倍速:x1/2, x1/4, x1/8, x1, x2, x4, x8, x16, x32, x64, x128, x256
7	後方に倍速再生	逆方向再生時、使用します。 倍速: -x1, -x2, -x4, -x8, -x16, -x32, -x64, -x128, -x256
8	フリーズ	映像を一時停止します。
9	前方に倍速再生	正方向再生時、使用します。 倍速: x1, x2, x4, x8, x16, x32, x64, x128, x256



# 設定ビューアー

ネットワーク上でリモートでレコーダーを設定することができます。 レコーダー関連の設定をするには、<**設定**>をクリックしてください。

# 設定画面



	メニュー	説明
1	メニュー選択	各メニューを選択すると対応するメニュー画面へ切り替えます。
2	上位メニュー	既存設定を変更する項目の上位メニューを選択します。
3	下位メニュー	選択した上位メニューに対する下位メニュー中で設定する項目を選択し ます。
4	詳細メニュー	変更する項目を選択して設定を入力します。
5	ОК	修正した設定を適用します。

# システム

レコーダーシステムに関する環境を設定することができます。



# 日付/時刻/言語

詳細は目次の「メニュー設定 > システム設定」の「日付/時刻/言語の設定」ページをご参照ください。

#### 日付/時刻

日付と時刻を設定します。

#### 時刻同期

時刻同期を設定します。

# DST (サマータイム)

DST (Daylight Saving Time/サマータイムシステム)は、表示する時刻をその地域の標準時より1時間早めた時刻です。

# 言語

レコーダーに表示される言語を選択してください。

# 祝日

ユーザーは、設定したい特定の日付を祝日として選択できます。



# ユーザー

詳細設定は目次の「メニュー設定 > システム設定」の「ユーザー」ページをご参照ください。

# 管理者

管理者ID又はパスワードを変更できます。

THE	12	□ モニタリング ○、秋東 ◎ 設定	160.112	m @ 0	D =	16
D 879		<b>緊閉着</b>				
⊕ ##						
0.4499		パスワードについては、パスワード観察家子が出生に夢想ください。				
8.7413		ID area				
3 8 - 2 - 2						
		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				
0.00000		□ /2.2 - Feall				
<ul> <li>1000000000000000000000000000000000000</li></ul>						

- IDに使えるのは、大・小英数字です。
- 管理者IDではないIDで接続した場合、IDは変更できません。
- 使用中のIDが変更になった場合、強制的にログアウトされます。

#### ユーザー

ユーザーを追加、変更又は削除できます。



#### 管理設定

ユーザー権限を設定することができます。



# システム管理

目次の「**メニュー設定** > **システム設定**」の「**システム管理**」ページをご参照ください。

#### システム情報

現在のシステムの情報を確認できます。 モデル名、ソフトウェアバージョン、MACアドレスを確認できます。 PCに接続されたレコーダーからファイルを検索し、アップグレードを実行できます。

TRE	7日 ロモニタワング Q.検索 (会説)定	100 million (1) (1) (1)
0.879	へ システム情報	
⊖ ## Ω ++>+	∧	
B 744.8	SW(*-Vis) 30125,2010010202	
\$ >> 7 - 0	∧ HHC777 to 3. 0009 35 48 0009	
8 5575 C	Upper Source Announcement	
- 0-0-000 0-0	SAD 5 ± 276=1 =-1-75 ± 275=1 0 ± 21 ± 2775=72 ↓ = 21 ± 2775=728 ■	
037184 NINE 00788	7~124 H01984W	
	\$2592 0×12702 RMR	

#### 設定管理

レコーダーに設定された情報をストレージメディアで他のレコーダーに適用することができます。 初期化ボタンでネットワーク情報および設定値を出荷時の状態に復元します。選択した<除外項目>は初期 化から除外されます。

TRE	YE]	□ モニタリング ○,検索 合数定	100000 () () ()
		<b>我之保观</b>	
65			
		10.15-) 10.00000000 (20.16-)	
2013		R	
8 - 9 - 9 - 9		(2.8-) (2.8-) (0.8-) (0.8-)	
		A DIST DATE DATE DATE:	
17(48)33			
THE		884282 684	
4		(0.04) (0.07) (0.07) (0.07)	
5.3.9.4 <b>8</b> 0			
STRE		RECEP REDOVICES.10072-ALCORRELEST.	
0.788 3.375.07			

# ログ情報

#### システムログ

システムログに記録されているデータには、システムの開始、システムの終了及びメニュー設定の変更等 様々なシステム関連のログ/日付/時刻が表示されます。

TRE	YE]	0	モニタリング	Q. 検索 (2) 数定		1800-1625/YE
8.4.9						
63						
			- 10	1 II II Q	20 1 2 2 2	
		30.7			1141	
				RARE (FRE) in exception (mit)	2010/01/01/01/01/01	
				BITS 7 OF THE OP ON DALES AND DALE	212-01214-021	
				2777312-F-iseeCi.forede	20.00010.0010	
				[10] 田田田 (1 - ** - * - * - *****(-**************	10.000.000.000	
				###715-7-16WELPOIL082EV391MEL	2010/00/01 14:40-07	
110.0				$\oplus$ if $i > (\Delta - 2) - cause(i)$ , there is	provide and provide and the set	
				# 7 7 7 1 (# 1 7 1 (act)) Meter	2019-09-09 16:30-40	
48202				C T ( ) (2 - V - case)) i favota	2010/01/01 10:00	
5.27 A 898				REPORT OF THE PROPERTY OF THE	103-00 10 20 30	
037184				BOOKT (#100) - P-242,242,242,79 (200)	20.0-00.01 (4.26-28	
1788				< 1 (n ->	4116-1	

#### イベントログ

センサー、カメライベント、ビデオロスなど、記録されたイベントを検索することができます。

TRE	YE]	0 1	ニタリング Q 検索	0 8/2			HRANDATE (
		142307					
0.0							
		251210	1.88		II X.I Q. 209		
		30.7				1148	
				68+21568		2010/01/21 12:51:21	
		14		P812-048		2020-09-09 10:00 22	
		10		P8+2189		2019/07/10/02	
10.110.000		14		4317-002		101-0-01120.01	
		0	1			201403104040	
22.0			1			20.0.00.20.00.00.00	
A 1		-				223-0-23 34 04 25	
27.4978				17712		2010/10/00	
1374 <b>8</b> 4				4413144			
1129				< 10.2			
						473.8-3	

#### バックアップログ

バックアップを行ったユーザー、実行時刻、詳細(バックアップ時刻、チャンネル、バックアップデバイ ス、バックアップファイルタイプ)に関して検索することができます。

TRE	YE]	□ モニタリング Q 検索 ◎ W2
e e e		
<u>a</u> ++>>		E - E Q 28 - 1 - 2 - 28 - 1 - 2 -
8 704 2		N.Y. 1171 2098
Q 8 y ≥ 2 − 0		
1 SAFA		< (a) /2 - 2
0.1010020		
1 1-7- 1000		
1.527.588 0.27.588		
1.0788		

# カメラ

レコーダーに接続されたカメラを検索して、カメラの設定ができます。 <**カメラ**>をメニュー画面でクリックします。 詳細設定は目次の「**メニュー設定 > カメラ設定**」ページをご参照ください。

# カメラ登録

カメラを登録できます。



チャンネル設定

各チャンネルの映像設定を設定できます。





# カメラ設定

接続されているネットワークカメラの設定を変更できます。



- [カメラウェブサイト] ボタンをクリックすると新たなカメラウェブブラウザウインドウが開きます。
  - カメラがRTSPプロトコルに接続された場合には対応しません。
  - カメラがDDNS、URL、MAC Addressに接続された場合には対応しません。
  - Q/P/Xシリーズのカメラでは下記バージョン以降からサポートします。 (QND-7010Rシリーズ:1.04、QND-7080Rシリーズ:1.02、QND-6010Rシリーズ:1.02、QND-6070Rシリーズ:1.01、Pシリーズ:1.01、Xシリーズ:1.0)
  - カメラがIP v 4に接続され、さらにHTTPSに設定されていないときのみサポートします。
  - 閉鎖型ネットワークでカメラウェブページに接続するとき、ユニバーサルウェブをサポートしていないカメラでは、画像を出力できません。
  - カメラプロキシポートの基本設定値はレコーダーに対応するチャンネル数だけ連続に自動設定されます。プロキシポートを変更するには、ポート設定で修正することができます。
     6 チャンネル (10001-10006), 10 チャンネル (10001-10010), 18 チャンネル (10001-10018)

#### 例) 製品別のCAMプロキシポート初期値

- HRX-1621/TE (18 チャンネル): 10001-10018
- HRX-821/TE (10 チャンネル): 10001-10010
- HRX-421FN/TE (6 チャンネル): 10001-10006
- 図に示すように、クローズドネットワーク外で接続する場合、カメラのプロキシポートのポートフォワーディング設定がルーターに要求されます。



- クローズドネットワーク内部にレコーダーが複数ある場合、カメラプロキシポートはお互いに違う ポートに設定する必要があります。
- DDNSとクイック接続が有効の場合、ポートフォーワーディングは自動に設定されます。
- Chrome、Edge、Safari (Mac OS)ブラウザに対応します。

# プロファイル設定

カメラのプロファイルを設定することができます。

#### 録画

カメラの録画プロファイルを設定できます。



# ライブ

カメラのライブ転送設定を変更できます。



#### リモート

ネットワークおよび拡張モニターに送信される映像プロファイルを設定できます。



# カメラのパスワード

登録したカメラすべてのパスワードを同時に変更できます。

TH EYE	□モニタリング ○.検索 ◎ 数定	
	#J98/29-F	
<ul> <li>シスク発明</li> <li>シスク発明</li> <li>シスク発発</li> <li>シスク発発</li> <li>ジスク発発</li> <li>ジスクデス</li> <li>新期</li> <li>ウスクプ</li> <li>マスク マスク</li> <li>シスクテス</li> <li>シスク発発</li> <li>シスク発発</li> <li>シスク発発</li> <li>シスク発発</li> </ul>	###xef1100/16/37-/F_#C2013117.     //37-/F2012     //37-/F201	
	▲ 今後ネメラを使用するために、デイエのパスワードの問題時に撮らいパスワードを使用しなど本語にどきまた。	
14454		
0 7 min		
8 5.2.9.4 ····		

# デバイス

レコーダーに接続されたデバイスを検索して設定します。 <**デバイス**>をメニュー画面でクリックします。 詳細設定は目次の「**メニュー設定** > **デバイスの設定**」ページをご参照ください。

# 記憶装置

記憶装置関連の設定確認及び変更ができます。

#### デバイス/フォーマット

記憶装置、使用量、使用タイプ、記憶装置の状態を確認できます。



 ARB:ネットワークカメラとの接続が切断されたため録画できなかった映像は、カメラとの接続が回復してからバックアップできます。 ボタンを押すと<自動リカバリーバックアップ>ウィンドウが開きます。
 詳細設定は目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「記憶装置 > デバイス/フォーマット」ページをご参照ください。

#### HDDアラーム

不具合が発生した場合のアラーム出力端子と持続時間を設定することができます。



# モニター

モニター画面設定と出力方式を設定できます。



- 画面が正常的に表示されない場合、付録の「**トラブルシューティング**」をご参照ください。
  - レコーダーに接続されたモニターの設定です。



# テキスト

# デバイス

レコーダーに接続されたデバイスの関連値を設定することができます。

TB	EYE	0	モニタタング	Q.核束	e arte				HEADERT () ()
87.9		2412							
0.5									
		80.4	640	Richard			#= >		
			TRE IN	2.84			764	66-0128	
			707.00	101		15	.102	18-002	
10.00			10141	124		45	361	68-8020	
7-44 337 4-1			1217.04	A 8.5		45	700	15-000	
			TOP IN	非使用		49	70	U8-40C2	
			TEAT M	×88		44	766	of units	
			101.01	101		15	307	15-002	
			TEC M	284		44	768	68-88CB	
			101.00	A 8.5		15	100	15-002	
		10	107.0	824		49	701	U8-40C2	
			TRAT as	×83		45	201	of units	
			707.0	121		15	702	48-4022	
		- 13	107.63	* 8.A		45	363	search	
		14	101104	A 8.4		15	704	15-002	
			TO? II	121		45	30	48-4923	
		-	TRAT and	A 8.5		45	Anni	of anim	
		17	101.11	121		15	30	48-4028	
			TEAT AN	*84			Test	54-8628	

# イベント

テキストデバイスのイベントを表示するための総金額条件およびキーワードを設定できます。

	Exc. (	192971	Operatory Other Anne	-	10	8	-
Dist         4 (a)           In The Image Im		YE.	0 t- 9 7 7 9 0 MR		0		
	E 8×9		(10)				
	⊕ #8						
	0.000		AR				
L SUE Menore Nerver	B FORX		8-7-7 Rg 80				
Image: Margine in the second	- NUMBER						
	7 <4 3/7 4 - 7 1 H007 7 - 6		0 to. ##				
	Q 4+3-2-2						
	10 1-2.9 A						

# シリアル

レコーダーのシリアルポート(RS-485/RS-422)を設定することができます。



# 録画

詳細設定は目次の「**メニュー設定 > 録画の設定**」ページをご参照ください。

# 録画スケジュール

特定の日付及び時刻に録画スケジュールを設定した場合、録画はその特定の時刻に開始されます。



# 録画設定

各チャンネルの通常/イベントでの録画フレームタイプを選択します。

1.8.4.9			5 C. (6)(6)	合親定						
	11107									
0.00										
C 8837774-A	48.0+14									
- 奈居オブション		and the					E +	80	100	
				3319268	1443.0	13.8	3.9	21.9		
				1110318	42(4)(4)	11.4	1.9	24.9		
				2249260	244310	55.8	28	14.0		
				33 H(363)	744310	11.4	1.0	26.46		
				MADE	100(04)	55.8	59			
	-	2.4		139(363)	43430	12.4	5.0	3.0	10	
				1170,040	100000					
						10.4				
						11.0	10	10.0		
	-					13.8	1.0	21.00	12	
	ŵ					14.4	6.9	14.0		
	10					13.8	2.8	21.9		
						11.4	1.0	26.90		
						55.8	5.0	19.00		
	2					13.4	1.0	26.00		
	6					16.0	6.9	14.9		
						33.8	3.87	24.9		

#### 録画オプション

HDDリピート録画を設定できます。

■ それぞれのチャンネルに個別に録画時間を設定できます。


## イベント

詳細設定は目次の「メニュー設定 > イベントの設定」ページをご参照ください。

#### センサー検知

#### レコーダー / カメラ

センサー動作モード、同期したカメラ、アラーム出力タイプ及び持続時間を設定できます。
接続されたネットワークカメラにアラーム入力/出力設定されて、ネットワークカメラにアラーム出力が発生する場合、レコーダーでアラーム出力を実行します。

	レコーダー					
18						
					84127-1281	
27-80		121-2462	A.4.14	71-1844	7.1-1.001	
					11.0	
				45	11.9	
				15	4.9	
fen 2001				44	11.0	
*-+8873+9				15	11.9	
				49	11.0	
				45	11.9	
				19	11.0	
				45	11.0	
	10			15	11.9	
			11	49	11.0	
	-			15	11.9	
			0	49	11.0	
	10		14	45	11.0	
				15	11.9	
	14		14	49	11.0	

# カメライベント

カメラのイベントモード、アラーム出力タイプ、及びアラーム時刻を設定できます。



## ビデオロス検知

ビデオロスが発生した場合にアラームを出力するように設定できます。



# アラーム出力スケジュール

曜日及び時刻に応じたアラーム出力をスケジュール設定できます。 初期設定はイベント同期です。イベントが発生した場合、アラームを有効にします。





## ネットワーク

詳細設定は目次の「メニュー設定 > ネットワーク設定」ページをご参照ください。

## インタフェース

リモートユーザーがネットワークでレコーダーに接続する時、モードやIPなどを確認、設定することができます。

#### ネットワーク

ネットワーク接続情報を設定できます。

TRE	YE]	ロモニタツ	ング Q.検索 🧐	親定				100000 (D) (D) (D)
E 879		***7-2						
© #8								
<u>A 400</u>		$+ \gamma + \gamma - \gamma$	: 88 :	192,158,219,139				
B 7442								
Q 8999-0		10.00	30	Migi	. (0-30)			
4 (39-94-3 4 519-9 8-1						×		
L DENE								
L 99.								
L 803.34								
$h \equiv p = 0$								
2479								
100								
1. SHOP								
L 08079-11-								
242								
r 121								
@ 5376								

#### **ポート** プロトコルに関連した設定事項を設定できます。

0 +/ + 0 #8			
0 en	s-)		
Q. 4459	70104117	19	
	9759	14	
	100/0-1		
	249993987763	224 . 324 . 43 . 1	
	74-64+2.5TB		
	HTTP:://	12	
L DENE	HTTPS (F = 1	44)	
- 377 (+ 3 7 ) f	CNN70858-1	k0081 - 10058	
- 98. 1.873 hr			
24.07		R.	
1123			
1. SHE			
L DRD*9			
3 5 1 2 - 2			
- F2F			
8 5375			

#### DDNS

DDNSを設定することができます。

TRE	YE]	○ €= 9 9	ッグ Q.核束 ② 設定	HEALENT (D) (D) (E)
ED 87.9		DONS		
© ##				
8.000		$b = b \cdot 7 - 7$		
B 7443		00857 ( )	ddm.hamdursedurlly.com +	
🖵 8 y > 9 - 0		7-11-8	dates. Auroratur sussaring com	
5 (39-24-3 8510-2 8-1		9000 24 > 2400	RANCON.	
- #71+9157				
- 99k				
C BELD				
1000				
524				
- 98P				
La Land				
292				
r käk				
R				

# IPフィルタリング

IPアドレスのリストを用意し、特定のIPアドレスへのアクセスを許可又はブロックできます。

		manual Q. O.
	P7(++++>7	
e en		
Q. 4 Hox	フィルタリングタイプ 単語下する ○日用する	
3 744 2	PM	8.00
	11 AM 117-1 Total	1
	1	
d = 1	0.0	
L CONE	0.0	
	0	
- 99k	0	
L 80.1x	B = 42	
5 B.F - 9	0.0	
2439	0	
100	0.00	
L SWP		
L 08074		
282		
- F2F		
8		
8		

#### SSL

セキュリティ接続システムを選択したり、公開証明書をインストールすることができます。



2

HTTPSを使用中にHTTPに切り替えると、ブラウザに設定値が含まれているため異常な動作が発生する場合があります。URLをHTTPに変更して再接続するか、ブラウザのCookie設定を初期化すると正常動作します。

#### 802.1x

ネットワークに接続するとき、802.1xプロトコル使用可否を選択し、証明書をインストールすることができます。

TRE	YE	□ モニタリング ○、快衆 ◎ 取用	100-102-111 (\$ (\$ m))
E 8×9		802.1x	
© #8			
8.00x		\$v17-7 Developments at	
B 7443			
Q 3997-0			
L () (-) (-) 3 - (-) 6 - (-)		<u> </u>	
- 977499337 - 98. - 88.5			
5 (2 = 5 989 1 (2 ) ) (2 ) (2 )			
L (999) L (992)9 3			
1 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			

#### Eメール

イベントが発生した場合にメールを送信するSMTPサーバーを指定し、受信者グループ及びユーザーを設 定できます。

#### SMTP

メールを送信するサーバーを設定し、認証プロセスを使用するかを指定できます。



# イベント

イベント間隔を設定し、サーバーがどのイベントにメールを送信するかを指定できます。

THEY	E ]	□ モニタリン	グロ(検索 ⑥ 観定	100-121T (2) (2) (0)
10 k / k		(10)		
⊕ #8				
8 4459 91 744 X		十〇十七世界地	100 * (1000 TORECO, 8000 A33,374)	
Q 8997-0		イベント転送使用	○ e>=-max	
L = (2y - 2x - 3) $A > 1 \le 2 = 2$ d = 3 L = 0.0000 L = 0.0000 L = 0.0000 L = 0.0000 L = 0.0000 L = 0.0000 L = 0.0000			ST(FC)   ST(FC) 	
949 4.055 800 5.900 5.0029 3.512-2 2400 5.799			a	
∰ 527¢				

## 受信者

グループを設定し、Eメールを受信する受信者を設定できます。



#### SNMP

SNMPプロトコルを使用し、システム又はネットワークの管理者が遠隔でネットワークデバイスをモニタリングし、環境設定などの運用をすることができます。





## DHCPサーバー

#### ネットワーク

内部DHCPサーバーを設定し、IPアドレスをネットワークカメラに割り振ることができます。

THE	YE]	□ モニタソング ○.検索 (※数定)	100 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
E 8×9		Av17-2	
⊕ #8			
8.40×		4 x 1 7 - 7 : BR BL	
B Fritz			
		×	
$\begin{array}{c} 1 & (-) & ($			
- 277(031))7			
i 98. L Miller			
5-12-5 549 (12-5 808			
5 0829-2-2 5 127-2 2488			
- F2F			
B 5375			

#### IP確認

DHCPサーバーを介して現在使用されているIP、MACおよび接続したネットワークポートを確認できます。



#### P2P

P2P機能に対応する製品にのみ提供する機能です。 P2Pサービスを使用するには、「**P2P有効**」のチェックボックスを選択してください。 P2Pサービスを使用するためには、画面上のQRコードをスキャンしなければなりません。



バックアップビューアー

# SECバックアップビューア

SECタイプでバックアップされているファイルを再生することができます。 SECタイプのバックアップは、バックアップデータファイル、ライブラリファイル及び再生用ビューア実行ファイルを生成します。

再生用ビューアを実行すると、バックアップデータファイルが再生されます。

# 推奨システム仕様

以下の推奨仕様を満たさないPCでは、コマ送り/コマ戻しおよび高速再生が滑らかに動作しないことがあります。

#### PC仕様

名称	最低要件	推奨	
CPU	インテルペンティアム2.5GHz以上	Intel i7(3.5GHz)以上	
RAM	4GB以上	8GB以上	
ハードディスク	200GB以上	500GB以上	
VGAメモリ	512MB以上	1GB以上	
画面解像度	1280x1024以上	1920x1080以上	
OS	Windows 7, 8, 10		



	項目		説明
4	公割面面	<b>4:3</b> 16:9	表示する画面の縦横比を選択します。
	刀副画面	1 4 9 16	選択した分割画面に変更されます。
	Fish eye	MALL SKOLND CELLWS	< 🔽 > を押すと、Fish-Eye設置タイプを変更できます。設置場所に応じてビュ ーモードを天井/床/壁から選択できます。
	ビューモード		現在の画面上でのFish eye ビューモードを各分割画面に変更 できます。

# <u>バックアップビューアー</u>

	項目		説明		
3	デジタルズーム	•	現在の100倍の大きさまで画像を拡大します。 画像を拡大するにはズームイン() ボタンを押します。画像を縮 小するにはズームアウト() ボタンを押します。ポップアップウィ ンドウ内のスライドバー() かタンを押します。ポップアップウィ ンドウ内のスライドバー() かくして、 レイズを変更した映像をデフォルトのズーム倍率(100%)に戻す には、() を押します。 200%を超えて画像を拡大すると、デジタルズーム画面に拡大され た領域が表示され、表示された領域にマウスクリックして目的の 位置に移動することができます。 デジタルズームで表示される画面はバックアップビューア画面に 適用されます。 デジタルズームを取り消すと、ビデオサイズはデフォルトの100% に戻ります。		
4	画面出力	ĨO	現在の映像を画像ファイルに保存します。JPEGファイル形式 をサポートしています。		
4			現在の画面を印刷します。画面を印刷するには、適切なプリン タドライバをインストールしておく必要があります。		
5	音声		切替ボタンでボタンを押すたびに音声出力の有効/無効が切り 替わります。		
			音量レベルを0から100の間で調整することができます。		
6	ウォーターマー ク	<b>N</b> /	データファイルが改ざんされているかを確認することができま す。		
7	Deinterlace	$\bigcirc$	デインターレース機能を有効にすることができます。		
8	OSDの表示		OSDのチェックボックスを選択して、バックアップ再生画面に OSD情報を表示します。 バックアップ日付、曜日、時刻、モデル名、およびチャンネル 番号が画面に表示されます。		
Δ	アスペクト比/全	<b>•*••</b>	再生画面のアスペクト比を維持します。		
3	画面を維持する	(* <u>*</u> *)	映像を全画面で再生します。		
10	タイムラインの	in the second se	保存時刻の範囲バー上に表示される時刻範囲が縮小されます。 範囲全体の長さが24時間になるまで範囲バーを縮小することが できます。		
	拡大/縮小	<u>.</u>	保存時刻の範囲バー上に表示される時刻範囲が拡大します。範 囲全体の長さが1分になるまで範囲バーを拡大することができ ます。		
11	タイムラインの 復元	P	タイムラインを初期設定に復元します。		

	項目		説明		
12	保存時刻範囲の表	長示	保存された映像ファイルの時刻範囲が表示されます。 現在時刻表示の格子線を移動して、再生時刻を選択することが できます。		
13	再生コントロー ル		タイムラインの映像再生を調整することができます。		



# リモートコントロール使用

リモートコントロールに対応する製品にのみ提供する機能です。



## 数字ボタンの使用

チャンネル 1-9	1から9のボタンを押します
チャンネル 10	チャンネル [ <b>+10]</b> ボタンを最初に押して、3秒以内に再度「0」ボタンを押します
チャンネル 11-18	チャンネル [+10] ボタンを最初に押して、3秒以内に1から8のボタンを押します

# リモートコントローラーIDの変更

リモートコントロールIDとレコーダーリモートデバイスのリモートコントロールIDが一致すると、リモー トコントロールが動作します。

1. リモートコントロールの[ID]ボタンをクリックした後、レコーダー画面に表示されるIDを確認してください。

リモートコントローラーの工場出荷時のIDは00です。

- 2. リモートコントローラーの[ID]ボタンを押したまま、設定する2桁の数字を順に入力します。
- 3. IDの入力後、リモートコントローラーの[ID]ボタンを再度押して設定を確認します。
- リモートコントローラーIDを08に変更する場合: リモートコントローラーの[ID]ボタンを押したまま、0、8の順に押します。
   リモートデバイスのID変更方法は、目次の「メニュー設定 > デバイスの設定」の「リモートデバイス」ペー

ジェートアハイスの回復更方法は、自我の「アニュー設定 > デハイズの設定」の「リモートデハイズ」へージをご参照ください。



# ジョイスティックを使う

ジョイスティックに対応する製品だけに提供する機能です。 SPC-2000ジョイスティック接続時の動作仕様は次のようになります。



名前		機能	
1	上/下/左/右	<ul> <li>PTZモードでは、カメラを8方向にバンニング、チルト、制御できます。</li> <li>ウェブビューアーではPTZモードのみ対応しています。</li> <li>スクリーンモードでは、上/下/左/右のタイルを選択することができます。</li> <li>ジョイスティックでコントロール中にNear/Farボタンを押すと、同時にコントロール することができます。</li> </ul>	
	回転	PTZモードでは、時計回りに回転させると画面がズームインし、反時計回りに回転 させるとズームアウトします。	
2	1~8	<ul> <li>PTZモードでは、プリセット番号1~8が実行されます。</li> <li>スクリーンモードは、以下のように動作します。</li> <li>1:ライブレイアウトの変更/2:検索</li> <li>3:バックアップ/4:ズームモード</li> <li>5:フリーズモード/6:オーディオ</li> <li>7:アラーム/8:REC</li> </ul>	
	9	PTZモードでPTZモードを終了するとき使用します。 Webビューアーでは別にPTZを終了しません。 スクリーンモードからPTZモードに変更するときに使用します。	
3	10	PTZモードでPTZモードを終了するとき使用します。 Webビューアーでは別にPTZを終了しません。 スクリーンモードではログアウト動作をします。 Screenモードでは前の画面に戻ります。	
4	11, 12	PTZモードでは、フォーカスニア /ファー操作が実行されます。 スクリーンモードを使用すると、マウスのキー動作と同じ作業を行うことができます。	

# 仮想キーボードの使用



- 4. アルファベット入力用に、仮想キーボードウィンドウが表示されます。
- 5. マウスを使用し、希望の文字のタブをクリックします。
- 6. <OK>を選択します。
  - 入力した単語が適用されます。
  - 大文字や特殊文字を入力するには、<Caps Lock>か<Shift>ボタンを選択してください。
  - バーチャルキーボードを使用するのは、お住まいの地域で標準キーボードを使用するのと同じです。
  - IDはローマ字の大文字&小文字、数字を組み合わせて設定することができます。
  - パスワードの長さが8文字以上9文字以下の場合、ローマ字の大文字&小文字、数字、特殊文字中の3つ以上を 組み合わせて設定します。
  - パスワードの長さが10文字以上の場合、ローマ字の大文字&小文字、数字、特殊文字中の2つ以上を組み合わせて設定します。

症状	対策
ネットワークカメラのライブ映像が遅く、 切断されたように見えます。	<ul> <li>ネットワーク環境及びカメラから複数のデータを伝送する時の負荷で、設定されたとおりにデータを受信できない場合があります。</li> <li>マウスを右クリックし、&lt;状態 → チャンネル情報&gt; を選択し、チャンネルごとの入力フレーム数と実際の表示フレーム数を確認できます。</li> <li>カメラを登録するときにLive4NVRプロファイルが作成され、H.264、800*448、30fpsが、初期値として設定されています。</li> <li>メニュー&gt; → &lt;カメラ&gt; → &lt;プロファイル&gt; →</li> <li>編集&gt; へ移動し、フレーム数、ビットレートを変更してください。</li> <li>映像の表示速度が落ちたり、中断したりする状況が続く場合、ネットワーク環境またはカメラの状態をご確認ください。</li> </ul>
電源がオンにならず、前面パネル上のイン ジケータがまったく動作しません。	<ul> <li>システムの電源が正しく接続されているか確認してください。</li> <li>入力されている電源の電圧を確認してください。</li> <li>ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。</li> </ul>
カメラは正しく接続されているが、一部チ ャンネルの映像が表示されなかったり、黒 画または白黒などの異常な表示になりま す。	<ul> <li>カメラに正しく電源が供給されているかを確認してください。</li> <li>カメラに接続されたケーブルの状態を点検し、ケーブルを交換したり接続解除してから、再接続してください。</li> <li>アナログカメラの場合</li> <li>接続されているカメラ映像に問題がないかを確認してください。カメラの映像信号が正常に入力されていない場合に、この問題が発生することがあります。</li> <li>映像分配器などからの信号を使用している場合、映像信号が弱く問題が発生することがあります。</li> <li>映像分配器などからの信号を直接DVRに入力してください。</li> <li>ネットワークカメラの場合</li> <li>カメラのWeb Viewerに接続して映像出力を確認してください。</li> <li>ネットワークポートが正しく接続され、ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。</li> <li>ギガビットをサポートするハブに変更することで解決する場合があります。</li> </ul>
画面上にロゴ画像が繰り返し表示されま す。	<ul> <li>この症状はメインボードもしくはHDDに問題があるか、</li> <li>内蔵するソフトウェアが破損している可能性があります。</li> <li>販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
ライブ画面上でチャンネルボタンが動作し ません。	<ul> <li>現在の画面がイベント監視モードである場合はチャンネ ルボタンが動作しません。</li> <li>イベント監視画面の場合は、[ALARM]ボタンを押してイ ベント画面を終了し、チャンネルを選択してください。</li> </ul>

症状	対策
カレンダー検索時に、カーソルが開始まで 移動しません。	<ul> <li>再生するチャンネルと日付にV記号のマークが設定されているかを確認してください。</li> <li>開始ボタンを使用して再生を開始する前に、チャンネルと日付の両方を選択する必要があります。</li> </ul>
接続しているモニターで画面が表示されま せん。	<ul> <li>ケーブルがモニターと正しく接続されているかどうかを 確認してください。</li> <li>モニターでレコーダーの出力(HDMIまたはVGA)に対応し ていない場合があります。</li> <li>(レコーダー出力解像度: VGA: 1280*720, 1280*1024,1920*1080, HDMI: 720P, 1080P, 1440P, 2160P)</li> <li>モニターの解像度を確認してください。</li> </ul>
起動時のロゴスクリーンが[ <b>回</b> ]状態で停止 します。	• HDDに問題がある可能性があります。販売店に問合せく ださい。
ライブ画面でPTZをコントロールしても応 答しません。	<ul> <li>アナログカメラの場合</li> <li>「メニュー &gt; カメラ &gt; PTZ」に、PTZデバイスの現在の プロトコルおよびその他の設定が正しく設定されている かを確認してください。</li> <li>ネットワークカメラの場合</li> <li>登録されたカメラでPTZ機能がサポートされているかどう かを確認してください。</li> </ul>
カメラが登録できません。	<ul> <li>アナログカメラの場合</li> <li>・同軸ケーブルの接続を確認してください。</li> <li>・推奨(種類/長さ)のケーブルが使用されているか確認してください。</li> <li>・当社推奨・指定のカメラやVPカメラユニットが使用されているか、確認してください。</li> <li>ネットワークカメラの場合</li> <li>・ネットワークケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。</li> <li>・ネットワーク - 接続モードが設定されているかを確認してください。</li> <li>・カメラのIPアドレス設定を確認してください。</li> <li>・ネットワーク上に同じIPアドレスを使用する別のデバイスがないか確認してください。</li> <li>・PINGテストを試してください。</li> </ul>
カメラを登録しましたが、ウェブビューア ーにライブ映像が表示されません。	<ul> <li>カメラ登録後、設定した画面分割モードとライブ画面を 表示する前に、所望のレイアウトを編集・保存する必要 があります。</li> </ul>
カメラ映像が明るすぎるか暗すぎます。	「 <b>メニュー &gt; カメラ &gt; カメラ設定</b> 」で登録されたカメラの設 定を確認してください。
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	<ul> <li>このメッセージが表示されるのは、内蔵時計の時刻設定 に問題があるか、時計自体にエラーがある場合です。</li> <li>詳細については販売店にお問い合わせください。</li> </ul>

● 付録



症状	対策
検索モードで時刻バーが表示されません。	<ul> <li>・時刻バーは標準モードと拡張モードに切り替えることができます。</li> <li>拡張モードの場合は、現在表示されている時刻バーの枠内に時刻バーが位置しないことがあります。</li> <li>標準モードに切り替えるか、左または右のボタンを使用して時刻バーの位置を調整してください。</li> </ul>
"NO HDD"アイコンとエラーメッセージが 表示されます。	<ul> <li>HDDがフォーマットされていないか、レコーダーが対応 するタイプにフォーマットされていないと、「NO HDD」 アイコン(に)が左上に表示されます。</li> <li>「NO HDD」アイコンが表示されたら「メニュー &gt; 記憶装置」でHDDの接続状態を確認してから、HDDをフォーマットしてください。</li> <li>接続に問題がないのに同じ症状が継続発生する場合は、 販売店に問合せください。</li> </ul>
HDDを追加インストールした後、追加した 内容がレコーダーに表示されません。	<ul> <li>追加されたHDDが互換性リストで、対応するHDDなのかを 確認してください。</li> <li>対応HDDは、販売店にお問い合わせください。</li> </ul>
外部記憶装置(USBメモリ、USB HDD)をレ コーダーに接続した後、接続結果が表示さ れません。	• 接続した外部記憶装置が、本DVRで対応する記憶装置なのか を確認してください。(最大2TB) 対応する記憶装置は、販売 店にお問い合わせください。
WebViewerの全画面モードでESCキーを押 しても、標準分割モードに切り替わりませ ん。	<ul> <li>ALT+TABキーを押し、'アクティブムービー'を選択し、再度ESCキーを押してください。標準分割モードに切り替わります。</li> </ul>
パスワードを忘れました。	• レコーダーの設置担当者にお問い合わせください。
バックアップしたデータを、PCまたはレ コーダーで再生できません。	<ul> <li>データをバックアップする時、再生するデバイスに合わせてファイルタイプを選択する必要があります。</li> <li>PCでデータを再生する場合は、バックアップのタイプにSECを選択してください。</li> <li>レコーダーで再生する場合は、バックアップのタイプにRecorderを選択してください。</li> </ul>
録画できません。	<ul> <li>ライブモードで映像が表示されない場合は、カメラの登録が正しくできていない可能性があります。まず、ライブモードで映像が表示されるように設定などを確認してください。</li> <li>録画設定が正しく行われていないと、録画できない場合があります。スケジュール録画:メニュー - 録画 - 録画スケジュールを選択して、設定を確認してください。指定された時刻に録画されます。</li> <li>&lt;連続&gt;録画:指定された時刻に連続して録画されます。</li> <li>&lt;イベント&gt;録画:アラーム、モーション検知およびビデオロスのイベントが発生した場合にのみ、録画されます。イベントが検出されない場合は、録画されません。</li> <li>&lt;連続/イベント&gt;録画:ベントがない場合は連続録画され、イベントが発生した場合はイベント録画されます。</li> </ul>

症状	対策
録画データの画質がよくありません。	<ul> <li>メニュー - カメラ - プロファイル - 編集 で解像度とビットレートの値を調整してください。</li> <li>1) 解像度 : 録画する時の録画サイズです。大きいサイズを選択してください。         <ul> <li>小さな画像サイズは、拡大して再生するため画質が落ちます。</li> <li>2) ビットレート : なるべく大きな値に設定してください。</li> </ul> </li> <li>・解像度とビットレートを高く設定するとデータサイズが増加しますので、HDDの容量を早く消費します。上書き設定をした場合は、既存のデータが上書きされるまでの間隔が短くなりますので、ご注意ください。</li> </ul>
ネットワークカメラに設定されているフレ ームレートと録画されているフレームレ ートが一致しません。	<ul> <li>1つのカメラに複数のプロファイルを接続して使用する 場合は、設定されたフレームレートより低く録画される 場合があります。 接続されたカメラから、可能なかぎり同一プロファイル で一つのストリーミングを貰えるように設定してください。</li> <li>つまり、録画プロファイルとリモートプロファイルを同 ーに適用すると設定とおり録画が可能です。 しかし、ライブの場合は、分割モード状況によって他の プロファイルが適用される場合がありますので、必ずし も1つのプロファイルにならない場合があります。 カメラから伝送されるビットレートより、録画設定のビ ットレート制限を大きく設定してください。</li> </ul>
録画設定画面で特定チャンネルの制限値が オレンジ色で表示されます。	<ul> <li>該当チャンネルの制限値を超えるデータが入力されるとオレンジ色で表示されます。入力されるデータ値より、制限値を高く設定してください。</li> <li>各チャンネルの入力データの合計が最大制限値を超えた場合、アラームアイコンが表示されます。この場合、入力制限値を超えたチャンネルは、フレーム全体を記録せず、キーフレームのみ記録します(1秒あたり1枚~2枚)。</li> </ul>
ライブ画面で[ ᡄ ]アイコンが表示され、 メッセージウィンドウでは、"録画データ 量が制限値を超えています。録画設定で確 認してください"というポップアップウィ ンドウが表示されます。	<ul> <li>各チャンネルの入力データの合計が最大制限値を超えた場合、アラームアイコンとポップアップウィンドウが表示されます。この場合、入力制限値を超えたチャンネルは、フレーム全体を記録せず、キーフレームのみ記録します(1秒あたり1枚~2枚)。</li> <li>録画設定メニューで入力されるデータ値より制限値を高く設定してください。</li> </ul>
録画が設定通りに行われません。	<ul> <li>録画ステータスが「ハードディスク最大パフォーマンスを超過している」場合、それぞれのHDD状態の録画パフォーマンス仕様に準じて録画サイズを設定します。</li> <li>(目次の「メニュー設定 &gt; 録画の設定」ページをご参照ください。)</li> </ul>

症状	対策
録画ロスが持続的に発生する場合	<ul> <li>カメラの録画プロファイルを修正し、全体の録画ビット レートがそれぞれのHDD状態の録画パフォーマンスに適 合するようにします。(目次の「メニュー設定 &gt; 録画の設 定」ページをご参照ください。)</li> <li>HDDステータスを確認し、点検または交換が必要かどう かを検討してください。 (目次の「メニュー設定 &gt; デバイスの設定」の「記憶装 置」ページをご参照ください。)</li> </ul>
モニタリング用のPCが接続できません ん。	<ul> <li>ネットワークケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。</li> <li>ネットワーク上に同じIPアドレスを使用する別のデバイスがないか確認してください。</li> <li>PINGテストを試してください。</li> </ul>
DVRに複数のバックアップ用HDDを接続す ると、接続された数のHDDが認識されませ ん。	<ul> <li>DVRが複数のHDDを認識するには時間がかかります。少し待ってから再度確認してください。(接続した数のHDDが認識されない)問題が解決しない場合は、接続したHDDのエラーによる可能性があります。別のHDDで再度試してください。</li> </ul>



株式会社ティービーアイ 〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン 28F TEL:03-6841-8200(代表)

http://www.tbeye.com

PT01-005656A(V1.1)

copyright@TB-eye Ltd.